

**ライフデザイン学部**

## セメスター制と学期について（学則第11条，12条参照）

大学の1年間は，4月1日に始まり翌年の3月31日に終わります。

本学では，最初の半年を前期，残りの半年を後期に分け，学期ごとに履修登録から単位認定までを完結させる「セメスター制」を採用しています。各科目の授業は1セメスター15週にわたる期間内で終わります。

学生の皆さんは，各学期の始めに履修登録を行い，授業を受講し，各学期の終わりに試験を受けて，試験に合格すれば単位が取得できます。不合格であった場合は，次のセメスターか，翌年度以降に再度履修登録を行い，同じ授業を再び受講することができます。（これを「再履修」といいます。）

各学年・学期とセメスターの関係は下表の通りです。

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター

## 単位制と授業時間について（学則第10条参照）

本学では，「単位制」を採用しています。

単位制とは，各授業科目ごとに一定の基準による単位数が決められていて，その授業科目を所定の時間履修し，試験に合格するとその授業科目に決められている単位が取得できる，という制度です。修業年限中に卒業に必要な単位数を修得すれば卒業することができます。

1単位の授業科目は，45時間の学修を必要とする内容をもって構成されています。

本学における授業科目の単位数算定基準は，講義や演習，実習など，授業の方法に応じ，授業時間外に必要な学習時間を考慮して，学則第10条に定められています。

具体的には，本学では，1講時90分の授業が半期15週行われます。単位数は，90分の授業時間を2時間相当の学習時間とみなし，予習・復習の自習時間もあわせた時間で設定しています。

1単位あたり45時間の学修時間が求められるため，概ね下表の通り「授業時間外」での予習・復習等のみなしの自習時間が必要となります。

予習・復習等の自習に要する標準時間は，シラバスの「授業計画」内にある「授業方法及び学習時間（予習・復習）」欄に記載してありますので，各授業科目の教員の指導に沿い，必要な自主学習時間を取るよう努めてください。

### 【単位数と授業時間数・自習時間数】

授業形態	単位数	週授業時間数	+	自習時間数	週当り自習時間数
講義	2単位（90時間）	1コマ/週（計30時間）	+	60時間/15週	4時間
演習・実習	1単位（45時間）	1コマ/週（計30時間）	+	15時間/15週	1時間

シラバスにおける学習時間は以下のとおりと致します。

授業形態	単位数	週授業時間数	自習時間数	1回(週)当り学習時間
講義	2単位（90時間）	1コマ/週（計30時間）	60時間	4（時間）
演習・実習	1単位（45時間）	1コマ/週（計30時間）	15時間	1（時間）
演習・実習	2単位（90時間）	2コマ/週（計60時間）	30時間	2（時間）

単位数と  
学修時間

演習・実習	3単位 (135時間)	3コマ/週 (計90時間)	45時間	3 (時間)
講義及び演習	3単位 (135時間)	2コマ/週 (計60時間)	75時間	5 (時間)

### 授業時間帯

なお、本学における各時限（1コマ=90分）の授業時間帯は、以下の通りです。

講 時	授業時間
1 講時	8：50～10：20
2 講時	10：30～12：00
3 講時	13：00～14：30
4 講時	14：40～16：10
5 講時	16：30～18：00

※ただし、期末試験や集中講義、補講、補習等については、上記と異なる時間帯で実施する場合があります。

## 授業科目の区分

### 教養教育科目

授業科目は、その内容によって、「教養教育科目」と「専門教育科目」の二つに分けられます。

「教養教育科目」は、「幅広い知識と豊かな人間性を持つ人材の養成」という教育目標の達成のために設けられた科目です。

### 専門教育科目

「専門教育科目」は、各学科の専門の学芸を修得するためのものです。それぞれの学科が独自に設ける科目ですが、複数学科にわたり共通の科目もいくつかあります。

### 教職科目

この他に、教育職員免許状取得のための「教職科目」があります。教職免許の取得を希望する学生は、各専門学科の教育課程に加えて、教職科目の修得が必要です。

教職科目の詳細については、本学生便覧305ページ以降を参照してください。

「教養教育科目」「専門教育科目」のそれぞれに、必修科目と選択科目があります。

### 必修科目

「必修科目」は、必ず履修して単位を修得しなければならない科目です。この科目の単位を修得しないと、卒業することができません。

### 選択科目

「選択科目」は、自分の興味や必要性に応じて選択することが可能な科目です。これを計画的に組み合わせて、卒業に必要な単位数を揃えるようにします。

各授業科目は、科目の内容および教育目標に応じて、効果的に学習できる学年・学期に配当されています。それぞれの科目の開講時期は、本学生便覧中の、各学科の教育課程表に記載されています。

### 進級・卒業条件

学生諸君は、必修・選択の指定、卒業に必要な単位数、進級に必要な単位数を考慮し、各学科が示している履修ガイダンスを参考にして、計画的に科目履修を進めてください。各学科の卒業に要する最低修得単位数は、履修ガイダンスに記載されています。

3年次から4年次にそれぞれ進級するための条件は学科毎に定められており、条件を満たしていない学生は進級することができません。この進級条件も本学生便覧中の各学科の履修ガイダンスに掲載されています。

## 履修できる授業科目

### 再履修

1. 履修科目は所属学部・学科の教育課程表から選びます。  
他学科の同名の科目を履修して所属学部・学科の科目に振替えることは原則としてできません。ただし、再履修の場合、他学科で履修できる科目もあります。  
また、専門教育科目中、「他学科開講科目群」として指定されている科目は、所属学科以外の学科において開設されている科目であっても、所属する学科が特に履修することが望ましいと考えて教育課程表に加えた科目なので、履修することができます。ただし受講人数を制限する場合があります。  
1年生は、所属学科の自分のクラスで開講されているものから優先的に履修してください。
2. 1つの時間帯には1科目だけ履修登録することができ、同時に2科目を履修することはできません。  
時間割上で同一時間帯に同一学年の科目が2科目以上ある場合（これを並列開講科目といいます）、そのうち1科目だけを選択して履修します。ただし、選択しなかった方の科目を次年度以降に履修することは可能です。
3. 一度単位を修得した科目を再び履修することはできません。  
また、カリキュラムが変更になった場合、旧科目名ですでに修得済みの科目は、新しい科目名で再び履修することはできません。
4. 「物理基礎」「数学基礎」等の専門科目は、その学科ごとに授業内容が異なりますので、所属する学科以外の授業は履修できません。
5. 一度不合格となった科目を再履修する場合は、
  - (1) 各セメスターで再履修クラスが開講されている場合は、再履修クラスで履修してください。
  - (2) 受講しようとするセメスターに再履修クラスが開講されていない場合は、正規の時間割で履修することが原則です。
  - (3) 上記が不可能な場合は、所属学科の他のクラスで履修することもできます。
  - (4) 教養教育科目の場合は、他学部や他学科で履修することもできます。ただし、同一科目名であっても学部ごとに内容が異なる科目の場合は、所属する学部以外の授業は履修できません。
  - (5) 英語科目の再履修については、236ページを参照してください。

再履修科目と自分の学年の科目が同じ時間帯に重なる場合は、必修科目が優先です。必修科目同士が重なる場合は、低学年の必修科目が優先となります。ただし、実験など、その学年で修得する必要がある科目については、そちらを優先します。

上記(1)～(4)の方法で再履修が不可能な場合、科目担当教員の個別の指導の下に再履修を許可する場合があります（「特別再履修」という）が、すべての科目でこれを行うわけではないので、教務委員、科目担当教員に相談してください。

## 履修登録の手続きについて（学則第13, 14条参照）

### 履修登録

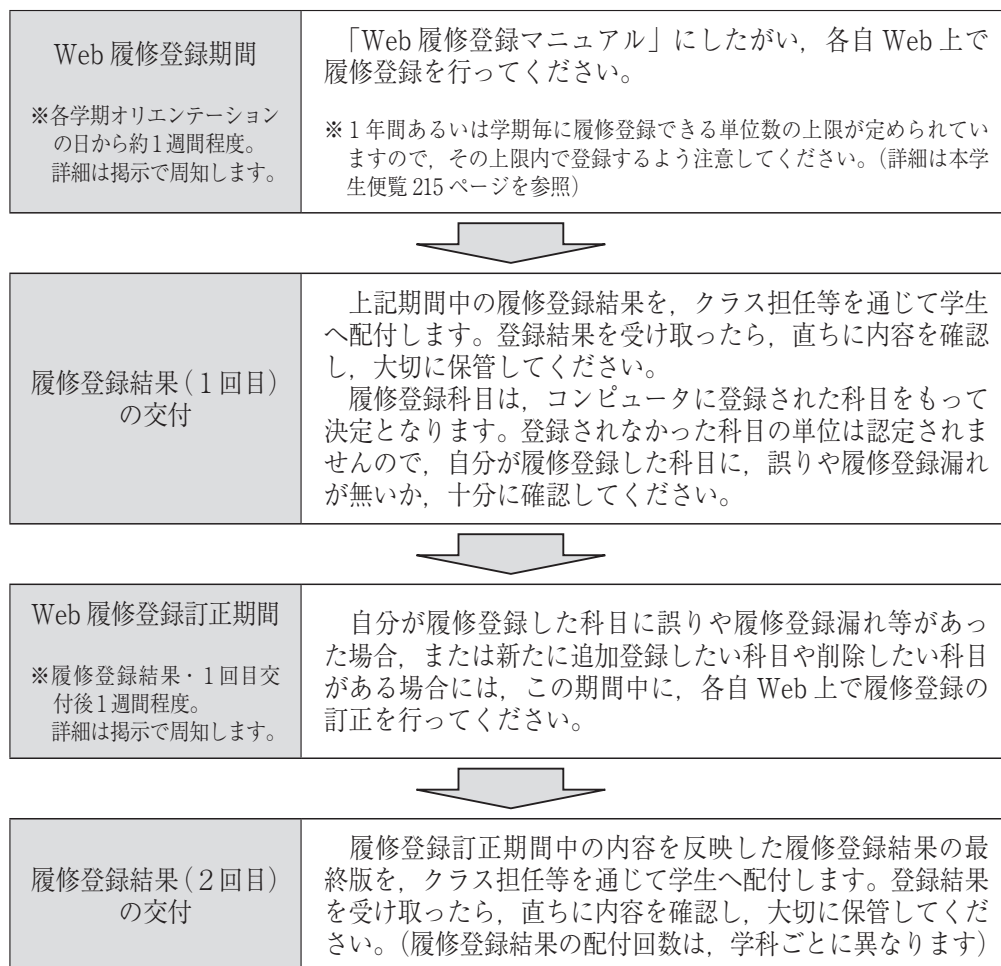
大学では、同じ学科の学生であっても全員が同じ科目を受けるわけではなく、各自が選択した科目を履修しますので、学生ごとに履修科目が異なります。

学生は、毎セメスターの始めに、そのセメスターに履修しようとする授業科目を必ず届け出なければなりません。これを「履修登録」といいます。履修登録をしていない科目については、試験を受けることができませんので、単位を修得することができません。

本学では、履修科目の登録はWeb上で行います。これを「Web履修登録」といいます。各学期の履修登録の流れは次表の通りですので、必ず指定された期間内に各自Web上で履修登録を行ってください。(Web履修登録期間およびWeb履修登録訂正期間については、別途ポータルサイト等でお知らせします。)

Web履修登録の方法等の詳細については、ポータルサイトに公開されている「Web履修登録マニュアル」を参照してください。

### 履修登録の流れ



なお、指定された期間内に履修登録ができない場合には、必ず事前に八木山キャンパス教務学生課または長町キャンパス事務室へ相談してください。

### 履修科目の変更

履修登録訂正期間が終了した後に、やむをえず履修科目の変更(追加履修登録や履修取り消し)を希望する場合は、授業担当教員の許可を得て、『履修変更願』を八木山キャンパス教務学生課または長町キャンパス事務室に提出してください。

ただし、『履修変更願』を提出できる期間は限られています。詳しくはポータルサイト等により周知します。

### 特別な届出の必要な科目

以下のような科目は、通常のWeb履修登録での登録ができませんので、履修登録訂正期間最終日までに、八木山キャンパス教務学生課または長町キャンパス事務室で既定の届出用紙を受領し履修登録してください。

#### (1) 他学科開講科目・他学部教養科目

他学科開講科目または他学部教養科目の履修を希望する場合は、それぞれ所定用紙(「他学科開講科目群履修届」・「他学部教養科目履修届」)に必要事項を記入し、所属学科教務委員の許可、および科目担当教員の許可を得た上で、八木山キャン



<p>ポータルサイト</p>	<p>ンパス教務学生課または長町キャンパス事務室に提出してください。</p> <p>なお、他学科開講科目で修得した単位は、「他学科開講科目群」（専門教育科目）の単位として認定され、他学部教養科目で修得した単位は、「他大学等教養科目群」（教養教育科目）の単位として認定されます。</p> <p>ただし、進級・卒業単位に算入できる単位数の上限は、学科によって異なりますので、所属学科の教育課程表を参照してください。</p> <p>(2) 特別再履修科目</p> <p>科目担当教員の個別の指導の下に特別に再履修を受けること（特別再履修）を希望する場合は、所定用紙（「特別再履修許可願」）に必要事項を記入し、科目担当教員の許可を得た上で、八木山キャンパス教務学生課または長町キャンパス事務室に提出してください。</p> <p>(3) 他大学開講科目</p> <p>他大学で開講される科目の履修を希望する場合は、本学での審査および受け入れ大学・学部での審査がありますので、他の科目よりも早い時期に申込みをする必要があります。申込方法、申込期限、修得単位の取扱い等の詳細については、本学生便覧240ページを参照してください。</p> <p>(4) その他</p> <p>Web上で登録できない科目については、八木山キャンパス教務学生課または長町キャンパス事務室で登録方法を確認してください。</p> <p>授業時間割の変更や教室変更など、大学からの連絡事項は、臨時のものを除き、ポータルサイトで行いますので、毎日必ずポータルサイトを見る習慣をつけてください。見落としたために何らかの不利益が生じたとしても、その責任は自分自身が負わなければなりません。</p> <p>なお、休講・補講・教室変更等の情報については、ポータルサイトでのお知らせとなります。</p>
----------------	--

CAP 制について	
<p>CAP 制の目的</p>	<p>平成22年度入学生から、履修登録することのできる単位数に上限が定められています（これを「CAP制」といいます）。大学での学修には、講義などの授業時間だけでなく、空き時間や自宅で、1回の授業あたり2時間の予習・復習が求められるため、時間割に余裕を持って履修し理解を十分に深めることを目的としています。</p> <p>履修登録することのできる上限単位数は、以下の通り設定されていますので、その単位数を超えないよう十分注意して計画的に履修登録を行ってください。</p>
<p>履修登録 上限単位数</p>	<p><u>「1 Semester毎」に履修登録することのできる単位数の上限は、「24単位」です。</u> 万が一、上限を超えて履修登録してしまった場合には、強制的に履修削除されることがあります。</p>
<p>CAP 制対象外の科目</p>	<p>以下の科目の単位数は、履修登録上限単位数には含めません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職科目（ただし、教職免許取得に必要な科目のうち、進級及び卒業に要する単位に算入される科目は、履修登録上限単位数に含めます。）</li> <li>・特別課外活動（教養教育科目・専門教育科目）</li> <li>・高大連携特別講座として単位認定申請した科目</li> </ul>
<p>履修登録単位数 上限の緩和</p>	<p>前Semesterの成績がGPA2.6以上で、かつ15単位以上取得した学生は、web履修登録期間中に所定の書式にて八木山キャンパス教務学生課または長町キャンパス事務室</p>

に申請の上、認められれば当該セメスターの履修上限単位（24単位）を超えて2単位まで追加履修登録できます。

なお、休学していた場合は、休学する直前のセメスターの成績を対象として判定します。

## 授業への出席について

### 教室

各自が履修する科目の授業に出席します。

授業の行われる教室の教室番号は時間割表に掲載されています。教室や開講時間が変更になる場合はポータルサイト等で周知します。集中講義など、通常的时间割表に載らないものについてもポータルサイト等で周知します。

### 出席登録

授業開始前に教室の入口内側にあるカード読取装置に学生証をかざして出席登録をしてください。なお、学生証忘れやカード読取装置の不具合などでかざすことができない場合は、教室に備え付けられている出席届に記入し授業終了後に担当教員の承認を受け、八木山キャンパス教務学生課または長町キャンパス事務室まで提出してください。

### 補講

授業が予定した学習範囲に達しなかった場合や、休講があった場合は、補講が行われます。学年暦で補講日が設けられていますが、通常の週の空き時間に補講を行う場合もあります。どちらの場合も時間と教室はポータルサイトで周知します。

### 欠席の限度

それぞれの科目について、総授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、試験を受けることができないので、単位を取得することができません（学則第14条参照）。

### 特別指導願

別表の事由により授業を欠席する場合は、特別指導願を提出することができます。特別指導とは、別表の事由により授業を欠席した場合、その授業担当教員から指示された相当学修を完了すれば欠席として扱われないというものです。願出は事前に、あるいは欠席後7日以内に添付書類とともに八木山キャンパス教務学生課または長町キャンパス事務室に提出してください。なお、7日以内に提出が困難な場合は事前に電話等で連絡してください。認められた場合は、速やかに担当教員へ連絡をし、2週間以内に相当学修の指示を受け実施してください。但し、相当学修を完了しない場合は、欠席として扱われますので注意してください。

### 長期欠席届

病気や怪我で1ヶ月～3ヶ月の長期にわたって欠席する場合は、医師の診断書を添えて長期欠席届を提出することができます。なお、長期欠席期間中の授業科目出席状況の取扱いについては、学科教務委員ならびに授業担当教員と別途相談してください。

### 休学

病気・怪我またはやむを得ない理由で3ヶ月以上修学できない場合は、休学を願出することができますが、休学期間は在学年数に算入しないので4年間で卒業することはできなくなります。また、休学中は下表の休学在籍料を納入しなければなりません。

休学在籍料（月額 10,000 円）

通年休学の場合	120,000 円
半期休学の場合	60,000 円

○別表【特別指導願を使用することができる主な授業欠席の事由】

感染症	種類	出席停止の基準	
第一種	エボラ出血熱, クリミア・コンゴ出血熱, 痘そう, 南米出血熱, ペスト, マールブルグ病, ラッサ熱, ポリオ, ジフテリア, 重症急性呼吸器症候群, 鳥インフルエンザ (H5N1) ※上記の他, 新型インフルエンザ等感染症<指定感染症及び新感染症>	治癒したと医師が認めるまで	
	第二種	インフルエンザ ※新型含む (鳥インフルエンザ除く)	発症した後5日を経過し, かつ, 解熱した後2日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで, または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで	
	麻疹 (はしか)	解熱後3日を経過するまで	
	水痘 (みずぼうそう)	すべての発疹が痂皮化するまで	
	風疹	発疹が消失するまで	
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺, 顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し, かつ全身状態が良好になるまで	
	咽頭結膜熱 (プール熱)	主要症状が消退した後2日を経過するまで	
	結核	病状により学校医その他医師において感染のおそれがないと認めるまで	
	髄膜炎菌性髄膜炎	病状により学校医その他医師において感染のおそれがないと認めるまで	
第三種	コレラ, 腸チフス・パラチフス, 腸管出血性大腸菌感染症, 細菌性赤痢, 流行性結膜炎, 急性出血性結膜炎その他感染症	病状により学校医その他医師において感染のおそれがないと認めるまで	
	(条件により出席停止の措置が考えられる疾患) 溶連菌感染症, ウイルス性肝炎, 手足口病, 伝染性紅斑 (リンゴ病), ヘルパンギーナ, 感染性胃腸炎, マイコプラズマ感染症	全身症状が悪いなど, 医師の判断で出席停止を要する場合など	
【添付書類】 病名の特定できる薬の処方箋または医師の診断書等, 但し一週間以上の欠席は出席停止期間を明記した医師の診断書を要する			
忌 引	3親等内の葬儀への参列 (日数は, 1親等の場合は7日以内, 2親等及び3親等の場合は3日以内とする)		
公共交通機関の運行停止	使用する公共交通機関の運休および遅延によるもの		
教育実習	4年次「教育実習」によるもの (一日体験実習, 「教職実践演習」に伴う学校現場見学は除く)		
課外活動	<b>■承認条件 (①及び②-1もしくは②-2を満たすこと)</b> ①学友会所属クラブ・サークルの活動に伴う大会等への参加であること ②-1 全国及び都道府県規模以上の連盟や協会が主催する大会・行事であること ②-2 上記以外の大会・行事の場合は, 東北地方大会以上の参加規模であること ※また大会・行事参加前にクラブ・サークル毎に「学外活動届」(大会要項, 参加者名簿添付)を提出していることを条件とする。参加者名簿に記載のない者の届出は認めない。 <b>■学生自主企画助成金に採択された活動</b>		
就職活動	<b>■就職試験等によるもの (受験票等を持参のうえ八木山キャンパスキャリアサポート課もしくは長町キャンパス事務室の証明を受けること)</b> <b>■インターンシップ (事前にインターンシップ実施内容を確認できる書類及び終了後レポートを持参のうえ, 学科長もしくは就職委員, 就職支援委員から証明を受けること)</b>		
国際交流	国際交流委員会で承認した活動		
学会発表	自身の学会発表によるもの		

※不明な点は, 八木山キャンパス教務学生課または長町キャンパス事務室まで問合せください。



## 試験について（学則第14条参照）

### 試験に関する要綱

#### （趣旨）

1. 東北工業大学の試験に関する必要な事項については、学則第14条の規定に基づくほか、別に定める「受験者心得」及びこの要綱の定めるところによります。

#### （試験区分）

2. 試験には、各学期末（授業期間中）に行う試験の他に、定期試験、追試験、再試験及びその他試験があります。

(1) 定期試験とは、前期及び後期の授業期間終了後の定められた期間に行う試験です。なお、各学期末の授業中に行う試験及び定期試験を期末試験と称します。

(2) 追試験とは、病気その他やむを得ない事由により期末試験を欠席した者に対し、本人の願い出により行う試験です。

(3) 再試験とは、期末試験を受験して不合格だった者に対し行う試験です。再試験を実施するか否かは授業科目担当教員によるので、必ず実施されるものではありません。

(4) その他試験とは、学期の途中等授業科目担当教員が必要と認めたときに行う試験です。

#### （試験方法）

3. 試験はすべて筆記試験が原則ですが、作品、レポート、報告書、論文等の審査の結果をもって筆記試験に代えることがある他、学修支援システムを用いて実施されることがあります。

#### （成績）

4. 各授業科目の成績は、優（80点以上）、良（65点以上）、可（60点以上）、不可（59点以下）をもって表され、可以上を合格とします。なお、成績評価基準に関しては、当該授業科目のシラバスで確認してください。

#### （再試験の成績）

5. 再試験における各授業科目の成績は、満点を60点とします。

#### （受験不適者）

6. 次のいずれかに該当する者は、期末試験を受けることはできません。従って、その科目の単位を修得することができません。

(1) 当該授業科目の履修登録をしていない者

(2) 出席日数不足等のため授業科目担当教員から受験不適とされた者

(3) 当該学期の学費納入金未納の者（ただし、延納許可願いを提出し許可された者を除く。）

#### （試験の重複）

7. 期末試験において、同一試験時間に2科目以上の試験が重複した場合は、原則として低学年開講の授業科目を期末試験で受験し、他の科目は「重複による追試験願」を提出の上、追試験の受験許可を得てください。

#### （授業との重複）

8. 期末試験において、同一時間に授業が開講されている場合は、原則として期末試験の受験を優先してください。やむを得ず授業を優先する場合は、「授業との重複による追試験願」を提出の上、追試験の受験許可を得てください。

#### （不正行為）

9. 受験に際しては公正にしなければなりません。試験中（期末試験、追試験、再試験、その他試験）、または作品、レポート、報告書、論文等において不正行為を行った者は、学則第53条に従って懲戒されるとともに、下記の事項が適用されます。

なお、不正発覚後、審理委員会において審議された懲戒処分が教授会で決定するまでの期間は、学科長・教務委員の指導の下、履修登録・受講を認めることがあり

	<p>ます。</p> <p>(1) 不正行為におよんだ当該学期（セメスター）の全科目が無効（成績は「不適」となります）。</p> <p>(2) 教授会による懲戒処分が決定した翌日から2週間、懲戒内容を学内で公開（掲示）します。</p> <p>(3) 懲戒処分を受けた当該年度において、無効となった科目の特別再履修は認められません。</p> <p><b>(試験の欠席)</b></p> <p>10. 期末試験をやむを得ない事由により欠席した者が追試験を願い出る場合は、当該試験の欠席日を含んで7日以内に「試験欠席届」を提出し、追試験の受験許可を得なければなりません。</p> <p>なお、「試験欠席届」を提出する際は、欠席理由を詳細に記載し、以下に例示する証明書等を必ず添付する必要があります。</p> <p><b>【証明書の例示】</b></p> <p>(1) 病気、怪我等により欠席した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の診断書または証明書</li> <li>・病院の領収書</li> </ul> <p>(2) 就職試験等により欠席した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受験票または試験通知書</li> <li>・八木山キャンパスキャリアサポート課または長町キャンパス事務室の証明書</li> </ul> <p>(3) 公共交通機関の遅延により欠席した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延証明書</li> </ul> <p>(4) バイク等の事故または故障により欠席した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故証明書</li> <li>・修理した店の領収書</li> </ul> <p>(5) 3親等内の葬儀により欠席した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会葬状または死亡診断書（写）（忌引きの日数は、1親等の場合は7日以内、2親等及び3親等の場合は3日以内とする。）</li> </ul> <p><b>(成績発表)</b></p> <p>11. 成績は、前期及び後期の成績発表日に発表されるので、必ず本人が確認してください。受験した科目が不合格だった場合、科目によっては、所定の手続きの上、再試験を受験できることもあります。</p> <p><b>(追試験・再試験)</b></p> <p>12. 追試験及び再試験を受験する場合は、当該試験日の2日前までに受験申し込みを行い、受験票の交付を受けてください。なお、再試験の場合は受験手数料を添えて申し込みをする必要があります。</p> <p><b>(追試験、再試験の欠席)</b></p> <p>13. 追試験及び再試験を欠席した場合は、原則として再度の追試験は行われません。</p>
<p>受験者心得</p>	<p><b>(入室)</b></p> <p>1. 受験者は、試験開始5分前までに所定の試験室に入室してください。</p> <p><b>(着席)</b></p> <p>2. 受験者は、試験室において指定の座席に着席してください。ただし、座席が指定されていない場合は、試験監督者の指示に従ってください。</p> <p><b>(入室限度)</b></p> <p>3. 試験開始から25分以内に限り遅刻者の入室を認めますが、試験時間の延長は認められません。</p>

(退室)

4. 受験者の退室は、試験終了後、答案用紙の回収及び部数確認作業、または解答状況の確認作業が終了するまで、認められません。

(学生証・受験票)

5. 試験を受ける際は、必ず机の上に学生証を提示してください。なお、追試験の際は追試験受験票、再試験の際は再試験受験票もあわせて提示してください。

(特別受験票)

6. 学生証の不携行者は、特別受験証明を監督者に願い出て特別受験票の発行を受け、机の上に提示しなければなりません。(追試験の際の追試験受験票、再試験の際の再試験受験票の不携行についても同様とする。)

(特別受験票発行後の手続き)

7. 学生証不携行で受験した場合は、受験した日の翌日から数えて4日以内に特別受験票(学生用)に学生証を添えて八木山キャンパス教務学生課又は長町キャンパス事務室に提出し、検印を受けなければなりません。(追試験受験票、再試験受験票を不携行で受験した場合についても同様に特別受験票に当該受験票を添えて提出すること。)なお、この手続きを怠った場合は、当該試験の受験が無効となる場合があります。

(持込許可)

8. 机に出すことが許可される物品は、学生証、受験票、筆記用具(筆箱は除く)及び時計(スマートウォッチ(タッチスクリーンとCPUを搭載した多機能型腕時計)は除く)に限ります。ただし、当該試験科目担当教員が必要と認めたものはこの限りではありません。

(持込不可)

9. 8.以外の物品は、カバンに入れて自席の椅子の下又は試験監督者の指示する場所に整理して置いてください。机の中には一切物品を入れることは禁止します。

10. 携帯電話等の通信機器は電源を切ってカバンに入れてください。机に出すことはできません。

ただし、当該試験科目担当教員が必要と認めた場合は、この限りではありません。

(試験中)

11. 試験中は、厳正な態度で臨み、以下の事項に注意して受験してください。

- (1) 試験中、受験者間の交渉は一切認められません。
- (2) 試験中は試験室内外ともに静粛にするよう心掛けなければなりません。
- (3) 試験室内で配布された解答用紙は、持ち帰ってははいけません。
- (4) 試験中、試験監督者に用件のある場合は、黙って挙手をしてください。
- (5) 答案用紙に所属学科、学年、学生番号及び氏名の記入がないものは無効となる場合があります。

(不正行為)

12. 受験者は不正行為および不正と疑われるような行為をしてはなりません。不正行為は、試験室で指摘された場合に限らず、採点の際発見された場合も不正行為として取扱いを受けます。

なお、次のいずれかに該当した場合は、解答用紙への書き込みの有無にかかわらず、不正行為と認定されます。

【不正行為と認定される事例】

- (1) 代人に受験させた場合、又は代人として受験した場合
- (2) 他人のために答案やメモなどを書いた場合、又は他人に答案やメモなどを書いてもらった場合(通信機器を使って送受信した場合も同様)
- (3) 他人の答案を見た場合、又は他人に自分の答案を見せた場合

	<p>(4) 答案用紙を予め用意した用紙あるいは他人の用紙とすり替えた場合</p> <p>(5) 机に出すことが許可された物品以外のものを見た場合、又は出した場合</p> <p>(6) 机に出すことが許可された物品（ノート等を除く）や机などに不正な書き込みをした場合</p> <p>(7) 机に出すことが許可された物品を監督者の許可を得ずに貸借した場合</p> <p>(8) 言語や動作をもって試験の内容について互いに連絡した場合</p> <p>(9) 答案用紙を持ち帰った場合</p> <p>(10) 監督者の指示に直ちに従わない場合</p>
--	--

## 災害発生時における休講および試験の延期等について

<p>休講および試験の延期等について</p> <p>休講および試験の延期等を行う際の情報の提供について</p> <p>授業や試験を受けられない又は遅刻した場合の取扱い</p> <p>お問い合わせ先</p>	<p>大規模災害等（大規模地震・台風・大雪・洪水等）が発生した場合、あるいは予想される場合は、以下の措置を行います。</p> <p>仙台市全域において学生および教職員の通学、通勤が困難な場合は、両キャンパス（両学部）において、下記により休講および試験の延期措置を行います。（目安：JR在来線が不通）</p> <p><b>休講および試験の延期等の措置を行う際は、以下の方法により周知します。</b></p> <p>1) 大規模地震発生等の場合  授業の休講や試験の延期等に係る情報提供は、原則として本学Webサイト、ポータルサイトならびに報道機関を通じ、できる限り速やかに周知いたします。</p> <p>2) 台風・大雪等の場合又はこれらが予想される場合  台風、大雪等の場合又はこれらが予想される場合は、原則として本学Webサイト、ポータルサイトならびに可能な場合は報道機関を通じ、前日午後7時までに周知いたします。</p> <p>休講および試験の延期となった科目は原則、授業等予備日に行います。  対応が決定次第、本学 Web サイト・ポータルサイトならびに掲示板でお知らせします。</p> <p>公共交通機関の運休（不通）時、その影響による遅延や交通事情による障害のため、授業や試験を受けられなかった場合は、次の通り取り扱います。  所定の届け出用紙（当該公共交通機関発行の遅延証明書等必須）により定められた期日まで手続きした場合の取り扱いは以下の通りです。詳細はお問い合わせください。</p> <p>1) 授業については「特別指導」を受けることができる。  2) 試験については追試験対象者とする。</p> <p>八木山キャンパス（工学部・建築学部）：教務学生課      022 - 305 - 3160  長町キャンパス（L D 学部）：長町校舎事務室      022 - 304 - 5501</p>
---	---

## 成績について

### G P A

成績通知書は各学期末の成績発表日に学生指導支援システムまたは成績通知書で確認できます。必ず本人が確認し、必要に応じて履修指導を受けてください。成績通知書は保護者にも別途郵送されます。

成績通知書には、履修した全科目の成績が記載されます。また進級や卒業条件となる科目区分ごとの修得単位数や、『合格した科目の平均点』および『G P A』が記載されます。

『G P A (Grade Point Average)』とは、履修登録した各授業科目の成績を、それぞれ5段階で評価した値の平均値であり、学力を客観的に計る方法として、主に欧米の大学などで一般的に用いられ、日本の大学でも導入が進められている成績評価指標の一つです。

G P Aは、以下の計算式により、算出されます。

#### 【成績5段階評価の区分】

成 績	Grade	Grade Point
90～100点	A	4.00
80～89点	B	3.00
70～79点	C	2.00
60～69点	D	1.00
不可・不適	F	0.00

#### 【G P Aの計算式】（小数第3位を四捨五入して第2位まで表示します）

$$GPA = \frac{(4 \times A \text{の修得単位数}) + (3 \times B \text{の修得単位数}) + (2 \times C \text{の修得単位数}) + (1 \times D \text{の修得単位数})}{\text{履修登録科目の単位数 (F (不可・不適) の科目の単位数を含む) の合計}}$$

G P Aには、不合格（不可・不適）の科目も算入されるので、不合格科目があるとG P A評価を下げることになります。（「不可」は期末試験などの成績評価で不合格となった科目、「不適」は出席日数不足や試験を受けない等により履修放棄となった科目です。）

#### 【G P Aを用いた学修指導】

G P Aが基準値未満の者は、進路変更指導を含む学修指導を受けることとなります。下記の表のとおり基準値は学科ごと異なります。

学科	G P A値
産業デザイン学科	各学期終了時点の専門科目G P Aが0.80未満の者
生活デザイン学科	Semester毎G P Aが通算2回（2 Semester）1.00未満の者
経営コミュニケーション学科	2 Semester連続で Semester毎G P Aが1.00未満の者

Semester毎G P A： Semester毎の教職科目を除いたG P A

専門科目G P A：第1 Semesterから直近 Semesterまでの専門科目の通算のG P A

大学院への推薦基準など成績の総合評価にG P Aを用います。



## 地域志向科目

### 地域志向科目

本学では、平成26年度に、文部科学省が実施する「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」に採択され、「オールせんだライフデザイン実践教育共創事業」をテーマに、教育、研究、社会貢献の活動を通じて、地域の産業や文化の発展に貢献できる人材の育成を目的に実施してきました。

各学科では、地域志向科目が開講されており、学生の皆さんは、これらの科目を履修することで、地域社会で即戦力として活躍できる人材になるための能力を身に付けることが可能になっています。

（各学科の履修ガイダンス「7. 地域志向科目」参照）

具体的な「地域志向教育」を担う「地域志向科目」の設定および授業内容は、下記のとおりです。

(1) 「地域志向科目」とは、ハード（技術）とソフト（デザイン）の両面およびそれを融合させた内容で構成し、目標とする人材を養成するために設定された科目。

(2) 「地域志向科目」の授業内容

- 1) 自治体（地域）が有する課題の認識や地域づくり（地域振興・イノベーション創出）の事例
  - ① 地域づくり（人・モノ・場・情報）の事例
  - ② 地域・産業・技術のイノベーション展開事例
  - ③ 地下鉄東西線沿線の課題解決に向けた取り組み
  - ④ 地域における防災・減災
- 2) 地域産業における製品や技術・情報の高付加価値化の手法
  - ① 固有技術の高度化
  - ② 次世代に対応した先進技術
  - ③ デザイン・マーケティング・プロモーション
- 3) 地域における「魅力」の発見、「豊かさ」の追求に向けた取り組み
  - ① 地域における「暮らし」と「なりわい」
  - ② 地域の資源（人・歴史・文化・伝統・自然・動植物・もの・素材・その他）の活用
  - ③ 地域の環境とエネルギー
  - ④ 都市計画や住空間
  - ⑤ 福祉と健康
- 4) 持続可能な社会構築に向けた鳥瞰的視野の醸成
  - ① 環境負荷低減に向けた取り組み
  - ② 将来の仙台のまちづくりに向けた取り組み
  - ③ まちづくりにおけるソーシャルビジネス・コミュニケーションビジネス（地域住民・企業・NPO・NGOの参画）の展開
- 5) その他「地域志向教育」により目標とする人材の養成に資すると考えられる授業内容



**ライフデザイン学部**

**教養教育科目**

**履修ガイダンス**

# 教養教育科目履修ガイド

## (ライフデザイン学部 教養教育科目)

### 1. カリキュラムの特徴

専門的な知識や技術のみに偏ることのない広い視野，市民としての常識，豊かな人間性を身につけるために「社会性」「人間性」「文化性」「科学力」「人間力」「表現力」「健康」「学際」という多彩な科目群を設け，幅広く学習することによって，専門課程で修得した知識や技術を地域社会や国内外において正しく活かすことができるような人材の育成を目指す。

### 2. 授業科目と学士力の対応表

【教養教育】身につけるべき学士力	
①	コミュニケーション能力 言語の読解力，言語による自己表現と相互理解の能力
②	批判的思考力 現代世界の諸問題を考えるための基礎的な視点や知識
③	社会生活への適応力 精神的・身体的に健全であるための実践能力と知識
④	工学・建築学およびライフデザイン学を学ぶための基礎学力 数学，自然科学，経済学等の基礎知識

科目区分	授業科目名	教養教育 身に付けるべき能力			
		①	②	③	④
教養教育科目	1 表象文化論		○	○	
	2 現代社会論		○	○	
	3 現代メディア論		○	○	
	4 環境問題とエコロジー		○	○	
	5 市民と法	○	○	○	
	6 暮らしと心理学	○	○	○	
	7 科学思想史	○	○	○	○
	8 東北文化史	○	○	○	
	9 市民と政治	○	○	○	
	10 産業社会と心理学	○	○	○	
	11 産業社会と倫理		○	○	○
	12 情報社会の経済		○		○
	13 日本国憲法	○	○	○	
	14 現代の哲学		○	○	
	15 コミュニティネットワーク論			○	○
	16 ライフ・キャリアデザイン論Ⅰ	○		○	
	17 ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ	○		○	
	18 職業指導(工業)	○			
	18 職業指導(商業)	○			
	19 数学的思考法				○
	20 ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅰ	○			○
	21 ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅱ	○			○
	22 工業概論		○	○	
23 フランスの文化と言葉	○				

科目区分	授業科目名	教養教育 身に付けるべき能力			
		①	②	③	④
教養教育科目	24 ドイツの文化と言葉	○			
	25 韓国の文化と言葉	○			
	26 中国の文化と言葉	○			
	27 スタディスキルⅠ	○			○
	28 スタディスキルⅡ	○			○
	29 プレゼンテーション	○	○	○	
	30 ビジネスマナー	○		○	
	31 英語Ⅰ A	○			
	32 英語Ⅰ B	○			
	33 英語Ⅱ A	○			
	34 英語Ⅱ B	○			
	35 英会話 A	○			
	36 英会話 B	○			
	37 資格英語 A	○			
	38 資格英語 B	○			
	39 健康・運動科学実習Ⅰ	○			○
	40 健康・運動科学実習Ⅱ	○			○
	41 スポーツ科学実習	○			○
	42 特別課外活動Ⅰ				
	43 特別課外活動Ⅱ				
	44 特別課外活動Ⅲ				
	45 特別課外活動Ⅳ				
	46 他大学等教養科目群				





# 教養教育科目の履修の流れ (ライフデザイン学部)

## 総合教育センター 学習・教育目標

1. 自ら考えて行動できる市民として必要な教養（素養）を身につけること。
2. 工学・建築学およびライフデザイン学を学ぶための基礎的知識を身につけること。
3. 高等学校教育から大学教育に円滑に移行するため（できるだけ）の基礎学力を身につけること。
4. 高校教員免許状取得を目指す学生に必要な基礎的（専門）知識を身につけること。

必修科目

選択科目

## 科目群の学習・教育目標

地域・文化・社会

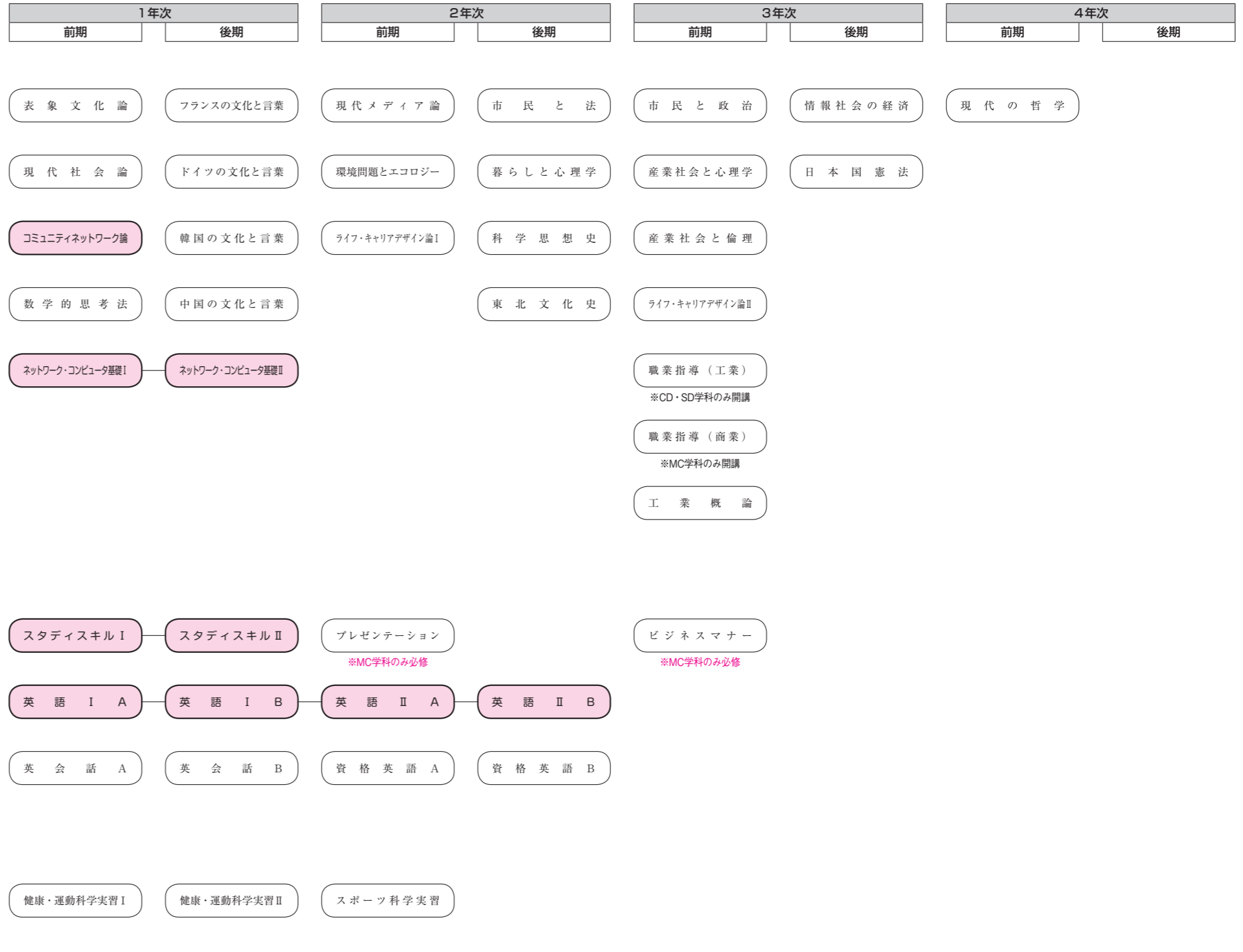
現代の社会、および現代の文化（生活）や地域の諸問題を考えるための基礎的な視点や知識を身につける。

言葉と表現

専門課程において要求される言語の読解力、また社会に出てから要求される言語による自己表現と相互理解の能力を身につける。

心と体の健康

身体運動と心身の健康についての正しい知識と実践能力を修得する。またコミュニケーション、リーダーシップの向上に役立てる。



◇科目ナンバリングについて

1. 科目ナンバリングの配列

1 段目		2 段目		3 段目	
学部区分	学科区分	分野		学習進度+通し番号	
L	GE	CCS		133	
LGE-CCS-133					

※ライフデザイン学部教養教育科目「コミュニティネットワーク論」(1年次開講)の例

2. 科目ナンバリングの凡例

1 段目 (学部区分)	
F	工学部/建築学部/ライフデザイン学部
E A	工学部/建築学部
L	ライフデザイン学部
(学科・科目区分)	
GE	教養教育科目
Z	教職科目

2 段目 (分野)		
CCS	教養教育	地域・文化・社会
LE		言葉と表現
MPH		心と体の健康
IDP		学際
Z	教職	教職

3 段目 (学習進度+通し番号)	
100番台	学習進度1クラスレベル
200番台	学習進度2クラスレベル
300番台	学習進度3クラスレベル
400番台	学習進度4クラスレベル
500番台	学習進度5クラスレベル
600番台	学習進度6クラスレベル
700番台	学習進度7クラスレベル
800番台	学習進度8クラスレベル
000番台	その他(レベル分けができない科目、例:特別課外活動)

本学では、授業科目に適切な番号を付し分類する「科目ナンバリング」を導入しています。

学部・学科ごとに授業科目の難易度に基づく学習の段階や順序を整理していますので、履修科目を選択する際などに利用してください。

3. 各科目の科目ナンバリング

科目 No.	科 目 名	各期の毎週時間数							
		1 年		2 年		3 年		4 年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
FGE-CCS-110	表象文化論	2							
FGE-CCS-111	現代社会論	2							
LGE-CCS-133	コミュニティネットワーク論	2							
LGE-CCS-101	数学的思考法	2							
LGE-CCS-102	ネットワーク・コンピュータ基礎 I	2							
FGE-LE-110	スタディスキル I	2							
FGE-LE-130	英語 I A	2							
FGE-LE-140	英会話 A	2							
FGE-MPH-110	健康・運動科学実習 I	2							
LGE-CCS-203	ネットワーク・コンピュータ基礎 II	2							
FGE-CCS-260	フランスの文化と言葉	2							
FGE-CCS-270	ドイツの文化と言葉	2							
FGE-CCS-280	韓国の文化と言葉	2							
FGE-CCS-290	中国の文化と言葉	2							
FGE-LE-211	スタディスキル II	2							
FGE-LE-231	英語 I B	2							
FGE-LE-241	英会話 B	2							
FGE-MPH-211	健康・運動科学実習 II	2							
FGE-CCS-310	現代メディア論		2						
FGE-CCS-311	環境問題とエコロジー		2						
FGE-CCS-320	ライフ・キャリアデザイン論 I		2						
LGE-LE-212	プレゼンテーション		2						
FGE-LE-332	英語 II A		2						
FGE-LE-150	資格英語 A		2						
FGE-MPH-320	スポーツ科学実習		2						
FGE-CCS-410	市民と法			2					
FGE-CCS-411	暮らしと心理学			2					
FGE-CCS-412	科学思想史			2					
FGE-CCS-413	東北文化史			2					
FGE-LE-433	英語 II B			2					
FGE-LE-251	資格英語 B			2					
FGE-CCS-410	市民と政治				2				
FGE-CCS-411	産業社会と心理学				2				
FGE-CCS-412	産業社会と倫理				2				
FGE-CCS-521	ライフ・キャリアデザイン論 II				2				
FGE-CCS-531	職業指導 (工業)				2				
LGE-CCS-532	職業指導 (商業)				2				
FGE-CCS-301	工業概論				2				
LGE-LE-513	ビジネスマナー				2				
FGE-CCS-610	情報社会の経済					2			
FGE-CCS-611	日本国憲法					2			
FGE-CCS-710	現代の哲学						2		
FGE-IDP-010	特別課外活動 I	...	...	...	...	...	...	...	...
FGE-IDP-020	特別課外活動 II	...	...	...	...	...	...	...	...
FGE-IDP-030	特別課外活動 III	...	...	...	...	...	...	...	...
FGE-IDP-040	特別課外活動 IV	...	...	...	...	...	...	...	...
FGE-IDP-050	他大学等教養科目群	...	...	...	...	...	...	...	...

## 1 表象文化論 FGE-CCS-110

Culture and Representation

選択 2単位 1年前期

**授業の概要：**本講義においては、諸メディア（芸術・映画・アニメ・マンガ等）で再現・表現された様々なイメージについて、その歴史的背景や文化的文脈とのかかわりも踏まえて分析、考察を行う。まず表象・文化とはどのようなものかについて確認した上で、設定した時代・テーマに関するイメージを解釈し、同時に広く文化・時代状況について検討する。

**授業の達成目標：**表象文化論についての基礎知識を習得するとともに、表象を多角的に捉える力を身につける。

## 2 現代社会論 FGE-CCS-111

Modern Sociology

選択 2単位 1年前期

**授業の概要：**日本社会は戦後の高度経済成長を通して大きく変貌を遂げてきた。本講義では、私たちが生きている現代日本社会の成り立ちや特徴を理解することを目的に、高度経済成長が私たちの生活にもたらした変化、その意味について解説する。

**授業の達成目標：**日本社会が高度経済成長のなかでいかに変容してきたのかについて理解し、現代日本社会の特徴を理解するための視点を養う。

## 3 現代メディア論 FGE-CCS-310

Modern Media

選択 2単位 2年前期

**授業の概要：**我々が日々接しているメディアは、消費社会の高度化と科学技術の進展を背景に、世界中を覆い尽くし、生活になくしてはならないものとなっている。本講義では、多様な意味を持つ「メディア」の20世紀以降の展開を概説し、さらにそれらが我々の社会・文化にどのような影響を与えてきたかについて考察を行う。

**授業の達成目標：**主に書籍・雑誌、絵本、映像メディアについての基礎知識を習得するとともに、各メディアの分析方法を身につける。現代の各メディアの歴史的な展開と、我々の社会意識・文化状況との関係について理解する。

## 4 環境問題とエコロジー FGE-CCS-311

Environmental Issues and Ecology

選択 2単位 2年前期

**授業の概要：**産業革命以降の急速な人口増加と経済活動の拡大により、人類は大きな課題に直面している。環境問題を理解するために必要なエコロジーに関する知識を学び、環境問題について理解し、社会的な動きを見ていく。また、自然と共生する社会を築くための基盤となる考え方として、自然から与えられる恵と災害とを認識する。授業を通して、日常生活や地域社会などの身近な場面で、社会の一員として地球環境を維持していくために自らできることを考える。

**授業の達成目標：**持続可能な開発目標（SDGs:Sustainable development Goals）で取り上げられている環境分野に関連する諸問題（安全な水の供給、クリーンなエネルギーの供給、持続可能な生産、気候変動への対策、海洋資源の持続的利用、森林資源の持続的利用）について理解する。

## 5 市民と法 FGE-CCS-410

Introduction to Law

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**社会が複雑化するなか、トラブル解決の手段としての法・裁判はますます重要になっている。裁判員制度のように、市民が法・裁判にいつそう深くかかわる機会もふえてきた。本講義では、法・裁判のしくみと法的な考え方について、具体的に、根本から考える。

**授業の達成目標：**法・裁判の現状と考え方に触れ、基礎的な知識を修得すること。法から社会を知ること。

## 6 暮らしと心理学 FGE-CCS-411

Everyday Life and Psychology

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**パーソナリティ、適応、ストレスの問題等、一般心理学の基礎を知るとともに、人間行動の心理が日々の社会生活とどのように関わっているかを理解していく。とくに現代社会はストレス社会と言われて久しい。メンタルヘルスの問題を理解し、ストレス軽減のために必要な心身のストレスマネジメントの方法を考えていく。

**授業の達成目標：**日常生活場面での人間行動を心理学の立場からとらえることで、自己理解と他者理解の視点を学ぶ。また、精神的健康を維持するために、心と身体の関係性を理解するとともに、ストレスに関する理解を深め、その知識と対処法を実生活に生かせることを目標とする。

## 7 科学思想史 FGE-CCS-412

History of Scientific Thought

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**社会の発展は科学によって支えられてきたが、科学の発展もまた社会と緊密な関係を取り結んでいる。科学との連携がいっそう重要となった現代社会の問題を考えるために、本講義では、科学と思想・宗教・文化との関わりを歴史的にみていくこととする。

**授業の達成目標：**科学の思想そのものが問われ、科学と社会の関係、文明における科学の役割が問題とされている現在、古代・中世から近代、現代に至るまでの科学の発達史を、その時代の社会的・思想的諸条件との関連を踏まえて理解できるようにする。

## 8 東北文化史 FGE-CCS-413

Cultural history of Tohoku

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**東北地方の各地域は中央の都に対する周縁の地方として位置づけられ、地方・自然・人情・懐古などのイメージで表現されてきた。この授業では、アニメなどのサブカルチャーを含めて様々な表現作品から東北のイメージを探り、東日本大震災を経験した現在において作られつつある価値観を考えていく。参加者には、自分の経験や知識をふまえた、積極的な意見表明を期待する。

**授業の達成目標：**東北を舞台としたアニメ、漫画、映画、小説、評論を通じて、東北の諸地域がどのように意識され、表現されているかを考える。東北各県をめぐるイメージや価値観が、従来どのように形成されてきたかをあとのつげ、現在どのように変化しているかを理解することを目標とする。また、そのようなイメージの形成および変化の過程で、どのような文脈や背景があるのかを、歴史的な流れの中で把握することを目指す。

## 9 市民と政治 FGE-CCS-410

Introduction to Politics

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**政治はわれわれの社会生活を左右する。誰も政治から逃げられない。だから誰もが政治のしくみを理解し、その正しい方向性について考えるべきである。本講義では、政治のしくみと政治的な考え方について、そして現代日本における論点について、具体的に、根本から考える。

**授業の達成目標：**日本政治の現状と考え方に触れ、基礎的な知識を修得し、政治的判断力を養うこと。政治から社会を知ること。

## 10 産業社会と心理学 FGE-CCS-411

Industrial Society and Psychology

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**この授業では、知覚、認知、注意、態度、適性など、主に認知心理学、産業心理学、交通心理学、社会心理学のトピックスを取りあげながら、産業事故の背景にある人間側の要因を理解していく。また、産業社会の安全を維持するための心理学アプローチについて考察する。さらに、人間行動の基礎を理解するために、簡便な心理実験を複数回実施する。自ら実験材料を作成し実験を実施するなど、能動的な体験学習を通して、人間行動の原理についての発見学習を促していく。またグループ作業による共同でのデータ整理と分析を通して、課題探求の意識を深めていく。

**授業の達成目標：**幸福で安全な人間社会をつくるため、心理学が果たす役割は多々ある。人間行動の基礎を理解することで、ヒューマンエラーや産業事故を防止し、幸福で安全な社会生活を送るための視点を学ぶ。

## 11 産業社会と倫理 FGE-CCS-412

Industrial Society and Ethics

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**産業、工学が社会および地球環境に及ぼす効果、価値に関する理解や責任など、それらに関わる者として社会に対する責任を自覚する能力を身につける。産業や工学の究極目的が人類の福祉の実現であること、また産業に携わる者や技術者の倫理観の欠如が、福祉とは逆に、社会および地球環境にとって大きな問題を生ぜしめている現状を理解する。ついで具体的な事例における倫理的な価値判断の方法を学ぶ。

**授業の達成目標：**倫理観をもって専門技術を応用し、人類福祉の実現、社会の持続・発展に貢献する人材となるための基本的資質を身につける。

## 12 情報社会の経済 FGE-CCS-610

Information Society Economics

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**構造改革、累積する国債、少子・高齢化と年金といった問題が山積している日本経済は、この先、安定的な成長路線に復帰できるのであろうか。この講義では、戦後の復興期、高度成長期から平成の「失われた20年」までを振り返りながら、第10回までは日本経済、それ以降は日本企業の全体像を解説し、金融・財政の仕組みにも言及しながら、今日の我々をとりまく経済の諸問題について考察する。

**授業の達成目標：**情報化社会における基本的な経済の仕組みを理解し、日本経済の現状を分析する力を養います。



## 13 日本国憲法 FGE-CCS-611

The Constitution of Japan

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**いま憲法をめぐる議論は極めて重要な政治的論点になっている。憲法の基本と役割を知ることはますます必要である。本講義では、憲法とは何か、その機能は何かについて、具体的に、根本から考える。

**授業の達成目標：**日本国憲法の歴史と考え方に触れ、基礎的な知識を修得すること。憲法から社会を知ること。

## 14 現代の哲学 FGE-CCS-710

Modern Philosophy

選択 2単位 4年前期

**授業の概要：**17世紀から19世紀にかけての市民革命をめぐる言説を学ぶことで「国家とは何か」「社会とは何か」について問う姿勢を養う。

**授業の達成目標：**国家論・市民社会論を中心テーマとして西洋近代思想史の流れを辿り、現代社会の理解に役立てる。

## 15 コミュニティネットワーク論 LGE-CCS-133

Theory of Human Community and Network

必修 2単位 1年前期

**授業の概要：**コミュニティは、多様な人々が形成する小さな社会集団の根源的な一形態であり、産業・経済・福祉・防災・文化のあらゆる局面において、協働主体となり得るものである。かつては、地縁共同体と同義という印象が強かったが、現在は、外部に開かれた動的な人的ネットワークとも強く連関している。とくに、ICT応用技術が発達した現在こそ、あるべき地域社会とライフデザインをみすえ、コミュニティやネットワークの意味を正しく理解することが不可欠といえる。本講義では、市民主導による価値の発見や評価、合意形成など、コミュニティやネットワークを中心とした事業企画・ものづくり・まちづくりに着目し、その背景や取り組み、手法や体制を多様な実践例から学び、本学部における知識・技術の共通基盤の一助とする。

**授業の達成目標：**社会におけるコミュニティやネットワークの重要性を認識し、その基礎知識を身につけるとともに、事業企画・ものづくり・まちづくりの具体的な課題において、これを参照・活用できるようになる。

## 17 ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ FGE-CCS-521

Life carrier design theory II

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**何故キャリアをデザインする必要があるのか？キャリアデザイン論Ⅰで学んだことをさらに発展させる。学生時代も就職してから、将来の働き方、生き方を自分でデザインすることは重要である。場合によっては修正し、再設計、再々設計していくことが必要になってくる。そのために実践的な形式とコミュニケーションを重視し進行する。個人、グループ、全体でワークを展開し、自分の考えや夢と向き合い明確にしていく。社会の現実にも目を向け、社会人へ移行するための視点や考えを養う。そのため、多様な観点の問いに対し自分なりの考えを持ち、他者の意見に耳を傾け言語化していく。就職活動のためのノウハウやスキルではなく、自分に存在する強みや資源をどう活かすかを考察し、連続する社会生活に必要な挑戦と回復する力の重要性を共に考えていく。

**授業の達成目標：**キャリアデザイン論Ⅰで学んだ内容をさらに発展させる。具体的には、自分の夢や目標をより具体的にデザインできるようになる。キャリアデザインを改めて描くことで自身の変化と今後の目指す方向性の発見になる。将来について真剣に自分事として考え、『自分の将来を思い描き、自分で選び決める』力を習得する。そのために必要となる考え方ややり方を学ぶ。大学生活での学びと経験、専門科目を今後の社会生活に関連付けさせる。そのために、目まぐるしく複層的に変化する社会において、短期視点だけではなく中長期の視点を身に付け、自ら選択し決断できる思考と行動力を醸成する。

## 16 ライフ・キャリアデザイン論Ⅰ FGE-CCS-320

Life carrier design theory I

選択 2単位 2年前期

**授業の概要：**大学生の現在において、多様で複雑な社会の中で自分の人生や働き方を考えることが重要である。自分の未来を自分で描くことにより、自分の将来について熟考することは大学の学びを深めることにもつながる。大学生活を自分で創り、それを将来の自分のキャリアと関連付けさせる。そのために実践的な形式とコミュニケーションを重視する。学生生活、今までの経験、自分の将来、社会の動きなどの多様な問いに対して、自分の考えを言語化する。正解がある訳ではない人生と捉え、失敗を恐れずに挑戦し、その繰り返しの中で自分の成長につなげていく。就職活動のためのノウハウやスキルではなく、社会や他者の多様な考えや視点を知り、『自分で考える』ことを実践する。社会人へ移行する上で必要になる主体的に自分の『大学の学びと経験』、将来の『仕事』『職業』『生き方』をとともに考えていく。

**授業の達成目標：**将来について真剣に自分事として考える力を習得する。自分の考えや意見を発信でき、自ら選択し決断できる思考と行動力を醸成する。大学生活で何を学び経験するかや専門科目にどう取り組んでいくかを考える。変化する社会や地域の中の自己を認識理解し位置付ける。『自分はどう思うか』を問い続け、自分自身に対する理解を促進し生き方や働き方を考えられるように実践的に学ぶ。自分の目標や夢を具体的に描けるようになることを目指す。それにより、大学までの学びや経験と関連させながら、多様な視点を持った考え方や捉え方を持ち、自身のキャリアのビジョンを立案するために活用できるようになる。

## 18 職業指導（工業） FGE-CCS-531

Vocational Guidance

選択 2単位 3年前期

※「工業」の免許状取得希望者のみ必修

**授業の概要：**現代社会の工業技術の変化は日進月歩で著しいものがあり、創造的な能力と適性が以前よりも増して強く求められている。一方で、旧き技術を大切にしながら、新たな工業技術の創造に努める工業社会の歴史と適性の概念の変遷を学ぶことも重要であり、職業観の形成、職業技能の習得過程、職業適性の諸理論の理解を通して、モノ作りを支える人たちのキャリア形成の問題に触れる。さらに、工業高校でのキャリア教育の授業計画作成をグループワークで行うことを通して、教育実践の具体例を学んでいく。

**授業の達成目標：**工業社会で働くことになる生徒の指導にあたり、教師はまず適正な職業観をもつことが求められる。また教師は、生徒がモノ作りなどの生産の仕事に個人の成長と幸福感を得ることができるよう、自己発見や自己理解が重要なことも指導する必要がある。その上で、現代の工業社会で課題となる職業選択、職業適性、能力開発等について基礎を学習し、生徒の主体的な問題発見と問題解決能力を育成するための教育の方法を習得するものとする。



## 18 職業指導（商業） LGE-CCS-532

Vocational Guidance

選択 2単位 3年前期

※「商業」の免許状取得希望者のみ必修

**授業の概要：**現代の高校生の多くはアルバイトによる就業体験を通して職業観を形成している。しかし、賃金獲得以外の職業観の形成が未熟であるため、そのことが就職直後の高い離職率の一因となっている。消費者のニーズに応えながら自己成長等の「労働＋αの個人の価値」を模索する生き方を伝えなくてはならない。さらに商業高校でのキャリア教育の授業計画作成をグループワークで行うことを通して、教育実践の具体例を学んでいく。

**授業の達成目標：**国際化が進む中、流通ビジネス、経営情報などのグローバルな経営戦略の状況が急速に進展している。一方で安全安心を求める消費者のニーズが高まっている。厳しい競争社会と社会要請、そして急速なビジネス環境の変化の中にあっても、職業観をしっかりともち、サービスを提供する仕事を通して、個人の成長と幸福感が得られるような職業指導が教師に求められている。その上で、現代の商業社会で課題となる職業選択、職業適性、能力開発等を学び、働く力の基礎を育成するための教育の方法を習得するものとする。

## 20 ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅰ LGE-CCS-102

Information Literacy I

必修 2単位 1年前期

**授業の概要：**インターネットを利用する方法と文章・表・プレゼンテーション資料の作成方法を、実際にパソコンを使用しながら学ぶ。インターネット、モバイル機器を利用してコミュニケーションをとる際のマナー、デジタル情報を扱う際の注意点について、テキストで学ぶ。

**授業の達成目標：**コンピュータ（パソコン）・インターネットの基本的な使用方法を身につける。  
インターネット、モバイル機器の利用マナーを理解する。

## 22 工業概論 FGE-CCS-301

Introduction to Industry

選択 2単位 3年前期

※「工業」の免許状取得希望者のみ必修

**授業の概要：**本講義は、高等学校教員免許の取得を目指し、教職課程を履修している学生を対象とする講義である。高等学校において生徒に工業系科目の授業を提供するために必要となる、工業教育全体にかかわる機械、電気、情報、建築、化学の各分野のエッセンスを、演習や実習の要素を交えながら、問題演習に重点を置きつつ、幅広く講ずる。技術者としての倫理観や実践的な技術を修得させ、環境およびエネルギーに配慮しつつ、工業技術に関する諸問題を主体的・合理的に解決し、社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を養う。

**授業の達成目標：**現代社会における工業の意義や役割を理解し、「どのようなものを、いかに作るか」を問い直す意識をもって、工業の各分野に関する基礎的な知識と技術・技能を修得することで、将来高等学校の工業教育にかかわる際に必要な資質を養うこと。それを通じて、工業高校の生徒に対して指導者として教育を行うために必要となる、工業教育への自信と力量を備えること。

## 19 数学的思考法 LGE-CCS-101

Mathematical Thinking

選択 2単位 1年前期

**授業の概要：**数学の基礎固めをしながら、社会現象を数式で予測する力を養う。

**授業の達成目標：**数学の基礎的な知識を確実に身につける。

## 21 ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅱ LGE-CCS-203

Information Literacy II

必修 2単位 1年後期

**授業の概要：**レポート作成、データ整理、プレゼンテーション等に今や欠かせないものとなった Microsoft Office の操作方法について学ぶ。Word による文章作成、Excel による表計算とグラフ作成、PowerPoint によるプレゼンテーション資料の作成について、それらソフトの操作方法について習得する。

**授業の達成目標：**コンピュータを使用してレポート作成、データ整理、プレゼンテーション資料の作成ができるようになること。

## 23 フランスの文化と言葉 FGE-CCS-260

選択 2単位 1年後期

**授業の概要：**フランスの歴史・文化・社会について、日本との比較を通して理解を深める。同時に初歩的なフランス語文法、会話を学び、フランスという国についての理解をさらに深める。

**授業の達成目標：**世界の多様な社会・言語についての基礎的な知識を身につけ、異文化に対する関心を深める。

## 24 ドイツの文化と言葉 FGE-CCS-270

Culture and Language of Germany

選択 2単位 1年後期

**授業の概要：**ドイツの歴史・文化・社会について、日本との比較を通して理解を深める。同時に初歩的なドイツ語文法、会話を学び、ドイツという国についての理解をさらに深める。

**授業の達成目標：**世界の多様な社会・言語についての基礎的な知識を身につけ、異文化に対する関心を深める。

## 25 韓国の文化と言葉 FGE-CCS-280

Culture and Language of South Korea

選択 2単位 1年後期

**授業の概要：**韓国の歴史・文化・社会について、日本との比較を通して理解を深める。同時に初歩的な韓国語文法、会話を学び、韓国という国についての理解をさらに深める。

**授業の達成目標：**世界の多様な社会・言語についての基礎的な知識を身につけ、異文化に対する関心を深める。

## 26 中国の文化と言葉 FGE-CCS-290

Culture and Language of China

選択 2単位 1年後期

**授業の概要：**中国の歴史・文化・社会について、日本との比較を通して理解を深める。同時に初歩的な中国語文法、会話を学び中国という国についての理解をさらに深める。

**授業の達成目標：**世界の多様な社会・言語についての基礎的な知識を身につけ、異文化に対する関心を深める。

## 27 スタディスキルⅠ FGE-LE-110

Study skills I

必修 1単位 1年前期

**授業の概要：**工大で学び、社会に出るための準備として「日本語力」、「大学生活管理能力」を身に付ける。そのために、以下の2つのことを学び、実践する。

I 「正しく分かりやすい日本語表現」をするために必要な「文章添削・文章構成・敬語」の基礎を学ぶ。

II 大学生活を記録・管理する。

**授業の達成目標：**大学在学中、並びに社会人となってから必要となるスタディスキル（学修能力）、特に日本語能力、生活管理力の基礎を身につけることを達成目標とする。

## 28 スタディスキルⅡ FGE-LE-211

Study skills II

必修 1単位 1年後期

**授業の概要：**本講義では、「日本語力」と「大学生活管理能力」をさらに磨く。そのために、以下の2つのことを学び、実践する。

I 新聞記事を材料に、語彙力・読解力・要旨作成力を高める。  
II 大学生活を記録・管理し、それをもとに「自己紹介書」を作成する。

**授業の達成目標：**大学在学中、並びに社会人となってから必要となるスタディスキル（学修能力）、特に日本語能力、生活管理力の基礎を身につけること、身に付けた力を実際に使えるようになることを達成目標とする。

## 29 プレゼンテーション LGE-LE-212

Presentation

選択 1単位 2年前期

※MC学科のみ必修

**授業の概要：**人間のコミュニケーション機能は本来自然に備わっているはずなのに、対人関係においてコミュニケーションを苦手とする人間は学生にも社会人にも非常に多い。本講義では多くの現代日本人が抱える、コミュニケーションへの苦手意識克服に理論的かつ適切な解を与えつつも、思考訓練と表現のツールである「図解」を用いて、将来ばかりか人生に必要とされるコミュニケーション、プレゼンテーション能力をグループワークも取り入れながら訓練、開発していく。

**授業の達成目標：**[1] コミュニケーション、プレゼンテーションに必要な思考能力を実践的に培う。

[2] 自分の持つコミュニケーション能力を高める。

[3] 今までより以上にプレゼンテーション能力を高める。

**30 ビジネスマナー** LGE-LE-513  
Business Manners

**選択 1 単位 3 年前期**  
※MC 学科のみ必修

**授業の概要：**自分自身を見つめ、社会性をもつ人間としての基本を学ぶ。また、仕事への取り組み方やより良い人間関係など、社会人として生きる上で大切な事を学習する。

**授業の達成目標：**人間力を磨き、社会で活躍するための基礎を学習します。

社会人として活躍する上で重要な基本マナーやコミュニケーション力、考え方などを身につけます。

ビジネスマナーと並行し、将来を決める就職活動の必勝法も学びます。

自分の能力を活かし、将来安定した人生を送るために必要な基礎知識を実践的な授業で習得します。

**31 英語 I A** FGE-LE-130  
English I A

**必修 1 単位 1 年前期**

**授業の概要：**speaking、listening、writing、reading の四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づいて情報の送受信を行うための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、品詞、文の種類、五文型、時制である。

**授業の達成目標：**1. 品詞、文の種類、文型、時制などの基礎的な英文法を理解できる。

2. 基礎的英文法の理解に基づいて、speaking、listening、writing、reading の四分野において、日常的場面でのコミュニケーションを行うことができる。

**32 英語 I B** FGE-LE-231  
English I B

**必修 1 単位 1 年後期**

**授業の概要：**speaking、listening、writing、reading の四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づいて、長文読解のための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、主語と動詞の一致、助動詞、前置詞、接続詞、比較である。

**授業の達成目標：**1. 主語と動詞の一致、助動詞、前置詞、接続詞、比較などのより複雑な英文の理解に必要な文法項目を理解できる。

2. 上の文法項目の理解に基づいて、speaking、listening、writing、reading の四分野において、日常的場面でのコミュニケーションを行うことができる。

**33 英語 II A** FGE-LE-332  
English II A

**必修 1 単位 2 年前期**

**授業の概要：**speaking、listening、writing、reading の四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づき、TOEIC の適語補充問題レベルの英文に対応するための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、品詞、文型、時制、受動態、関係詞である。

**授業の達成目標：**1. 品詞、文型、時制、受動態、関係詞などの基礎的な英文法を理解できる。

2. 英語圏での日常生活、およびビジネスの現場で用いられる TOEIC レベルの英文メール、手紙、広告などの、基本的、実践的内容の英文を理解できる。

**34 英語 II B** FGE-LE-433  
English II B

**必修 1 単位 2 年後期**

**授業の概要：**speaking listening writing reading の四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づいて、TOEIC レベルの長文に対応するための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、分詞、不定詞、動名詞、仮定法である。

**授業の達成目標：**1. 分詞、不定詞、動名詞、仮定法などにより高度な英文法に関する知識を持つ。

2. 英語圏での日常生活、およびビジネスの現場において用いられる TOEIC レベルの社内通知、表、アンケートなどを含む様々なフォームの英文を理解できる。

**35 英会話 A** FGE-LE-140  
English Conversation A

**選択 1 単位 1 年前期**

**授業の概要：**The course covers a variety of topics which will give students the opportunities to learn & share information about themes relevant to students' daily lives. In addition to the course textbook, the course is supplemented by a variety of interactive activities such as vocabulary & transcription exercises. These activities will help students to gain confidence in using the four skills of speaking, listening, reading & writing in English more spontaneously & creatively.

**授業の達成目標：**The objective of this course is to provide students with a variety of opportunities to express themselves in English. Focus will be placed upon speaking & listening.

## 36 英会話 B FGE-LE-241

English Conversation B

選択 1 単位 1 年後期

**授業の概要：**In addition to the course textbook, the course is supplemented by a variety of interactive activities such as vocabulary & transcription exercises. These activities will help students to gain confidence in using the four skills of speaking, listening, reading & writing in English more spontaneously & creatively. Students will also learn presenting skills, vital for learning to express themselves & their ideas to a wider audience in English.

**授業の達成目標：**The objective of this course is to provide students with a variety of opportunities to express themselves in English. Focus will be placed upon speaking & listening.

## 38 資格英語 B FGE-LE-251

English for Specific Purposes B

選択 1 単位 2 年後期

**授業の概要：**TOEIC 対策用のテキストや参考書などを用いた演習を通して、より複雑な構造の英文を理解する。取り扱う文法事項は、受動態や不定詞、動名詞、分詞、関係詞、仮定法などである。また、重要イディオムや語彙問題の演習を通して、よりスコアに結び付く実践的な力をつける。450～500 点を目標とした授業内容である。

**授業の達成目標：**1. 受動態、準動詞、関係詞、仮定法などより複雑な構造の英文が理解できる。  
2. TOEIC リーディング・セクションの長文問題への対応力を有する。

## 40 健康・運動科学実習 II FGE-MPH-211

Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II

選択 1 単位 1 年後期

**授業の概要：**健康・運動科学実習の授業では、健康の維持増進や豊かな社会生活を送るための手段として身体活動を捉え、且つ実践していく能力である身体リテラシーを向上させることを目的としています。各種目の理論・技術を習得していくと同時に、心身の健康増進と、何より学生間のコミュニケーションの活性化を図り、本授業をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成します。

健康・運動科学実習 II では健康・運動科学実習 I と同様に複数の種目の中から 1 つを選択し、はじめて実践する場合であってもその種目を十分に実践できるように授業をすすめていきます。これまでの学校体育で体験したことのある種目を中心に配置しています。

**授業の達成目標：**①良好なコミュニケーション、人間関係を築くことができるようになること。  
②生涯スポーツ種目をみきわめながら生涯スポーツ活動の素養を養うこと。  
③自己の生活習慣および体力レベルを把握し、健康課題への対応について検討しながら、健康管理の方法を習得すること。

## 37 資格英語 A FGE-LE-150

English for Specific Purposes A

選択 1 単位 2 年前期

**授業の概要：**TOEIC 対策用のテキストや参考書などを用いて、TOEIC テストへの基本的な知識と対応能力を身につける。取り上げる文法項目は品詞、文型、時制、準動詞、主語と動詞の一致などの基本的事項や重要イディオムなどであり、400 点を目標とした授業を行う。

**授業の達成目標：**1. 品詞、文の種類、文型、時制、主語と動詞の一致などの英文法の基礎的事項が理解できる。  
2. 英語の音韻体系の基礎的事項が理解できる。  
3. TOEIC テストへの基礎的対応力を有する。

## 39 健康・運動科学実習 I FGE-MPH-110

Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I

選択 1 単位 1 年前期

**授業の概要：**健康・運動科学実習の授業では、健康の維持増進や豊かな社会生活を送るための手段として身体活動を捉え、且つ実践していく能力である身体リテラシーを向上させることを目的としています。各種目の理論・技術を習得していくと同時に、心身の健康増進と、何より学生間のコミュニケーションの活性化を図り、本授業をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成します。

健康・運動科学実習 I では複数の種目の中から 1 つを選択し、はじめて実践する場合であってもその種目を十分に実践できるように授業をすすめていきます。これまでの学校体育で経験したことのある種目を中心に配置しています。

**授業の達成目標：**①良好なコミュニケーション、人間関係を築くことができるようになること。  
②生涯スポーツ種目、生涯スポーツ活動の素養を養うこと。  
③自己の生活習慣および体力レベルを把握し、健康課題への対応について検討しながら、健康管理の方法を習得すること。

## 41 スポーツ科学実習 FGE-MPH-320

Practice of Sports Science

選択 1 単位 2 年前期

**授業の概要：**スポーツ科学実習では、運動やスポーツを楽しむという運動への欲求を満たし、また自ら工夫しながら身体を動かすことで得られる達成感や自己肯定感に重点を置いています。その結果、生涯にわたって運動やスポーツに積極的に取り組むきっかけとなることが期待されます。また、運動やスポーツを通じて他者との関わりから人間関係が構築され、コミュニケーション能力の向上を目指します。

スポーツ科学実習では複数の種目の中から 1 つを選択し、はじめて実践する場合であってもその種目を十分に実践できるように授業をすすめていきます。これまでの学校体育ではあまり体験しない種目を中心に、集中コースでは自然に親しみながら実践する種目を配置しています。

**授業の達成目標：**①日常生活における身体活動（スポーツ）の意義と効果について理解すること。  
②スポーツの実践を通じて、心身の健康の維持・増進を図るための素養を高めること。  
③受講者同士が協力しあうことで信頼関係を構築する力を養い、ライフスキルの獲得を図る。

## 42 特別課外活動Ⅰ FGE-IDP-010

Off-class Practice Ⅰ

選択 1単位 1年前期～4年後期

詳細については、シラバスの『特別課外活動』についてのページを参照のこと。

## 43 特別課外活動Ⅱ FGE-IDP-020

Off-class Practice Ⅱ

選択 1単位 1年前期～4年後期

詳細については、シラバスの『特別課外活動』についてのページを参照のこと。

## 44 特別課外活動Ⅲ FGE-IDP-030

Off-class Practice Ⅲ

選択 2単位 1年前期～4年後期

詳細については、シラバスの『特別課外活動』についてのページを参照のこと。

## 45 特別課外活動Ⅳ FGE-IDP-040

Off-class Practice Ⅳ

選択 2単位 1年前期～4年後期

詳細については、シラバスの『特別課外活動』についてのページを参照のこと。

## 46 他大学等教養科目群 FGE-IDP-050

Subjects offered other universities

選択 4単位 1年後期～4年前期

詳細については、シラバスの「他大学開講科目」、CAMPUS LIFEの「学都仙台単位互換ネットワーク協定および国内外の大学等との単位互換に関する協定に基づく東北工業大学特別聴講学生取扱要項」を参照のこと。



## 英語科目の履修要項

近年、日本の多くの高等教育機関で、教育の質の保証という観点から、客観的な成績評価の指標として、資格試験が利用されています。また、エントリーシートへの資格試験成績の記入や、入社後の受験を義務づけ、昇格の条件として用いる大手企業なども増加しています。こうした状況に鑑みて、本学では、文系・理系の両分野において有用な資格であるTOEIC (Test of English for International Communication) を念頭に置いた演習を、英語教育に取り入れています。資格試験対策としては継続的な学習が最も重要ですから、1年次から目的意識を持って履修計画を立ててください。

### 1. 履修科目

〈必修科目〉(1・2年次)

英語科目は、「読む、書く、聞く、話す」の四技能の養成を目的とし、以下の必修科目が設定されています。

授業科目名	単位数	毎週の時間数			
		1年		2年	
		前期	後期	前期	後期
英語ⅠA	1	2			
英語ⅠB	1		2		
英語ⅡA	1			2	
英語ⅡB	1				2

「英語ⅠA」及び「英語ⅠB」は、基礎的文法項目の学習を中心とする科目です。

「英語ⅡA」及び「英語ⅡB」は、資格試験への導入を含む、より実践的内容を学習する科目です。

〈選択科目〉(1・2年次)

各自のニーズと目的に合った英語学習を行うため、以下の選択科目が設定されています。

授業科目名	単位数	毎週の時間数			
		1年		2年	
		前期	後期	前期	後期
英会話A	1	2			
英会話B	1		2		
資格英語A	1			2	
資格英語B	1				2

「英会話A・B」では、少人数クラスで、外国人講師によるspeaking, listeningを中心とした実践的英会話、およびTOEICリスニングセクション対策の基礎となる演習を行います。

「資格英語A・B」では、TOEIC対策に特化した400～500点レベルの演習を行います。受講者は、カレッジTOEIC受験が義務付けられます。

また、3年次以降もTOEIC受験対策の学習を希望する学生を対象に、申請により「特別課外活動」として単位認定される特別講座を開講する予定です。詳細は2年次後期の授業において連絡しますので、積極的に受講してください。

### 2. 英語科目の再履修について

「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語ⅡA」「英語ⅡB」の単位未修得者(成績評価が「不可」の者)は、5講時開講の再履修クラスを受講してください。ただし、前期は「英語ⅠB」「英語ⅡB」を対象とした再履修クラス、後期は「英語ⅠA」「英語ⅡA」を

対象とした再履修クラスのみが開講されます。再履修クラスの受講ができない場合には、1～4 講時開講の各学科の正規クラスで再履修してください。また、各科目の成績評価が「不適」の学生は、再履修クラスの受講はできませんので、各学科の正規クラスを受講してください。

## スポーツ・健康系科目の履修要項

1. スポーツ・健康系科目の開講時期及び単位数は以下の通りです。
 

健康・運動科学実習Ⅰ	1 年次前期	1 単位
健康・運動科学実習Ⅱ	1 年次後期	1 単位
スポーツ科学実習	2 年次前期	1 単位（集中コースでも履修可能）

※健康・運動科学実習Ⅰ・Ⅱ，スポーツ科学実習の初回講義は長町キャンパス体育館でガイダンスと受講スポーツ種目の選択を行うので，受講希望者は必ず出席し，担当教員の説明を受けてください。なお，初回講義を欠席した場合，希望のスポーツ種目を受講できない場合があります。
2. 開講されている科目は全て卒業単位（教養教育科目）に認められます。
3. 教職免許の取得を希望する学生は健康・運動科学実習Ⅰおよび健康・運動科学実習Ⅱを必ず履修してください。
4. 健康・運動科学実習Ⅰ・Ⅱおよびスポーツ科学実習は，種目によっては希望者が多数の場合に，施設・用具の関係で人数制限を行っています。
5. 健康・運動科学実習Ⅰ・Ⅱおよびスポーツ科学実習は個人票作成のため，初回講義時に顔写真（縦4.5cm，横3.5cm）を用意してください。

## 地域志向科目の履修要綱

本学は仙台市を中心とした宮城県内の地域と連携した教育・研究・社会貢献に関わり，特に地域志向を目指す教育を重要視しています。

地域志向教育では以下の3つの人材育成を目的としています。

1. 地域の課題を発見し，その解決策を探求でき，地域産業が求める知識や技術を有する人材
2. 地域企業の役割を理解し，地域産業を発展的に世界に発信していくことができる人材
3. 新しいライフデザインの提案を創造実践できる人材

本学では地域貢献できる学生の資質向上を図り，地域志向科目を開講しています。地域志向科目はシラバスの該当科目において示しています。



## 「特別課外活動Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」について

### 科目設定の趣旨

大学における勉学は開講されている科目を履修する事だけではありません。芸術活動、クラブ活動、セミナー参加、インターンシップ参加などにより、文化・社会的活動を通して協調性やコミュニケーション能力を向上させ、人間形成を行う事が重要です。

これを奨励するため、本学では入学後に取得した資格や学内外での様々な活動を、教養教育科目「特別課外活動Ⅰ・Ⅱ」（各1単位）、「特別課外活動Ⅲ・Ⅳ」（各2単位）として認定しています。

詳細については、学科事務室、教務学生課もしくは長町校舎事務室に確認してください。

### 単位認定の対象活動

本学在籍期間中に行った自主的・能動的活動のうち、本学の教育目標にふさわしいと認められる特別な課外活動を対象に、審査の上、単位認定します。

その対象区分は当面、以下のⅠ～Ⅷとしますが、これらの項目に該当しないものについて申請があった場合も、教務委員会で審査して妥当性を判断し、場合によっては対象項目の拡張を検討します。

#### (Ⅰ) 資格取得または検定等の主な認定例 1～2単位

資格取得または検定	単位	資格取得または検定	単位
第一種電気工事士	2	第二種電気工事士	1
工事担任者 AI・DD総合種	2	映像音響処理技術資格	1
基本情報技術者	2	ITパスポート	1
第一級陸上特殊無線技士	2	情報検定情報システム	1
宅地建物取引士	2	エックス線作業主任者試験	1
危険物取扱者甲種	2	危険物取扱者乙種	1
TOEIC 600点以上	2	TOEIC 400点以上	1

詳細は教務学生課又は長町キャンパス事務室に問い合わせのこと。

#### (Ⅱ) 体育、文化及び芸術活動における顕著な業績をもつ活動 1～2単位

#### (Ⅲ) ボランティア活動（活動証明の得られるもの）

① 実活動時間が合計40時間以上の活動 1単位

② 実活動時間が合計80時間以上の活動 2単位

※必ずしも単位取得に結びつかない場合があります。参加を希望する学生は事前に教務学生課・長町キャンパス事務室にて手続きを行ってください。

#### (Ⅳ) インターンシップ制度による活動

① 実働5日以上かつ実働合計40時間以上の活動 1単位

② 実働10日以上かつ実働合計80時間以上の活動 2単位

※インターンシップは就業体験が目的であり必ずしも単位取得に結びつかない場合があります。参加を希望する学生は事前にキャリアサポート課・長町キャンパス事務室及び学科教務委員に相談して下さい。

#### (Ⅴ) 国際活動 2単位

① 国際交流委員会が認めた国際交流活動、国際交流に関する研修・セミナーへの参加

② 教務委員会が認めた45時間以上の学修を伴う海外研修

#### (Ⅵ) 教務委員会指定の課外活動 1～2単位

① 教務委員会が認めた45時間以上の学修を伴う学外または学内研修、特別講座への参加

② 教務委員会が認めた学外または学内活動への参加

#### (Ⅶ) 高大連携講座 2単位

単位認定および  
評価の方法

本学と高等学校との協定により実施された「高大連携講座」を本学入学前に修了（ただし、協定により他科目での単位認定が取り決められている講座を除く）

(Ⅷ) 学科指定の課外活動 1～2単位

◆産業デザイン学科

- (1) 各種デザインコンペでの受賞 2単位
  - (2) 企業実習への参加 2単位
  - (3) 学科内の各研究室が単独または合同で実施する調査研究，各種ゼミへの参加 2単位
  - (4) 自主的に行う国内・国外のデザイン見聞旅行の計画・実施 2単位
- ※事前に教務学生課又は長町校舎事務室に問い合わせのこと。

◆生活デザイン学科

※事前に教務学生課又は長町校舎事務室に問い合わせのこと。

◆経営コミュニケーション学科

- (1) インターンシップ 実働40時間から80時間未満 1単位
- (2) インターンシップ 実働80時間以上 2単位
- (3) 学科が認める演習・実習 総実習時間合計30時間以上 1単位
- (4) 学科が認める課外講義 総講義時間合計30時間以上、レポート提出 2単位

※事前に教務学生課又は長町校舎事務室に問い合わせのこと。

- (1) 単位認定は学生による自己申請に基づくことを原則とします。
- (2) 申請は毎学期末（7月末，1月末）とします。
- (3) 単位認定希望者は所定の申請用紙（八木山キャンパス教務学生課，長町キャンパス事務室に備付）に必要事項を記入して，次の書類を添付して八木山キャンパス教務学生課又は長町キャンパス事務室へ提出してください。

申請項目(I)の場合…資格取得，検定合格等を証明する書類

（但し，本人の名前が明示されている書類の原本を提示すること）

申請項目(Ⅱ)，(Ⅲ)の場合

- ① 活動を証明するもの（但し，本人の名前が明示されているものの原本を提示すること）
- ② 課外活動における本人の位置付け，活動の内容，成果・業績等を記載したレポート（A4判，1000字程度）
- ③ 団体活動の場合は，個人の活動を証明する第三者（クラブ顧問，団体活動の指導者・担当教員等）の証明書類

申請項目Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅷの場合

- ① 活動を証明する書類（本人の名前が明示されている書類の原本を提示すること。ただし，Ⅳの場合は写しでも可）
- ② 活動の動機，活動の内容，活動の成果，活動で得たこと等を記載したレポート（A4判，1,000字程度）

申請項目Ⅶの場合…修了証

- (4) 単位認定の審査は教務委員会で行い，教務委員長が単位認定します。

なお，成績は“認定”扱いとし，GPAと平均点には算入しません。

- (5) 認定基準

認定は次の3つの観点から行います。

- ・活動における自主性，能動性の度合い
- ・活動内容の充実度
- ・活動の成果の大きさ

## 他大学等教養科目群（教養科目）・他大学開講科目群（専門科目）

<p>学都仙台単位互換ネットワーク</p>	<p>本学は「学都仙台単位互換ネットワーク」に参加しているため、本学学生は「特別聴講学生」として、ネットワークに参加している他大学の開講科目を履修することができます。修得した単位は、所定の単位数まで、本学で履修した単位として認定できます。提供科目を開講している大学に通学して受講することになります。</p>
<p>参加大学</p>	<p>「学都仙台単位互換ネットワーク」は、仙台圏の国・公・私立の大学・短期大学・高等専門学校及び山形県の東北芸術工科大学の各大学間で、意欲ある学生に対し多様な学習機会を提供する事を目的として発足した制度です。各大学より文化、芸術、政治、経済、自然科学等、多くの学問分野にわたる科目が提供されています。</p> <p>各大学の募集要項、提供科目等は本学の八木山キャンパス教務学生課、長町キャンパス事務室で閲覧することができます。検定料、入学料、授業料（但し、放送大学宮城学習センターを除く）を別途徴収されることはありません。</p> <p>学都仙台単位互換ネットワーク協定に基づく特別聴講学生として他大学の提供科目を受講する場合は、本学で選考の上、受入大学に依頼を行い、受入大学から受入通知が来た時点で履修登録を行うことになるので、申し込みは通常の履修登録より早い時期に行われます。</p> <p>学都仙台単位互換ネットワーク協定に基づく特別聴講学生として他大学開講科目の受講を希望する学生は、まず所属学科の教務委員やクラス担任と相談の上、本学の授業に差し支えないことを確かめた上で、下記の要領に基づいて八木山キャンパス教務学生課または長町キャンパス事務室で申請手続きを行ってください。</p>
<p>科目と対象</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>学都仙台単位互換ネットワーク参加大学 石巻専修大学、尚綱学院大学、仙台北百合女子大学、仙台大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北工業大学、東北生活文化大学、東北大学、東北福祉大学、東北文化学園大学、東北医科薬科大学、宮城学院女子大学、宮城教育大学、宮城大学、聖和学園短期大学、東北生活文化大学短期大学部、仙台高等専門学校、放送大学、仙台青葉学院短期大学、宮城誠真短期大学（なお、本年度の募集を行わない大学もあるので事前に確認してください）</li> <li>他大学の募集要項、提供科目 「学都仙台コンソーシアム」のWebサイトで確認してください。</li> <li>対象者 本学に在学する1年生（後期のみ）、2、3年生、4年生（前期のみ）</li> <li>対象科目 基本的に、自分の学年より上級学年対象の科目の受講は認められません。</li> <li>進級、卒業単位に算入できる単位数 「他大学等教養科目群」または「他大学開講科目群」として進級、卒業単位に算入できる単位数の上限は、学科によって異なるので、各学科の教育課程表を参照してください。</li> </ol>
<p>出願期限</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>出願期限 出願期間は前期科目及び通年科目と後期科目で異なるほか、開講する大学によっても異なります。 「学都仙台コンソーシアム」のWebサイトに記載の出願期限とは別に学内期限があります。事前に教務学生課または長町キャンパス事務室で確認してください。</li> <li>諸注意 出願において、本学または受け入れ大学で履修を許可しない場合もあるので、事前にクラス担任、学科の教務委員と相談してください。 万一、途中で履修を取りやめるようなことがあると、受入大学に多大な迷惑をか</li> </ol>

他学部教養科目  
の履修

けます。無理の無い履修計画を立ててください。

ほとんどの大学で、自家用車での通学を認めていないので、通学にあたっては公共の交通機関を利用してください。

本学の他学部において教養科目として開講している科目を履修することができます。修得した単位は、「他大学等教養科目群」として認定されます。ただし、進級、卒業単位に算入できる単位数の上限は、学科によって異なるので、各学科の教育課程表を参照してください。特別の届出用紙での履修登録が必要です。

(本学生便覧の215ページを参照)。

※同一セメスターに開講される同一名称の科目の取り扱いは、この限りではありません。



**ライフデザイン学部**

**専門教育科目**

**履修ガイダンス**

**教育課程表・科目概要**



# 《履修ガイダンス・教育課程表》

## 産業デザイン学科

デザインとは、私たちの社会を快適にするためのアイデアを生み出し、それを暮らしの中で役立つ具体的なかたちにするための知恵です。この知恵は、工業製品や出版物などの「モノ」を作る業界はもちろん、情報やサービスなどの「コト」を提供するさまざまな活動分野でも、今後ますます重要になっていきます。

産業デザイン学科では、そのような幅広い分野でデザインを生かしたリーダーシップをとれる、本当の意味での「デザインの専門家」を育成します。

### 1. カリキュラムの特徴

学科のカリキュラムは、「理論・思想」、「手法・技術」、「応用・統合」、「社会・コミュニケーション」の4つの柱で構成されています。

「理論・思想」の科目では、デザインを行う上で基礎となる考え方とともに、関連するさまざまな分野の知識を身につけます。

「手法・技術」の科目では、アイデアを発想する手法と、それを表現し伝えるために必要な技術を、演習課題を通して体得します。

「応用・統合」の科目である「デザイン計画および同実習」では、デザインの幅広い分野を体験し、実際に世の中の問題に対する具体的なデザイン提案を行います。この科目では、プロダクトデザイン、工芸、イラストレーション、グラフィックデザイン、映像、ウェブデザイン、アプリケーションデザインといった様々な分野を対象とする課題の中から、自分の興味や目的に合ったものを選んで学ぶことができます。

「社会・コミュニケーション」の科目では、自分の進路を考えると同時に、社会の一員となるための基礎的な考え方やスキルを身につけます。

### 2. キャリアガイダンス

1・2年次の「デザインセミナーⅠ」「デザインセミナーⅡ」「デザインセミナーⅢ」「デザインセミナーⅣ」では、企業・組織活動の実態に触れ、職業としてのデザインに対する意識を高めるとともに、グループワークの中で建設的な貢献ができるようなコミュニケーション能力を身につけます。3年次の「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」では、客観的な自己評価を行い、デザインの幅広い可能性をとらえながら、その中で自分の力を発揮できる具体的な進路を絞り込んでいきます。4年次の「デザイン起業論」では、起業や経営の基本的な知識を学び、社会が求める製品やサービスを考える力を身につけます。

### 3. 卒業研修について

「デザイン研修Ⅰ」「デザイン研修Ⅱ」は4年間の学びの総仕上げです。指導教員の研究室に所属し、個人または共同で特定のテーマに基づいた「作品」または「論文」をまとめます。この活動の中で、「目標設定→方法の検討→実行→結果の考察」という流れを主体的かつ論理的に行う方法を身につけます。また、研究成果を学内外で行う発表会、展示会で発表することで、研究・制作と社会とのつながりやその意義に対する理解を深めます。

なお、デザイン研修ⅠおよびⅡを履修するには、2年次から3年次に開講される必修科目、「デザイン計画および同実習A」「デザイン計画および同実習B」「デザイン計画および同実習C」を修得する必要があります。(P.245の進級条件を参照)

## 4. 履修のためのガイド

本学科では3年次から4年次に進級するための「進級条件」を設けています。制度上は3年次までは無条件で進級できることとなりますが、時間割が重複するため同時に受講できない科目があるので、少なくとも専門の必修科目については開講学年で確実に修得するようにしないと、3年次から4年次へ留年せずに進級することは事実上困難になります。また、3年次進級時点で次年度の4年次への進級不可が確定している(=CAP上限まで単位を修得しても進級条件の単位数に満たない)者は、「キャリアデザインⅠ、Ⅱ」の受講と進路支援行事への参加は認められないので注意してください。

学年ごとの目標単位数(選択科目は「目標単位数/開講単位数」を示します)

	教養教育科目		専門教育科目		各学年の 合計	1年次からの 累計
	必修	選択	必修	選択		
1年次	10	6 / 9	22	0 / 0	38 / 41	38 / 41
2年次	2	8 / 12	19	8 / 14	37 / 47	75 / 88
3年次	0	8 / 10	12	18 / 26	38 / 48	113 / 136
4年次	0	4 / 4	6	8 / 12	18 / 22	131 / 158
卒業までの 総合計	12	26 / 35	59	34 / 52	131 / 158	
	38 / 47		93 / 111			

## 5. 環境教育について

社会のためのデザインを考える際に、環境問題はひとつの大きなテーマとなります。本学科では、実習科目や研修で行う具体的なデザイン提案の課題の一部として、デザインによる環境問題への貢献について学びます。また、演習・実習科目ではさまざまな材料や道具を用いて作品の実制作をしますが、その作業の中で、省資源や省エネルギーなどについても実践的に学んでいきます。

## 6. 教職課程について

本学科では、高等学校の「工業」の教員免許状を取得するための科目を履修することができます。

## 7. 地域志向科目

本学科の開講科目の中で、地域社会におけるデザインのあり方を考えることを学習テーマとして含む以下の科目を、地域志向科目として指定しています。

- ・デザインセミナーⅠ～Ⅳ
- ・デザイン計画および同実習A～C
- ・デザインマーケティング論
- ・デザイン特別講義
- ・工芸学
- ・キャリアデザインⅠ、Ⅱ
- ・地域産業論

# 産業デザイン学科 専門教育科目の履修の流れ

## 産業デザイン学科 学習・教育目標

社会を快適にするためのアイデアを生み出し、それを暮らしの中で役立つ具体的なカタチにすることができる——幅広い分野でデザインを生かしたリーダーシップをとることができる人材を育成する。

必修科目

選択科目

科目群の学習・教育目標		1年次		2年次		3年次		4年次		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
理論・思想	①現代社会におけるデザインの意義・役割を理解する。 ②これからのデザインの課題を考える視点を身につける。 ③デザインに関連する分野の知識を幅広く習得する。	デザイン論Ⅰ	デザイン論Ⅱ	デザイン論Ⅲ	情報デザイン論	音と動きのデザイン	ディスプレイデザイン論	知的財産権	メディア論	
		デザイン史	色彩論	エディトリアルデザイン論	材料学・生産技術	広告論	ユーザーリサーチ論	デザイン起業論	サステイナブルデザイン論	
				インフォグラフィックス	インタラクティブデザイン論	美術史	デザインマーケティング論	工芸学		
					エルゴノミクス	インテリアデザイン	地域産業論	デザイン特別講義		
技術	①問題を解決するアイデアを効率よく発想するためのシステムティックな手法を身につける。 ②アイデアを具体的な形にし、的確に他者へ伝えるために必要なアナログ・デジタル技術を身につける。 ③より高度なデザイン技術を身につける。	アイデア基礎および同演習Ⅰ	アイデア基礎および同演習Ⅱ							
		表現技術および同演習Ⅰ	表現技術および同演習Ⅱ	表現技術および同演習Ⅲ						
				デッサンおよび同演習	モデリングおよび同演習	エキスパートデザイン計画および同実習A	エキスパートデザイン計画および同実習B			
応用・統合	①「調査→問題点抽出→コンセプト立案→アイデア展開→デザイン提案」といった、一連のデザインプロセスを体得する。 ②自分のアイデアやデザイン提案を他者に対し論理的にプレゼンテーションできるようにする。 ③グループワークの中で自他の提案の価値を客観的に評価し、さらに質を高めることができるようになる。					デザイン計画および同実習A	デザイン計画および同実習B	デザイン計画および同実習C	デザイン研修Ⅰ	デザイン研修Ⅱ
社会・コミュニケーション	①実際の企業・組織活動の実態に触れ、その中でデザインの役割を理解する。 ②グループワークの中で、よりよい成果に向けて建設的な貢献ができるようなコミュニケーション能力を身につける。 ③自分の進路を考え、社会の一員となるために必要な基本的考え方、スキルを身につける。	デザインセミナーⅠ	デザインセミナーⅡ	デザインセミナーⅢ	デザインセミナーⅣ	キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅡ			
その他		チャレンジアプロードプログラム								

# 教育課程表における進級・卒業条件

## 産業デザイン学科

◎4年次への進級条件

区 分	内 容	備 考
教養教育科目	30 単位以上 必修 10 単位を含むこと	
専門教育科目	69 単位以上 デザイン計画および同実習 A, デザイン計画および同実習 B, デザイン計画および同実習 C, を含む必修 49 単位以上を含むこと	
計	全体として 99 単位以上	

◎卒業に要する最低修得単位数

区 分	内 容	備 考
教養教育科目	36 単位以上 必修 12 単位を含むこと	
専門教育科目	88 単位以上 必修 59 単位を含むこと	
計	124 単位	

# 教育課程表と学士力対応表

## 産業デザイン学科 教養教育科目

本学の学生が身につけるべき学士力		
①	知識と理解力	文化性、人間性、社会性を備えた科学力と専門能力
②	論理的思考と分析スキル	現象や結果に基づいて展開、解析、方向性を導く能力
③	協調性と適応力	集団の一員として状況を正しく理解して主体的に取り組む能力
④	コミュニケーションスキル	自己表現と相互理解の能力
⑤	課題発見とその解決能力	総合的な能力を駆使して、新しい現象・課題を発見し、その理解・解決ができる能力
⑥	国際理解力と語学力	地球的課題、多様な文化、価値観の違いを理解し、国際的に通用するコミュニケーション能力

【教養教育】身につけるべき学士力		
①	コミュニケーション能力	言語の読解力、言語による自己表現と相互理解の能力
②	批判的思考力	現代世界の諸問題を考えるための基礎的な視点や知識
③	社会生活への適応力	精神的・身体的に健全であるための実践能力と知識
④	工学・建築学およびライフデザイン学を学ぶための基礎学力	数学、自然科学、経済学等の基礎知識

### ・単位数と学習時間（授業時間数及び自習時間数）

学習時間については学則第10条に以下の記載があります。（詳細は学生便覧P.211“単位制と授業時間について”参照）  
 第10条 教育課程表に示す各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果・授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。  
 ただし、個人指導による実技の授業については、別に定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学習の成果を評価して単位を与える。単位数はこれらに必要な学修等を考慮して定める。

※ 本学では、1講時90分の授業が半期15週行われます。単位数は、1講時（＝1コマ：90分）の授業時間を2時間相当の学習時間とみなし、予習・復習の自習時間もあわせた時間で設定しています。

したがって、【教育課程表】の“各期の毎週時間数”には1コマ＝“2”とするみなしの授業時間が記載されています。

1単位の授業科目は、45時間の学習を必要とする内容をもって構成します。

### 【単位数と授業時間数・(みなしの)自習時間数】

授業形態	単位数	週授業時間数	+	自習時間数	1回(週)当り学習時間
講義	2単位 (90時間)	1コマ/週 (計30時間)	+	60時間/15週	4 (時間)
演習・実習	1単位 (45時間)	1コマ/週 (計30時間)	+	15時間/15週	1 (時間)

シラバスにおける学習時間は以下のとおりです。

授業形態	単位数	週授業時間数	自習時間	1回(週)当り学習時間
講義	2単位 (90時間)	1コマ/週 (計30時間)	60時間	4 (時間)
演習・実習	1単位 (45時間)	1コマ/週 (計30時間)	15時間	1 (時間)
演習・実習	2単位 (90時間)	2コマ/週 (計60時間)	30時間	2 (時間)
演習・実習	3単位 (135時間)	3コマ/週 (計90時間)	45時間	3 (時間)
講義及び演習	3単位 (135時間)	2コマ/週 (計60時間)	75時間	5 (時間)



# 教育課程表

## 産業デザイン学科 教養教育科目

科目区分	授業科目名	単位		各期の毎週時間数								備考	授業形態				本学の学士力身に付けるべき能力						教養教育身に付けるべき能力							
				1年		2年		3年		4年			講義	演習	実験実習	卒業研修	①		②		③		④		①		②		③	
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④				
地域・文化・社会	1 表象文化論	2	2										○			○	○							○	○					
	2 現代社会論	2	2										○			○	○							○	○					
	3 現代メディア論	2			2								○			○	○	○						○	○					
	4 環境問題とエコロジー	2			2								○			○	○	○						○	○					
	5 市民と法	2				2							○			○			○					○	○	○				
	6 暮らしと心理学	2				2							○			○		○						○	○	○				
	7 科学思想史	2				2							○			○	○	○						○	○	○	○			
	8 東北文化史	2				2							○			○	○	○		○				○	○	○				
	9 市民と政治	2					2						○			○			○					○	○	○				
	10 産業社会と心理学	2					2						○			○		○	○					○	○	○				
	11 産業社会と倫理	2					2						○			○		○		○				○	○	○				
	12 情報社会の経済	2						2					○			○	○							○		○				
	13 日本国憲法	2						2					○			○			○					○	○	○				
	14 現代の哲学	2							2				○			○	○							○	○					
	15 コミュニティネットワーク論	2	2										○			○		○		○					○	○				
	16 ライフ・キャリアデザイン論Ⅰ	2			2								○				○	○	○					○		○				
	17 ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ	2				2							○				○	○	○					○		○				
	18 職業指導（工業）	2				2							○						○	○				○						
	19 数学的思考法	2	2										○			○	○			○						○				
	20 ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅰ	2		2									○			○			○					○		○				
	21 ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅱ	2		2									○			○			○					○		○				
	22 工業概論	2				2							○			○	○			○				○	○					
	23 フランスの文化と言葉	2	2										○						○		○			○						
	24 ドイツの文化と言葉	2	2										○						○		○			○						
	25 韓国の文化と言葉	2	2										○						○		○			○						
	26 中国の文化と言葉	2	2										○						○		○			○						
言葉と表現	27 スタディスキルⅠ	1	2										○			○		○					○		○					
	28 スタディスキルⅡ	1	2										○			○		○					○		○					
	29 プレゼンテーション	1		2									○			○	○	○	○				○	○	○					
	30 ビジネスマナー	1			2								○			○	○	○					○		○					
	31 英語ⅠA	1	2										○					○		○			○		○					
	32 英語ⅠB	1		2									○					○		○			○		○					
	33 英語ⅡA	1			2								○					○		○			○		○					
	34 英語ⅡB	1				2							○					○		○			○		○					
	35 英会話A	1	2										○					○		○			○		○					
	36 英会話B	1		2									○					○		○			○		○					
	37 資格英語A	1			2								○					○		○			○		○					
	38 資格英語B	1				2							○					○		○			○		○					
心と体の健康	39 健康・運動科学実習Ⅰ	1	2										○			○	○	○	○				○		○					
	40 健康・運動科学実習Ⅱ	1		2									○			○	○	○	○				○		○					
	41 スポーツ科学実習	1			2									○			○	○					○		○					
学際	42 特別課外活動Ⅰ	1	…	…	…	…	…	…	…	…	…																※1			
	43 特別課外活動Ⅱ	1	…	…	…	…	…	…	…	…	…																※1			
	44 特別課外活動Ⅲ	2	…	…	…	…	…	…	…	…	…																※1			
	45 特別課外活動Ⅳ	2	…	…	…	…	…	…	…	…	…																※1			
	46 他大学等教養科目群	4	…	…	…	…	…	…	…	…	…																※2			
小計（46科目）		12	65	18	18	14	12	14	4	2	0																			

※1 合わせて4単位までを進級および卒業に要する単位として算入できる。  
 ※2 他大学等教養科目群については、4単位までを進級および卒業に要する単位に算入する。

# 教育課程表と学士力対応表

## 産業デザイン学科 専門教育科目

本学の学生が身につけるべき学士力		
①	知識と理解力	文化性, 人間性, 社会性を備えた科学力と専門能力
②	論理的思考と分析スキル	現象や結果に基づいて展開, 解析, 方向性を導く能力
③	協調性と適応力	集団の一員として状況を正しく理解して主体的に取り組む能力
④	コミュニケーションスキル	自己表現と相互理解の能力
⑤	課題発見とその解決能力	総合的能力を駆使して, 新しい現象・課題を発見し, その理解・解決ができる能力
⑥	国際理解力と語学力	地球的課題, 多様な文化, 価値観の違いを理解し, 国際的に通用するコミュニケーション能力

【産業デザイン学科専門教育】身につけるべき学士力		
①	デザインの社会的意義を理解しそれを活用するための知識	
②	社会の問題を発見しモノやサービスによる解決策を生み出す発想力	
③	発想した概念を具体化するためのデザイン表現技術	
④	知識, 理論, 技術をもとにデザイン提案としてまとめ上げる統合力	

### ・単位数と学習時間（授業時間数及び自習時間数）

学習時間については学則第10条に以下の記載があります。（詳細は学生便覧P.211“単位制と授業時間について”参照）  
 第10条 教育課程表に示す各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果・授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。  
 ただし、個人指導による実技の授業については、別に定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学習の成果を評価して単位を与える。単位数はこれらに必要な学修等を考慮して定める。

※ 本学では、1講時90分の授業が半期15週行われます。単位数は、1講時（＝1コマ：90分）の授業時間を2時間相当の学習時間とみなし、予習・復習の自習時間もあわせた時間で設定しています。

したがって、【教育課程表】の“各期の毎週時間数”には1コマ＝“2”とするみなしの授業時間が記載されています。

1単位の授業科目は、45時間の学習を必要とする内容をもって構成します。

### 【単位数と授業時間数・(みなしの)自習時間数】

授業形態	単位数	週授業時間数	+	自習時間数	1回(週)当り学習時間
講義	2単位 (90時間)	1コマ/週 (計30時間)	+	60時間/15週	4 (時間)
演習・実習	1単位 (45時間)	1コマ/週 (計30時間)	+	15時間/15週	1 (時間)

シラバスにおける学習時間は以下のとおりです。

授業形態	単位数	週授業時間数	自習時間	1回(週)当り学習時間
講義	2単位 (90時間)	1コマ/週 (計30時間)	60時間	4 (時間)
演習・実習	1単位 (45時間)	1コマ/週 (計30時間)	15時間	1 (時間)
演習・実習	2単位 (90時間)	2コマ/週 (計60時間)	30時間	2 (時間)
演習・実習	3単位 (135時間)	3コマ/週 (計90時間)	45時間	3 (時間)
講義及び演習	3単位 (135時間)	2コマ/週 (計60時間)	75時間	5 (時間)

# 教育課程表

## 産業デザイン学科 専門教育科目

科目区分	授業科目名	単位		各期の毎週時間数								備考	授業形態				本学の学士力身に付けるべき能力						学科の学士力身に付けるべき能力							
				1年		2年		3年		4年			講義	演習	実験実習	卒業研修	①		②		③		④		①		②		③	
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④				
1	デザインセミナーⅠ	1		2									○			○	○	○	○	○		○	○							
2	デザイン論Ⅰ	2		2									○			○	○		○	○		○								
3	デザイン史	2		2									○			○	○		○	○		○								
4	アイデア基礎および同演習Ⅰ	3		4									○	○		○	○	○	○	○		○								
5	表現技術および同演習Ⅰ	3		4									○	○		○	○		○	○										
6	デザインセミナーⅡ	1			2								○			○	○	○	○	○		○	○							
7	デザイン論Ⅱ	2			2								○			○	○		○	○		○								
8	色彩論	2			2								○			○	○		○	○		○								
9	アイデア基礎および同演習Ⅱ	3			4								○	○		○	○	○	○	○		○								
10	表現技術および同演習Ⅱ	3			4								○	○		○	○		○	○										
11	デザインセミナーⅢ	1				2							○			○	○	○	○	○		○	○							
12	デザイン論Ⅲ	2				2							○			○	○		○	○		○								
13	エディトリアルデザイン論	2				2							○			○	○		○	○		○								
14	表現技術および同演習Ⅲ	4				6							○	○		○	○		○	○										
15	デザインセミナーⅣ	1					2						○			○	○	○	○	○		○	○							
16	情報デザイン論	2					2						○			○	○		○	○		○								
17	材料学・生産技術	2					2						○			○	○		○	○		○								
18	デザイン計画および同実習A	5						8					○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	キャリアデザインⅠ	1							2				○			○	○	○	○	○		○	○							
20	デザイン計画および同実習B	5								8			○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	キャリアデザインⅡ	1								2			○			○	○	○	○	○		○	○							
22	デザイン計画および同実習C	5									8		○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	デザイン研修Ⅰ	3										6				○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	デザイン研修Ⅱ	3											6			○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	インフォグラフィックス	2				2							○			○	○		○	○		○								
26	デッサンおよび同演習	3				4							○	○		○	○		○	○		○								
27	インタラクションデザイン論	2					2						○			○	○		○	○		○								
28	エルゴノミクス	2					2						○			○	○		○	○		○								
29	ユニバーサルデザイン	2					2						○			○	○		○	○		○								
30	モデリングおよび同演習	3					4						○	○		○	○		○	○		○								
31	音と動きのデザイン	2							2				○			○	○		○	○		○								
32	広告論	2							2				○			○	○		○	○		○								
33	美術史	2							2				○			○	○		○	○		○								
34	インテリアデザイン	2							2				○			○	○		○	○		○								
35	イラストレーション論	2							2				○			○	○		○	○		○								
36	エキスパートデザイン計画および同実習A	3								4			○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	地域産業論	2								2			○			○	○		○	○		○								
38	ユーザーリサーチ論	2								2			○			○	○		○	○		○								
39	デザインマーケティング論	2								2			○			○	○		○	○		○								
40	ディスプレイデザイン論	2								2			○			○	○		○	○		○								
41	ウェブデザイン論	2								2			○			○	○		○	○		○								
42	エキスパートデザイン計画および同実習B	3									4		○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	知的財産権	2									2		○			○	○		○	○		○								
44	デザイン起業論	2									2		○			○	○		○	○		○								
45	工芸学	2									2		○			○	○		○	○		○								
46	デザイン特別講義	2									2		○			○	○		○	○		○								
47	メディア論	2									2		○			○	○		○	○		○								
48	サステイナブルデザイン論	2									2		○			○	○		○	○		○								
49	デザイン特別課外活動Ⅰ	1		…	…	…	…	…	…	…	…					○	○		○	○		○								
50	デザイン特別課外活動Ⅱ	1		…	…	…	…	…	…	…	…					○	○		○	○		○								
51	デザイン特別課外活動Ⅲ	1		…	…	…	…	…	…	…	…					○	○		○	○		○								
52	デザイン特別課外活動Ⅳ	1		…	…	…	…	…	…	…	…					○	○		○	○		○								
53	デザイン特別課外活動Ⅴ	2		…	…	…	…	…	…	…	…					○	○		○	○		○								
54	デザイン特別課外活動Ⅵ	2		…	…	…	…	…	…	…	…					○	○		○	○		○								
55	チャレンジアブロードプログラム	4		…	…	…	…	…	…	…	…				○	○		○	○		○									
56	他学科開講科目群	8		…	…	…	…	…	…	…	…																			
57	他大学開講科目群	4		…	…	…	…	…	…	…	…																			
小計 (52科目)		59	76	14	14	18	24	24	24	14	10																			

◇科目ナンバリングについて

1. 科目ナンバリングの配列

1 列目	2 列目	3 段目	4 列目	5 列目	6 列目
学部区分	学科区分	分野	難易度+通し番号		
L	CD	SC	102		
LCD-SC-102					

※ライフデザイン学部産業デザイン学科「デザインセミナーⅡ」（2年次開講）の例

2. 科目ナンバリングの凡例

1 列目（学部区分）	
L	ライフデザイン学部

2 列目（学科・科目区分）	
CD	産業デザイン学科・専門教育科目
S	生活デザイン学科・専門教育科目
M	経営コミュニケーション学科・専門教育科目

3 段目（分野）		
TH	産業デザイン	理論・思想
TC		技術
AP		応用・統合
SC		社会・コミュニケーション
XX		その他
A	生活デザイン	地域・福祉系
B		くらし計画系
C		住まいデザイン系
D		演習・実習・研修系
E		設計・造形科目群
F		キャリア形成科目群
A	経営コミュニケーション	経営
B		会計
C		経済
D		ヒューマンコミュニケーション
E		メディアコミュニケーション
F		ビジネスコミュニケーション
G		ICT
H		社会情報
I		地域創生
J		セミナー・研修
K		チャレンジアブロードプログラム
X		その他

4・5・6 列目（難易度+通し番号）	
100 番台	入門レベル（大学1年次レベル）
200 番台	中級レベル（大学2年次レベル）
300 番台	上級レベル（大学3年次レベル）
400 番台	専門レベル（大学4年次レベル）
000 番台	その他（レベル分けができない科目、例：特別課外活動）

本学では、授業科目に適切な番号を付し分類する「科目ナンバリング」を導入しています。

学部・学科ごとに授業科目の難易度に基づく学習の段階や順序を整理していますので、履修科目を選択する際などに利用してください。

3. 各科目の科目ナンバリング

科目 No.	科目名	各期の毎週時間数							
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
LCD-SC-101	デザインセミナーⅠ	2							
LCD-TH-101	デザイン論Ⅰ	2							
LCD-TH-102	デザイン史	2							
LCD-TC-101	アイデア基礎および同演習Ⅰ	4							
LCD-TC-102	表現技術および同演習Ⅰ	4							
LCD-SC-102	デザインセミナーⅡ		2						
LCD-TH-103	デザイン論Ⅱ		2						
LCD-TH-104	色彩論		2						
LCD-TC-103	アイデア基礎および同演習Ⅱ		4						
LCD-TC-104	表現技術および同演習Ⅱ		4						
LCD-SC-201	デザインセミナーⅢ			2					
LCD-TH-201	デザイン論Ⅲ			2					
LCD-TH-202	エディトリアルデザイン論			2					
LCD-TC-201	表現技術および同演習Ⅲ			6					
LCD-SC-202	デザインセミナーⅣ				2				
LCD-TH-204	情報デザイン論				2				
LCD-TH-205	材料学・生産技術				2				
LCD-AP-201	デザイン計画および同実習A				8				
LCD-SC-301	キャリアデザインⅠ					2			
LCD-AP-301	デザイン計画および同実習B					8			
LCD-SC-302	キャリアデザインⅡ						2		
LCD-AP-302	デザイン計画および同実習C						8		
LCD-AP-401	デザイン研修Ⅰ							6	
LCD-AP-402	デザイン研修Ⅱ								6
LCD-TH-203	インフォグラフィックス			2					
LCD-TC-202	デッサンおよび同演習			4					
LCD-TH-206	インタラクティブデザイン論				2				
LCD-TH-207	エルゴノミクス				2				
LCD-TH-208	ユニバーサルデザイン				2				
LCD-TC-203	モデリングおよび同演習				4				
LCD-TH-301	音と動きのデザイン					2			
LCD-TH-302	広告論					2			
LCD-TH-303	美術史					2			
LCD-TH-304	インテリアデザイン					2			
LCD-TH-305	イラストレーション論					2			
LCD-TC-301	エキスパートデザイン計画および同実習A					4			
LCD-TH-306	地域産業論						2		
LCD-TH-307	ユーザーリサーチ論						2		
LCD-TH-308	デザインマーケティング論						2		
LCD-TH-309	ディスプレイデザイン論						2		
LCD-TH-309	ウェブデザイン論						2		
LCD-TC-302	エキスパートデザイン計画および同実習B						4		
LCD-TH-401	知的財産権							2	
LCD-TH-402	デザイン起業論							2	
LCD-TH-403	工芸学							2	
LCD-TH-404	デザイン特別講義							2	
LCD-TH-405	メディア論								2
LCD-TH-406	サステナブルデザイン論								2
LCD-XX-001	デザイン特別課外活動Ⅰ	…	…	…	…	…	…	…	…
LCD-XX-001	デザイン特別課外活動Ⅱ	…	…	…	…	…	…	…	…
LCD-XX-001	デザイン特別課外活動Ⅲ	…	…	…	…	…	…	…	…
LCD-XX-001	デザイン特別課外活動Ⅳ	…	…	…	…	…	…	…	…
LCD-XX-001	デザイン特別課外活動Ⅴ	…	…	…	…	…	…	…	…
LCD-XX-001	デザイン特別課外活動Ⅵ	…	…	…	…	…	…	…	…
LCD-XX-002	チャレンジアブロードプログラム	…	…	…	…	…	…	…	…
LCD-XX-003	他学科開講科目群	…	…	…	…	…	…	…	…
LCD-XX-004	他大学開講科目群	…	…	…	…	…	…	…	…

## 1 デザインセミナーⅠ LCD-SC-101

Introduction to Design Studies I

必修 1単位 1年前期

**授業の概要：**少人数のセミナーに分かれ、与えられたテーマに基づき、仙台および周辺エリアのデザインの実例を調査する。調査の結果わかったことを元にディスカッションを行い、考察したことをプレゼンテーションにまとめて発表する。

**授業の達成目標：**身のまわりの、特に地域に根差したデザインの実例に触れ、その意義を理解する。グループワークを通して、グループの一員として集団に貢献する基礎的な考え方やコミュニケーションスキルを身につける。

## 2 デザイン論Ⅰ LCD-TH-101

Theory of Design I

必修 2単位 1年前期

**授業の概要：**第1、2回はデザインの本質、本学科における学修内容について解説。第3回以降は各専門デザイン分野の概要について各教員がそれぞれ解説する。

**授業の達成目標：**産業デザイン分野の全体フレームと各専門分野の概略を理解する。

## 3 デザイン史 LCD-TH-102

History of Design

必修 2単位 1年前期

**授業の概要：**19世紀から現在に至るデザイン史の流れを、人物とムーブメントを軸に、概ね時系列順に紹介する。題材はヨーロッパのプロダクトデザインを中心に、時にアメリカや日本の、また空間デザインやグラフィックデザインまでを含む。各時代のデザインムーブメントを当時の社会背景と対比することと、それぞれの様式が今日のデザインに影響を与えている例を確認することで、現代あるいはこれからの社会に対して行うデザインに活用できる生きた知識としての歴史の習得を目指す。

**授業の達成目標：**デザインを行う上で最低限必要な教養としてのデザインの歴史を学ぶ。すなわち、歴史の延長である今現在においてデザインを行う際の指針となるような知識を、各時代のデザイン思想とその成果の中から見出し、学び取る。

## 4 アイデア基礎および同演習Ⅰ LCD-TC-101

Ideation and Exercises I

必修 3単位 1年前期

**授業の概要：**個人でのアイデア発想法と、ブレインストーミングの基本、グループでのアイデア発想法について学ぶ。絵でアイデアを伝えるブレインストーミングとアイデア展開の手法を習得する。授業では、幅広い分野でアイデア創出の実務経験のある外部講師を招きより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**個人でのアイデア発想法を理解し、実践できるようになること。グループでの発想法を理解し、ブレインストーミングを実践し、グループディスカッションができるようになること。絵によるアイデア発想ができるようになること。

## 5 表現技術および同演習Ⅰ LCD-TC-102

Expression Technique and Exercises I

必修 3単位 1年前期

**授業の概要：**各回ごとの演習課題を通してコンピュータを用いた作図表現や文字表現、写真加工の方法を学ぶ。最終的に簡単なフライヤーの表裏のレイアウトができる技術を習得する。

**授業の達成目標：**アイデアを実現する上で最低限必要となるコンピュータを用いた表現技術の基礎（考え方・アプリケーションの操作方法等）を習得する。

## 6 デザインセミナーⅡ LCD-SC-102

Introduction to Design Studies II

必修 1単位 1年後期

**授業の概要：**少人数のセミナーに分かれ、自ら設定したテーマに基づき、仙台および周辺エリアのデザインの実例を調査する。調査の結果わかったことを元にディスカッションを行い、考察したことをプレゼンテーションにまとめて発表する。

**授業の達成目標：**身のまわりの、特に地域に根差したデザインの実例に触れ、その意義に関する理解をさらに深める。グループワークを通して、グループの一員として集団に貢献する考え方やコミュニケーションスキルをさらに高める。



## 7 デザイン論Ⅱ LCD-TH-103

Theory of Design II

必修 2単位 1年後期

**授業の概要：**多様なデザイン分野の中から、グラフィックデザイン、サインデザイン、Web デザイン、インタラクティブデザインについて、どのような考え方や手法によって実際に行われているか、具体的な事例を織り交ぜながら解説する。

**授業の達成目標：**産業とデザイン分野との関係を理解し、現代産業におけるデザインの役割、意義を理解する。

## 8 色彩論 LCD-TH-104

Color Theory

必修 2単位 1年後期

**授業の概要：**テキストに沿って色彩の科学的な理論と表現を講義し、それらの基本的な能力を体系的に理解を深めていく。テキスト、パネル、スライド、色立体、配色カードなどを用いて色彩理論を視覚的に理解できるように学習する。授業では、色彩の活用、景観の調和への応用など実務経験のある外部講師を招きより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**カラーコーディネーター・色彩検定につながる色彩や配色の基礎を学ぶ。色彩検定は企業の商品開発、販売促進、CIなどの製造、流通、販売における各段階、公共空間のデザインや街づくり、都市計画の分野など、色彩の心理的効果等を重視した適切な色彩をコーディネートできる人材を育成することを目的としている。

## 9 アイデア基礎および同演習Ⅱ LCD-TC-103

Ideation and Exercises II

必修 3単位 1年後期

**授業の概要：**個人でのアイデア発想法と、ブレインストーミングの基本、グループでのアイデア発想法について学ぶ。絵でアイデアを伝えるブレインストーミングとアイデア展開の手法を習得する。授業では、幅広い分野でアイデア創出の実務経験のある外部講師を招きより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**個人でのアイデア発想法を理解し、実践できるようになること。グループでの発想法を理解し、ブレインストーミングを実践し、グループディスカッションができるようになること。絵によるアイデア発想ができるようになること。

## 10 表現技術および同演習Ⅱ LCD-TC-104

Expression Technique and Exercises II

必修 3単位 1年後期

**授業の概要：**立体物の表現技術（投影図法、透視図法、マーカースケッチ）および色彩表現のための理論（色相環、対比、配色、ハーモニーなど）を、具体的な作品制作を通して学ぶ。授業は1組、2組に分かれ、並列に開かれる「立体表現」「色彩表現」の双方の演習を1/2の期間（7回）ずつ全て受講する。

**授業の達成目標：**主にアナログ技術による基本的な描写・表現手法を活用し、単純な立体物の構想と表現ができるようになる。色彩に関する基本的理論を活用し、目的に合った色彩表現ができるようになる。

## 11 デザインセミナーⅢ LCD-SC-201

Introduction to Design Studies III

必修 1単位 2年前期

**授業の概要：**地域を拠点に様々な分野で活動するゲスト講師による講演を聴講する。ゼミごとの小グループでディスカッションを行い、講演から得られた情報のポイントを確認して各自がレポートにまとめる。

**授業の達成目標：**地域の企業・団体でのデザイン業務の実態を知り、各自の進路に対する考えを深める。幅広い業界・職種を進路対象として考えられるようになる。グループワークにおいて、グループの意見形成に貢献する力を身につける。

## 12 デザイン論Ⅲ LCD-TH-201

Theory of Design III

必修 2単位 2年前期

**授業の概要：**多様なデザイン分野の中から、UX デザイン、クラフトデザイン、プロダクトデザイン、ソーシャルデザイン、経営のデザイン、各産業分野におけるデザインの役割について、どのような考え方や手法によって実際に行われているか、具体的な事例を織り交ぜながら解説する。

**授業の達成目標：**産業とデザイン分野との関係を理解し、現代産業におけるデザインの役割、意義を理解する。

### 13 エディトリアルデザイン論 LCD-TH-202

Editorial Design

必修 2単位 2年前期

**授業の概要：**ページレイアウトを意味するエディトリアルデザインは、言葉と図や写真による情報を整理し、正しく、解りやすく伝える行為である。その基礎的な用語とルールを学ぶ。また、エディトリアルデザインの歴史を学ぶことで、今日のエディトリアルデザインを理解したい。授業は各回毎に若干の時間を利用し、各自で制作してもらった豆演習や、筆記の豆テストを行う。

**授業の達成目標：**エディトリアルデザイン（紙面構成）の基礎と歴史を学ぶ。そのことによって紙面の基本的な設計を習得し、また紙面表現における評価の指針となる知識を身につける。

### 14 表現技術および同演習Ⅲ LCD-TC-201

Expression Technique and Exercises Ⅲ

必修 4単位 2年前期

**授業の概要：**絵コンテ、撮影、編集といった、映像デザインに必要な考え方を学ぶことで、時間軸を意識した表現を行う基礎力を身につける。またその基礎を応用し、モーショングラフィックスや3DCGによる作品制作、プログラミングを用いた対話的な映像表現を実践的に学ぶ。最終的にはこうした表現をポートフォリオ用のコンテンツとしてまとめるまでの一連のデザインプロセスを習得する。

**授業の達成目標：**映像デザインの基本的概念の理解と、3Dコンピュータグラフィックスおよびプログラミング表現の習得する。

### 15 デザインセミナーⅣ LCD-SC-202

Introduction to Design Studies Ⅳ

必修 1単位 2年後期

**授業の概要：**仙台および周辺エリアを拠点とする企業を訪問し、デザイン業務の実態を見学する。その後ゼミごとのグループディスカッションを通して、得られた情報の分析・考察を行い、各自の進路に対する具体的方針をレポートにまとめる。eラーニングによるポートフォリオ作成講座を受講し、各自のポートフォリオを作成する。

**授業の達成目標：**地域の企業・団体でのデザイン業務の実態を理解し、卒業後の進路に対する具体的方針を定める。グループワークにおいて、より良い成果を達成するための力を身につける。進路を考える上でのポートフォリオの重要性を理解する。

### 16 情報デザイン論 LCD-TH-204

Theory of Information Design

必修 2単位 2年後期

**授業の概要：**「ものごと」を形にする「情報デザイン」が生まれた背景や歴史、最新の動向を学ぶ。また、情報デザインの核となる種々の分野に共通する“コミュニケーションと理解のカタチ”について学ぶ。さらに、情報デザインを形作る要素となる人々の活動と、関連するICT（情報伝達技術）との関係を学ぶ。

**授業の達成目標：**人々の活動と情報の関係を理解し、考慮すべき要素や枠組みを理解した上で適切に情報のデザインができるようになることを目標とする。

### 17 材料学・生産技術 LCD-TH-205

Material and Production Technology

必修 2単位 2年後期

**授業の概要：**工業製品の素材の物理的・感覚的特性と、それらの加工・成形技術について、プラスチック、金属、陶磁器、ガラス、木材といった材料の種類ごとに学ぶ。具体的な製品・部品の実例に触れ、生産現場の動画を見ることで生産技術の原理を学び、それぞれに適した製品の形態・構造はどのようなものかを理解する。また、関連トピックス（例：エコロジー）を通し、材料・生産技術という観点からデザインが社会に及ぼす影響についても考察する。

**授業の達成目標：**生活の中で使われる様々な工業製品の素材の特性について「使い方」と「作り方」の両面からの知識を習得する。また、各素材の加工・成形方法の原理を知ること、もの作りのプロセス全般とデザインの関係について理解する。

### 18 デザイン計画および同実習A LCD-AP-201

Design Planning and Practice A

必修 5単位 2年後期

**授業の概要：**アイデア基礎および同演習と、表現技術および同演習で習得した知識・技術をベースに、幅広い分野（グラフィックデザイン・イラストレーション・Webデザイン・アプリケーション・プロダクトデザイン・映像・工芸）から自分の適性にあった課題を選択し、実習形式で具体的なデザイン手法を習得する。また、東北地域を意識したデザインテーマに取り組むことで、地域の課題をデザインで解決する手法を考える。授業では、ウェブデザインの分野で実務経験のある外部講師を招きより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**デザインプロセスのおおまかな流れを理解し、アイデアを実現するための基本技術を活用できるようになる。

## 19 キャリアデザインⅠ LCD-SC-301

Career Design I

必修 1 単位 3 年前期

**授業の概要：**広い意味でのデザイナー・クリエイターとしての自己のキャリアの可能性を考える。過去の講義で学んだ自己の能力を整理し、実際のプロの仕事を知ること、自己の適性を正しく把握する。

**授業の達成目標：**デザイナー・クリエイターになるために必要なキャリアとは何かを理解し、自己の能力と適性を判断する。

## 20 デザイン計画および同実習B LCD-AP-301

Design Planning and Practice B

必修 5 単位 3 年前期

**授業の概要：**アイデア基礎および同演習と表現技術および同演習で習得した知識・技術をベースに、幅広い分野（グラフィックデザイン・イラストレーション・Web デザイン・アプリケーション・プロダクトデザイン・映像・工芸）から自分の適性にあった課題を選択し、実習形式で具体的なデザイン手法を習得する。また、東北地域を意識したデザインテーマに取り組むことで、地域の課題をデザインで解決する手法を考える。授業では、ワークショップのデザイン研究や映像概論と実制作、グラフィックデザイン業務、Web アプリデザインの分野で実務経験のある外部講師を招きより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**デザインプロセスのおおまかな流れを理解し、アイデアを実現するための基本技術を活用できるようになる。

## 21 キャリアデザインⅡ LCD-SC-302

Career Design II

必修 1 単位 3 年後期

**授業の概要：**自分の過去を振り返り未来のあるべき姿を予測し、さらに自分の適性などを考えて、具体的な目標を作っていく。考える参考として、実際に企業に入った場合や起業した場合などの実例を挙げ、これから自分で道を拓けるように、今後実行すべきことを理解する。

**授業の達成目標：**自分の能力を客観的に判断できるようにする。また、それを実際のプロの仕事にどのようにマッチングさせるかを習得する。

## 22 デザイン計画および同実習C LCD-AP-302

Design Planning and Practice C

必修 5 単位 3 年後期

**授業の概要：**アイデア基礎および同演習と表現技術および同演習で習得した知識・技術をベースに、幅広い分野（グラフィックデザイン・イラストレーション・Web デザイン・アプリケーション・プロダクトデザイン・映像・工芸）から自分の適性にあった課題を選択し、実習形式で具体的なデザイン手法を習得する。また、東北地域を意識したデザインテーマに取り組むことで、地域の課題をデザインで解決する手法を考える。授業では、設計開発とワークショップのデザイン研究で実務経験のある外部講師を招きより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**デザインプロセスのおおまかな流れを理解し、アイデアを実現するための基本技術を活用できるようになる。

## 23 デザイン研修Ⅰ LCD-AP-401

Undergraduate Design Study I

必修 3 単位 4 年前期

**授業の概要：**本科目は卒業研究であり、4年間の総仕上げでもある。具体的には、指導教員の研究室に所属し、個人もしくは共同で、特定のテーマに基づいた「論文」または「作品」を主体的にまとめて発表する行為を通じて、「目標設定→方法の検討→実行→結果の考察」という論理的方法を修得させる。

**授業の達成目標：**特定のテーマに基づいた「論文」または「作品」を主体的にまとめる作業を通じて、「目標設定→方法の検討→実行→結果の考察」という論理的方法を修得し、活用できるようになること。

## 24 デザイン研修Ⅱ LCD-AP-402

Undergraduate Design Study II

必修 3 単位 4 年後期

**授業の概要：**本科目は卒業研究であり、4年間の総仕上げでもある。具体的には、指導教員の研究室に所属し、個人もしくは共同で、特定のテーマに基づいた「論文」または「作品」を主体的にまとめる作業を通じて、「目標設定→方法の検討→実行→結果の考察」という論理的方法を修得させる。また、学内の発表会、学外の発表会を実施し、研究・制作と社会とのつながりを理解させる。

**授業の達成目標：**特定のテーマに基づいた「論文」または「作品」を主体的にまとめる作業を通じて、「目標設定→方法の検討→実行→結果の考察」という論理的方法を修得し、活用できるようになること。

## 25 インフォグラフィックス LCD-TH-203

Theory of Infographics

選択 2単位 2年前期

**授業の概要：**授業はワークショップスタイルで行う。伝えたいことをどのように工夫すると相手にうまく伝わるようになるのかを、表現する要素をひとつずつ確認しながらステップアップして技術を身につける。授業では、インフォグラフィックスの専門家て図やグラフ表現の分野で実務経験のある外部講師を招きより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**インフォグラフィックスとはインフォメーションとグラフィックスをかけあわせた造語で、すべてのデザイン領域に大きく関係する。図解やグラフ、地図、アイコンなど情報を形にしたものはすべてインフォグラフィックスである。言葉では伝わりにくいものでも、絵や図で説明すると簡単に理解できることが多く、コミュニケーションのための重要な手段になっている。伝えたいことをどのように工夫すると相手に適切に伝えることができるかを、表現することを通じて技術として身につける。

## 27 インタクションデザイン論 LCD-TH-206

Theory of Interaction Design

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**携帯電話・端末などを対象に、実際のインタクションの分析を行い、やり取りに存在するユーザーの行動の共通性や原理の見つけ方、システムの問題点の分析方法、デザインの改善方法についての技術を習得する。

**授業の達成目標：**ユーザーがシステム・ツールとどのようにやり取り（インタクション）を行なっているかを理解し、どこに課題があるかを分析し、改善をおこなうことができるようにすることを目標とする。また、このことを通じて、現代のデザイナーの役割の役割を理解できるようにする。

## 29 ユニバーサルデザイン LCD-TH-208

Universal Design

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**高齢者社会の生活空間では、生活に必要な道具とそれらを取り込んでいる外部空間や内部空間が存在しているが、高齢者や障がい者にとって決して使いやすい道具や空間のデザインが十分に備わっているとは言い難い。従って、これから益々弱者に相応しい道具や空間のデザインが要求される。講義では生活の中で使用している様々な道具とそれらを取り囲んでいる空間を紹介しつつ、ものの安全とユニバーサル型のデザインに相応しいかを解説する。真に安全で安心で豊かな社会形成のためのあるべき姿の基礎をここでは学ぶ。

授業では、実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**わが国は、もののデザインや品質、さらに安全性での評価の高いことで諸外国から受け入れている。そして高齢化社会を迎えている現代社会では、高齢者と福祉、障がい者と福祉の概念のもとに、安全性やユニバーサルデザインの手法が大きく関わっている。この授業では、ものの安全の考え方とユニバーサルデザインを理解できるようにすることを目標とする。

## 26 デッサンおよび同演習 LCD-TC-202

Drawing and Exercises

選択 3単位 2年前期

**授業の概要：**モチーフを見て描く行為（鉛筆デッサン・クロッキー）を通して観察力と表現力を鍛え、すべての造形の基礎となるデッサン力を身につける。授業では、立体の把握と表現の基礎の分野で実務経験のある外部講師により実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**立体物を観察し形を正確に把握して平面上に表現する技術を身につける。モチーフの質感の描き分け、正確な空間把握、表現する技術の向上を目標とする。

## 28 エルゴノミクス LCD-TH-207

Ergonomics

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**人間の適応能力や潜在能力など本来備えている諸機能とその特性、心理的、生理的視点からの測定方法、人間とモノや環境との関係、人間が起こすエラーなどについて解説する。人間とモノとの関係について十分に理解した上で、人間にふさわしいモノづくりについて学ぶ。適宜、簡単な演習を取り入れ理解を深める。

**授業の達成目標：**人間の諸機能とその特性を理解し、デザインワークができるようになること。単純に負担を少なくするだけではなく、人間本来の能力を維持し、高めることにも配慮したデザインができるようになること。

## 30 モデリングおよび同演習 LCD-TC-203

Modeling and Exercises

選択 3単位 2年後期

**授業の概要：**粘土による立体物の模刻を通して観察力と表現力を鍛え、すべての造形の基礎となる立体におけるデッサン力を身につける。授業では、立体の把握と表現の基礎の分野で実務経験のある外部講師により実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**立体物を観察し形を正確に把握して粘土で再表現する技術を身につける。立体物の構造の理解、正確な空間把握、表現する技術の向上を目標とする。



### 31 音と動きのデザイン LCD-TH-301

Design of Sound and Movement

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**「動きのデザイン」では、身の回りにある映画、テレビ、ネット等映像コンテンツをサンプルに、1) 時間軸を使って「わかりやすく」伝える術とそのしくみを学ぶ。2) 文章と映像のリンク等、映像表現の原理原則を身につける。3) 画像に音をつける映像演出の体験を情報デザイン力に結びつける。

「音のデザイン (SoundDesign)」では、「音」の本質を知ることにより、生活に役立つ音 (機能音) や表現手段 (効果音) としてコントロールすることが出来るようになる。また、ロック、ポップス、クラシック等の音楽に関して理解を深めることにより、クリエイターとしての教養を身につける。コラボレーションライブ演習では、グループで「動き」、「音」のデザインを総合的に演出、短編映像にライブで音をアフレコし、制作体験をしてもらう。授業では、音楽やコンテンツ制作の分野で実務経験のある外部講師を招きより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**人間が感じる「動き」や「音」の特性を理解し、そのデザインの方法を修得する。

### 33 美術史 LCD-TH-303

History of Art

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**各時代毎の社会や文化との関係から見た美術史を学習する。授業では、国内外の美術に関する豊富な知識経験を持つ外部講師を招きより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**デザインに活用できる知識として美術史を学ぶ。

### 35 イラストレーション論 LCD-TH-305

Theory of Illustration

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**出版や広告デザインの分野で重要な立ち位置を占めるイラストレーション。その成り立ちから表現技法、各メディアにおける特性の違いについて、実例を通して解説する。また、イラストレーターに求められる作家性、あるいは無名性についても解説する。

**授業の達成目標：**ビジュアルコミュニケーションの目的によって様々なスタイルがあるイラストレーションについて理解し、歴史的背景や時代感覚、求められる作家性の違いについて理解する。

### 32 広告論 LCD-TH-302

Theory of Advertisement

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**広告という行為をとりまく環境や広告・コミュニケーション手法の実情を知り、広告コミュニケーションを企画するうえで考えるべき要素を認識し、各手法・媒体の特性と表現方法を理解する。授業では、商業的・実践的なデザイン分野で実務経験のある外部講師を招きより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**広告コミュニケーションの目的と全体像、および各コミュニケーション手段 (媒体) の特性を把握して、作り手の視点、受けての視点で広告を理解できること。

### 34 インテリアデザイン LCD-TH-304

Interior Design

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**以下の5編で構成する。

1) 歴史：インテリアデザインとは何か？日本や世界の住まい・インテリア・家具・照明などの変遷過程を概説する。2) ヒトを知る (人体)：住まいやインテリアの各種要素の規模形態を導出するための人間工学の意味と人体寸法及び人の知覚について解説する。3) ヒトを知る (心理)：形・色・テクスチャーなどが人に及ぼす心理について解説する。4) 材料を知る：床・壁・天井・窓・テキスタイル・家具・照明・材料と仕上について解説する。5) 空間をつくる：インテリアの材料と構法、計画について解説する。特に木材・家具については木工房で実際のものを見ながらの授業とする。

**授業の達成目標：**インテリアデザインは、空間を室内側からとらえ、生活する人間の側に立って思考し造形する行為である。このため、人間の心理や行動といったソフト面から、人間的スケールでとらえた規模・形態・素材などのハード面まで、広範な知識を総動員する必要がある。当科目では、これを体系的に学び、基礎知識を身につけるとともに、室内空間計画の基礎的な技術を修得することをめざす。また、現代におけるビジネスの中でインテリアデザインがどのように位置づけられ、他のデザイン分野とどのように関わっているか、各空間でのトレンドは何かを知り、実社会でも役立つ知識を身につける。

### 36 エキスパートデザイン計画および同実習A LCD-TC-301

Expert Design Planning and Practice A

選択 3単位 3年前期

**授業の概要：**デザイン計画および同実習で習得した知識・技術をベースに、少人数のゼミ形式で、より高いレベルのデザイン課題に実践的に取り組み、高度なデザイン手法を習得する。また、東北地域を意識したデザインテーマに取り組むことで、地域の課題をデザインで解決する手法を考える。

**授業の達成目標：**デザインプロセスの流れを理解し、アイデアを実現するための応用技術を活用できるようになる。

## 37 地域産業論 LCD-TH-306

Regional Works and Industry

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**現代の地域社会では、地域内外の人々がくらしや生産の場面で協働しながら、豊かなコミュニティを形成することが求められており、とりわけ、少子高齢化・人口減少が課題となっている地域においては、周囲の自然環境までを含めた持続可能性が喫緊の課題となっている。本講義では、国内外における有形無形の地域資源の活用事例を紹介し、主に農山漁村のくらしの実像、その可能性と課題について、基礎知識を養う。事例は、主に仙台・宮城・東北の各地から求め、今後の地域資源活用方法についても考察を深めていく。

授業では、実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**地域風土にねざしたくらしと、これを支える生産の意味を理解するとともに、有形無形の地域資源を評価することができる。また、その資源を活用した実践的事例についての知識を深め、とくに仙台・宮城・東北における活用展開を構想することができる。

## 39 デザインマーケティング論 LCD-TH-308

Theory of Design Marketing

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**デザイン計画に役立つマーケティングの理論や方法論を、具体的な事例を通して学び、実際の企業のケーススタディを題材としたグループワークなどの演習を通して、実践的なデザインマーケティングの思考力を養う。授業では、企業のマーケティングの分野で実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**デザインとビジネスの関係をデザインの視点から理解し、ビジネスに不可欠なマーケティングという理論や手法をデザイン活動のなかで使いこなせることを目標とする。

## 41 ウェブデザイン論 LCD-TH-310

Theory of Web Design

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**ウェブ制作におけるプロジェクトの流れを学ぶ。ウェブサイトの企画・制作・運用のそれぞれのフェーズで、ウェブデザイナーが持つべき基礎知識の学習とウェブ構築におけるデザインやコーディングの技術を習得する。基礎知識の習得には、各種サイトの事例を紹介し、UIやUXの考え方を深く理解する。また、ウェブデザインに必要とされるマーケティングの基礎知識を身に付け、ウェブデザインに関連する知識を幅広く学習する。

**授業の達成目標：**授業の内容を理解し、Webデザイナー検定ベーシック（CG-ARTS協会主催）に相当する知識を習得することを目標とする。

## 38 ユーザーリサーチ論 LCD-TH-307

Theory of User Research

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**ユーザーの認知、行為、感情、生活実態を捉え、デザインの精度を高めるための技術を学ぶ。ユーザーとの関係の築き方、インタビューの仕方や質問紙の作り方、活動の記述と整理の方法、さらに、得られたデータからユーザーのニーズを理解・分析し、そこからアイデアを発想する方法などを、具体的な演習を体験しながら学ぶ。授業では、ユーザーの調査やそれに基づく改善の実務経験のある外部講師を招きより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**デザインにおけるユーザーリサーチの位置づけと背景となる理論、各種手法を理解し、自ら計画・実践できるようになること。また、ユーザーリサーチの結果を活かしてデザインの発想ができるようになること。

## 40 ディスプレイデザイン論 LCD-TH-309

Theory of Display Design

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**ディスプレイデザインの歴史や実例など様々な具体例を基に、デザイナーとして必要な知識・技能について解説する。授業では、ディスプレイデザイン業務に関する豊富な経験のある外部講師を招きより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**ディスプレイデザインの成り立ちや考え方、制作のプロセスを理解する。空間における作品展示の手法を理解する。

## 42 エキスパートデザイン計画および同実習B LCD-TC-302

Expert Design Planning and Practice B

選択 3単位 3年後期

**授業の概要：**デザイン計画および同実習で習得した知識・技術をベースに、少人数のゼミ形式で、より高いレベルのデザイン課題に実践的に取り組み、高度なデザイン手法を習得する。また、東北地域を意識したデザインテーマに取り組むことで、地域の課題をデザインで解決する手法を考える。

**授業の達成目標：**デザインプロセスの流れを理解し、アイデアを実現するための応用技術を活用できるようになる。



## 43 知的財産権 LCD-TH-401

Intellectual Property Right

選択 2単位 4年前期

**授業の概要：**本講義では、創作行為において留意すべき法的な権利関係について理解することを目的として、デザインの開発現場と知的財産権との関わり、および、知的財産法に属する分野のうち、特にデザインとの関係が深い法領域（著作権法および意匠法）を中心に、その基本的な内容について概説する。授業では、工業デザインの実務経験があり、知的財産、特に意匠権に関する知識を持つ外部講師を招きより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**①デザイン開発の現場における知的財産権の重要性を理解する。②知的財産法の全体像と各法の目的を理解する。③知的財産法に属する各法について、それぞれの保護となる創作物の違いと、付与される法的保護の違いを理解する。④創作行為を行うにあたり、法的な権利関係等について、どのような点に留意すべきかを理解する。

## 45 工芸学 LCD-TH-403

History and Theory of Industrial Arts

選択 2単位 4年前期

**授業の概要：**伝統工芸と、高度な機械化と合理化された現代のクラフトについて、その発生や地域、文化、各地の素材や生産技法を解説する。特に東北各地の工芸の魅力と「素材」「技」「意匠」の特徴について、歴史的背景を踏まえながら具体的な参考作品を紹介し解説する。授業では、工芸の魅力と「素材」「技術」「意匠」の分野で実務経験のある外部講師を招きより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**伝統文化として伝承した工芸技術と工芸作品を通して、生活文化や精神文化に根ざした人間と物との関わりを知り、豊かな感性を育ててほしい。机上の工芸論の理解にとどまらず、現代の我々が抱える工芸の課題、クラフトデザインについて考えてください。

## 47 メディア論 LCD-TH-405

Theory of Media

選択 2単位 4年後期

**授業の概要：**デジタル・メディアのデザインをする上で、デザイナーに必要な、メディアとの関わり方について学習する。授業の前半は文献を講読しながらすめ、後半は学生が担当するメディアについて、文献の内容を含めて発表する。マーシャル・マクルーハン著「メディア論」の「メディアはメッセージである」という主張を理解する。そして「メディア論」で取り上げられている写真、電話、蓄音機、映画、ラジオ、テレビといったメディアについて振り返る。そこから、インターネットやスマートフォンといったデジタル・メディアの可能性と課題についての考え方を養う。そして、情報デザインの視点から、メディアの身体性について考える。

**授業の達成目標：**①メディア研究の視点から、メディア論の基礎を理解する。②現代のメディア社会が抱える課題を捉える。③メディア社会での情報デザイナーとして必要な知識を身につける。

## 44 デザイン起業論 LCD-TH-402

Entrepreneurship in Design Business

選択 2単位 4年前期

**授業の概要：**①社会が求める製品やサービスを提供するには、メーカーやメディア制作企業に就職し仕事をするだけでなく、デザイナー自身が考えたアイデアを直接ビジネスに繋げていくための組織を立ち上げることも有効である。そのためには、単にアイデアを考え形に落とすだけでなく、必要な資源を確保し、チームの協力を通じて現実化していく努力が必要である。デザイン分野で起業するために身につけたい考え方、マネジメントの方法を紹介する。

②本科目では講師による一方向の講義は最低限にし、ケース（事例）を使ったディスカッションや、グループワークにより授業を進める。

**授業の達成目標：**①働き方の多様性にふれる

②デザインビジネスを概観する

③アイデア（発案）をキャッシュ（収益）に変換するプロセスを体験する

④簡単なビジネスプランを作ってみる

## 46 デザイン特別講義 LCD-TH-404

Special Lecture of Design

選択 2単位 4年前期

**授業の概要：**現代におけるデザインの対象分野は、企業活動を対象としたものから、地域やコミュニティを対象としたものまで、きわめて多岐で多様である。様々な分野で活躍している専門家を通じて、デザイン活動の現状を学ぶことにより、今後自分がデザインとどのようにかかわっていくかについて考えられるようになる。授業では、創造的な仕事の実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**現代における「デザイン」の急速な拡大を理解し、自らがデザインのパラダイムを拡大する態度を身につけられるようになる。

## 48 サステイナブルデザイン論 LCD-TH-406

Theory of Sustainable Design

選択 2単位 4年後期

**授業の概要：**社会とデザインの関係を理解し、SDGsの7つのゴール達成を目指すサステイナブルデザインの理論や方法論を、企業における具体的な経営活動や事業活動の事例を通して学ぶ。

**授業の達成目標：**サステイナブルデザインとは、地球環境、地域、個人まで様々なレベルで、自然と社会と人の関係が無理なく持続できることを目指したデザインである。サステイナブルデザインの価値を理解し、デザイン活動のなかで実践できることを目標とする。

## 49～54 デザイン特別課外活動 LCD-XX-001

Extracurricular Activities in Design

選択 1～2単位 1年前期～4年後期

本学科の専門に関連の深い資格の取得や検定等の合格、学科が指定する課外活動などに対して、本人の申請に基づいて学科で審査の上、専門選択科目の単位として合計4単位までを認める。申請した課外活動の内容により1単位あるいは2単位を認定する。単位認定を希望する者は、教務学生課又は長町キャンパス事務室に申し出て「デザイン特別課外活動単位認定申請書」を受け取り、必要事項を記入し、以下に示すその他の必要書類とともに教務学生課又は長町キャンパス事務室へ提出すること。申請の期限は毎学期末（7月末日、1月末日）とする。なお、同様の課外活動で、教養教育科目の「特別課外活動」の単位認定にも申請できるが、どちらに申請するかは本人が選択する。一つの活動で両科目の単位を取得することはできない。

### ◎資格取得、検定合格による単位認定

単位認定の対象となる資格、検定の例を下表に示す。これら以外の資格、検定については、申請に応じ学科で判断する。資格取得、検定合格による単位認定申請に必要な書類は以下の通りである。

- ・デザイン特別課外活動単位認定申請書：取得した資格または合格した検定の名称、および取得年月日を記入すること。
- ・資格の取得または検定の合格を証明する書類のコピー。

### ◎学科指定の課外活動による単位認定

学科が指定する課外活動は次のようなものである。

- (1) 各種デザインコンペでの受賞
- (2) 企業実習への参加
- (3) インターンシップへの参加
- (4) 学科内の研究室が単独または合同で実施する調査研究や各種ゼミへの参加
- (5) 自主的に行う国内・国外のデザイン見聞旅行の計画・実施など

学科が指定する課外活動による単位認定申請に必要な書類は以下の通りである。

- ・デザイン特別課外活動単位認定申請書：課外活動の名称、活動時期（年月日）、場所、活動内容の概要を記入すること。
- ・活動報告書：A4サイズ、1000文字程度。活動の動機、内容、成果（具体的な成果物の写真、身につけた知識や技能、精神的な成長など）を詳細に示すこと。
- (3) の場合は大学所定の「インターンシップ実習報告書」でよい。
- ・活動参加を証明する書類：(3) の場合は大学所定の「インターンシップ評価票」でよい。

### ◎単位の認定

単位認定および評価は、教養科目の「特別課外活動」の方法に準じて行うのでそれらを参照のこと。

資格取得または検定等の主な認定例

資格等名称	単位
色彩検定	2
CGクリエイター検定	2
CGエンジニア検定	2
マルチメディア検定	2
Photoshopクリエイター能力認定試験	2
ファッションビジネス能力検定	2
カラーコーディネーター検定	2
Webデザイナー検定	2
画像処理エンジニア検定	2
Illustratorクリエイター能力認定試験	2
マイクロソフトオフィススペシャリスト	2

※認定希望者は事前に教務学生課又は長町キャンパス事務室に問合せのこと。

## 56 他学科開講科目群 LCD-XX-003

Subjects offered by other departments

選択 8単位 1年後期～4年後期

他学科開講科目については、1セメスターに2単位まで受講可能とする。各科目のシラバスを参照のこと。

## 55 チャレンジアブロードプログラム LCD-XX-002

Challenge Abroad Program

選択 4単位 1年前期～4年後期

**授業の概要：**1. 事前研修—海外での生活、ホームステイ、英会話、プロジェクト・ワークについての事前指導と準備。

2. 海外研修—海外の語学学校での語学研修に参加し、英語レッスンに加えて、プロジェクトワークをする。帰国後は報告書の提出が必須。

**授業の達成目標：**1. 事前研修において海外で研修をするために必要な基本的知識とスキルを身につける。

2. 海外研修で異文化理解を深め、コミュニケーション能力の向上を図る。

## 57 他大学開講科目群 LCD-XX-004

Subjects offered by other universities

選択 4単位 1年後期～4年前期

詳細については学生便覧の「他大学開講科目群」、キャンパスライフの「学都仙台単位互換ネットワーク協定および国内外の大学等との単位互換に関する協定に基づく東北工業大学特別聴講学生取扱要項」を参照のこと。



# 《履修ガイダンス・教育課程表》

## 生活デザイン学科

人口減少、度重なる災害、グローバル社会のなかで、地域の人材・資源や歴史・文化を活かし、新たな時代を創出するためには、広い視野を育みながらも、身の回りの地域社会に立脚した安全安心な生活を再構築することが必要です。

生活デザイン学科では、東北地方を主な具体例として、地域特性や福祉住環境を学ぶとともに、産業社会の創出や自立・共助生活といった「くらしのしくみ」から、住宅・インテリア・ランドスケープといった「住まいのかたち」まで、多彩な分野を学生個々の志向にあわせて統合的に学び、地域の課題解決に寄与する優れた技術者・デザイナー・コーディネーターをめざします。

### 1. カリキュラムの特徴

本学科の専門教育科目は、地域特性や福祉住環境を学ぶ「地域・福祉系」の共通基盤科目群に設定するとともに、産業社会の創出や自立・共助生活といったくらしのしくみに関する領域－「くらし系（Social Planning：S系）」と、住宅・インテリア・ランドスケープといった住まいのかたちに関する領域－「住まい系（Housing Design：D系）」の2系を、それぞれ特色ある科目系統に設定しています。履修計画にあたっては、S系／D系の一方を選択しますが、それらは明確なコース制ではないため、他方の科目も総合的に履修することが可能となっています。

これらは、大きく次のような3ステップで履修するよう設定されています（1セメスター＝半期）。

ステップⅠ (計3セメスター) 1年次～2年前期	ステップⅡ (計2セメスター) 2年後期～3年前期	ステップⅢ (計3セメスター) 3年後期～4年次
関連領域全体をひろく学ぶ	専門内容を実践的に学ぶ	専門内容を深く探究する
講義科目では、地域、くらし、住まいの3系に属する専門基礎的内容をひろく学びます。 また演習科目では、調査研究や造形表現のための基礎的技術を学びます。	実習科目に主眼をおき、くらし／住まいのいずれかを選択し、実践的に学びます。 専門性の高い多様な講義に触れながら、それらを実践のもとで関連づけながら修得します。	課題の発見、手法の習得から、具体的な探究テーマの選択と実施まで、卒業研修を中心として深く探究します。 さらに、キャリア形成を見すえて専門知識を身につけます。

なお、専門科目のなかで「地域計画概論」（SD学科・1年前期）は、学科における共通ガイダンス的な専門基礎科目となっています。

### 2. キャリアガイダンス

科目名：「基礎セミナーⅠ，Ⅱ，Ⅲ」「キャリアセミナーⅠ，Ⅱ，Ⅲ」（1年前期～3年後期：必修）

少人数教育を基調に、大学生生活全般はもとより、就業意識の向上、社会人力の育成、就職活動を念頭においた試験対策や表現力の向上など、段階的にきめ細やかな指導・支援を行います。

- ・「基礎セミナーⅠ，Ⅱ」大学生生活の基礎、専門基礎力の充実化
- ・「基礎セミナーⅢ」コミュニケーション力、表現力の涵養。初歩的インターンへの参加。
- ・「キャリアセミナーⅠ，Ⅱ」各種業界研究や自己の適性把握、社会人力の涵養。インターンへの参加。
- ・「キャリアセミナーⅢ」就職活動実践力の強化、SD学科総合修得試験。

### 3. 卒業研修について

卒業研修は、大学教育における学びの総決算であり、3年次後期より3セメスターにわたって徐々に深めながら進めていきます。

- ・「研究・制作実習」（3年後期）：配属された研究室の指導に沿ってテーマを選び、研究や創作の手法を身につけます。その成果は1月頃の所定の時期にまとめ、「研究・制作実習報告会」にて報告します。
- ・「卒業研修Ⅰ」（4年前期）：選択した課題についての探究を深めていき、調査や分析、創作や表現を進展させます。進捗状況を「卒業研修Ⅱ報告会」にて報告します。
- ・「卒業研修Ⅱ」（4年後期）：これまでの研修内容を深めると同時に、学内外の他者へ成果を伝えることに主眼をおきます。このため、その到達度を12月の「予備審査」に審査し、合格者は翌1月頃の「卒業研修発表会」にて成果を報告します。さらに一定の評価を得たものは、2月頃に開催する学外発表会において報告・出展します。

なお、卒業研修ⅠからⅡに進む過程において、特段の理由がある場合には配属研究室を変更することができますが、テーマの探究や研究手法修得において別途補講が必要となります。

### 4. 履修のためのガイド

学年ごとの目標単位数

	教養教育科目		専門教育科目		各学年の合計	1年次からの累計
	必修	選択	必修	選択		
1年次	10	8	20	4	42	42
2年次	3	9	19	12	43	85
3年次	1	8	8	18	35	120
4年次	—	2	6	4	12	132
卒業までの総合計	14	27以上	53	38以上	132以上	
	41以上		91以上			

なお、2級建築士その他の受験をめざす学生は、指定された科目をバランスよく履修する必要があります。詳しくは、後述の「卒業後の取得資格」（317ページ）に記してあります。必ず確認してください。

不明な点があれば、学科教務委員に問い合わせてください。

### 5. 環境教育について

- ・「コミュニティネットワーク論」（LD学部共通・1年前期）・・・ISO説明会が含まれる見込みです。
- ・「住環境の基礎科学」（2年前期）、「住まいの環境工学」（2年後期）、「住まいの設備計画」（3年前期）および「地域環境の保全とエネルギー」（3年後期）では、エコロジカルデザイン、省エネルギー技術、サステイナブル住環境等の諸相について学びます。
- ・「生活学演習」（1年後期）や「くらしのデザイン実習Ⅰ、Ⅱ／住まいのデザイン実習Ⅰ、Ⅱ」（2年後期・3年前期）では、地域生活におけるエネルギーや環境問題について具体的に考察します。

### 6. 教職課程について

生活デザイン学科では、高等学校の「工業」教育教員免許状を取得するための科目を履修することができます。

## 7. 地域志向科目

本学科では、専門科目の多くにおいて地域志向の内容を有しています。また、教養科目においても地域と社会、自然と技術といった領域から地域の諸相に関わる科目を履修することができます。

なお教養科目のなかで「コミュニティネットワーク論」(LD学部共通・1年前期)は、ライフデザイン学部における関連の代表的科目であり、共通ガイダンス的な内容を兼ねています。





# 生活デザイン学科 専門科目の履修の流れ

## 生活デザイン学科 学習・教育目標

これからの地域社会をみすえ、コミュニティや社会制度・産業経済のあり方を再考・共創する地域計画学（Community and Social Planning：C系）を共通基盤とする。  
そのうえで、福祉や自立・共助生活など、くらしのしくみを整える「福祉まちづくり（Welfare Community Design）」系と、住宅・インテリア・Quality of Placeなどの「住環境デザイン（Living Environment Design）」系のいずれかに軸足をおき、学習・探究を深めていく。

必修科目

選択必修科目

選択科目

## 科目群の学習・教育目標

### 地域計画学

C: Community and Social Planning

これからの、とくに東北地方を見すえた地域計画の中心的なテーマとして、地域自治、共助、防災、景観・観光といった側面に関心をよせて基礎知識を身につけ、地域の成立と課題および解決手法について考える。

### 福祉まちづくり系

W: Welfare Community Design

地域資源を活かし、経済社会を活性化させる産業計画分野と、多様な生活者の心身に寄り添い自立を促す社会福祉・生活科学分野からなる。くらしの安全・安心を成り立たせる「しくみ」を理解し、次世代のためこれらを再構成する力を養う。

### 住環境デザイン系

L: Living Environment Design

インテリア・住宅・都市といった生活空間に関心をもち、地域住環境の改善や空間創出を図る住居デザイン学分野と、これらを成り立たせる建築工学分野からなる。地域に根ざした健やかで豊かな生活の場を創出するためのデザイン力、表現力を身につける。

### 演習・実習・研修科目群

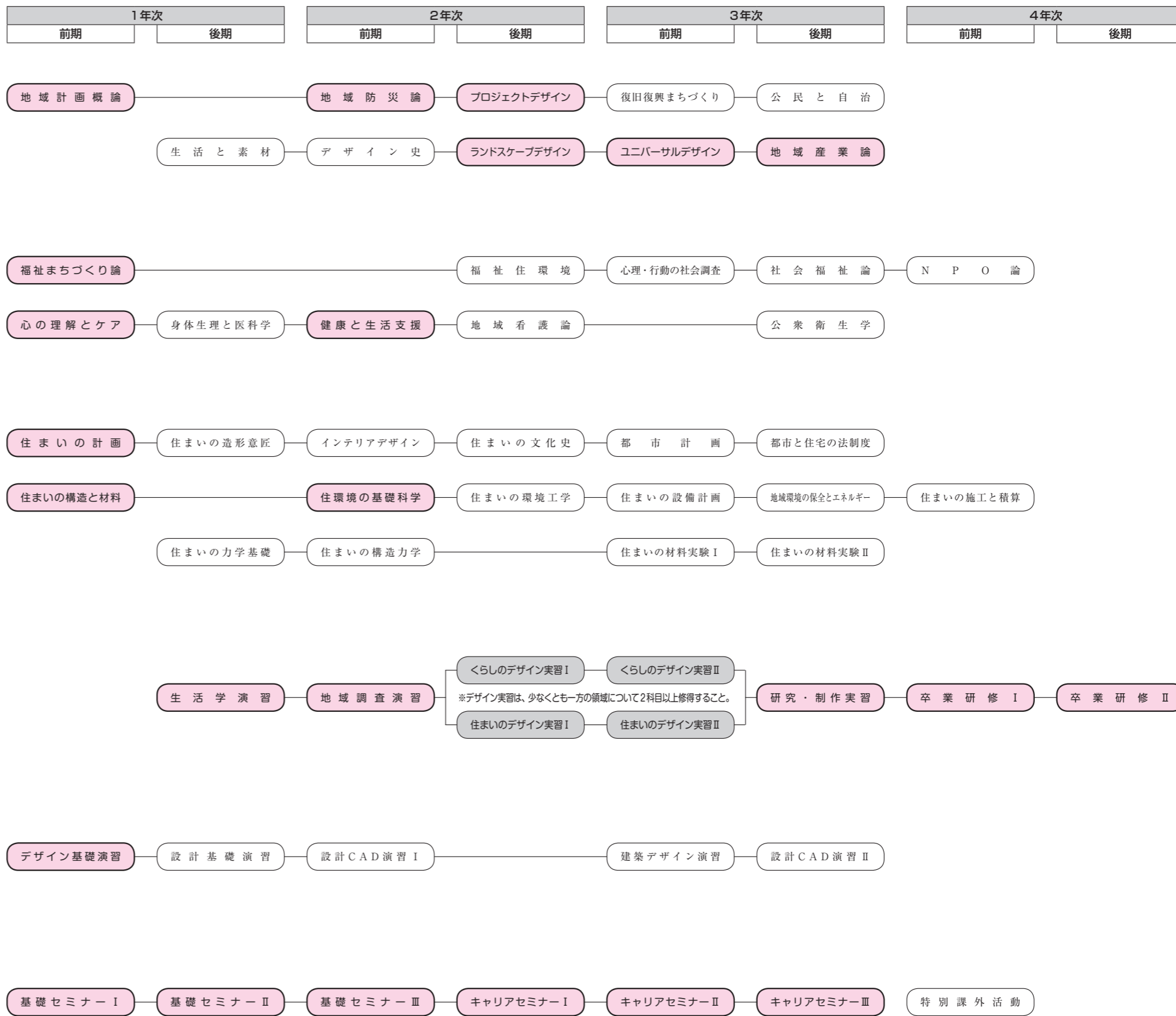
実践的な課題を通して、安全安心に資する生活作法、研究手法、表現手法を学び、具体的課題への実践的な状況改善デザインを探究する。

### 設計・造形科目群

住宅・中小規模地域施設等の建築環境設計に関する基礎的能力を涵養する。

### キャリア形成科目群

社会で求められる基本的な学力・知識・解決力を養うとともに、より具体的な職場を想定し、専門家の講話や就職支援事業等への積極的な参画等を通して、就業に対するモチベーションを高め、適応力を身につける。



# 教育課程表における進級・卒業条件

## 生活デザイン学科

### ◎4年次への進級条件

区 分	内 容	備 考
教養教育科目	28 単位以上 必修 12 単位を含むこと	
専門教育科目	72 単位以上 必修 37 単位を含むこと 選択科目のうち次の 2 系統から同一系統の 2 科目 6 単位を必ず修得すること（選択必修）。 (1) 暮らし系統：「暮らしのデザイン実習Ⅰ」, 「暮らしのデザイン実習Ⅱ」 (2) 住まい系統：「住まいのデザイン実習Ⅰ」, 「住まいのデザイン実習Ⅱ」	
計	全体として 100 単位以上	

### ◎卒業に要する最低修得単位数

区 分	内 容	備 考
教養教育科目	34 単位 必修 12 単位を含むこと	
専門教育科目	90 単位 必修 45 単位を含むこと 選択科目のうち次の 2 系統から同一系統の 2 科目・小計 6 単位を必ず修得すること（選択必修）。 (1) 暮らし系統：「暮らしのデザイン実習Ⅰ」, 「暮らしのデザイン実習Ⅱ」 (2) 住まい系統：「住まいのデザイン実習Ⅰ」, 「住まいのデザイン実習Ⅱ」	
計	124 単位	

# 教育課程表と学士力対応表

## 生活デザイン学科 教養教育科目

本学の学生が身につけるべき学士力		
①	知識と理解力	文化性, 人間性, 社会性を備えた科学力と専門能力
②	論理的思考と分析スキル	現象や結果に基づいて展開, 解析, 方向性を導く能力
③	協調性と適応力	集団の一員として状況を正しく理解して主体的に取り組む能力
④	コミュニケーションスキル	自己表現と相互理解の能力
⑤	課題発見とその解決能力	総合的能力を駆使して, 新しい現象・課題を発見し, その理解・解決ができる能力
⑥	国際理解力と語学力	地球的課題, 多様な文化, 価値観の違いを理解し, 国際的に通用するコミュニケーション能力

【教養教育】身につけるべき学士力		
①	コミュニケーション能力	言語の読解力, 言語による自己表現と相互理解の能力
②	批判的思考力	現代世界の諸問題を考えるための基礎的な視点や知識
③	社会生活への適応力	精神的・身体的に健全であるための実践能力と知識
④	工学・建築学およびライフデザイン学を学ぶための基礎学力	数学, 自然科学, 経済学等の基礎知識

### ・単位数と学習時間（授業時間数及び自習時間数）

学習時間については学則第10条に以下の記載があります。（詳細は学生便覧P.211“単位制と授業時間について”参照）  
 第10条 教育課程表に示す各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果・授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。  
 ただし、個人指導による実技の授業については、別に定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学習の成果を評価して単位を与える。単位数はこれらに必要な学修等を考慮して定める。

※ 本学では、1講時90分の授業が半期15週行われます。単位数は、1講時（＝1コマ：90分）の授業時間を2時間相当の学習時間とみなし、予習・復習の自習時間もあわせた時間で設定しています。

したがって、【教育課程表】の“各期の毎週時間数”には1コマ＝“2”とするみなしの授業時間が記載されています。

1単位の授業科目は、45時間の学習を必要とする内容をもって構成します。

### 【単位数と授業時間数・(みなしの)自習時間数】

授業形態	単位数	週授業時間数	+	自習時間数	1回(週)当り学習時間
講義	2単位 (90時間)	1コマ/週 (計30時間)	+	60時間/15週	4 (時間)
演習・実習	1単位 (45時間)	1コマ/週 (計30時間)	+	15時間/15週	1 (時間)

シラバスにおける学習時間は以下のとおりです。

授業形態	単位数	週授業時間数	自習時間	1回(週)当り学習時間
講義	2単位 (90時間)	1コマ/週 (計30時間)	60時間	4 (時間)
演習・実習	1単位 (45時間)	1コマ/週 (計30時間)	15時間	1 (時間)
演習・実習	2単位 (90時間)	2コマ/週 (計60時間)	30時間	2 (時間)
演習・実習	3単位 (135時間)	3コマ/週 (計90時間)	45時間	3 (時間)
講義及び演習	3単位 (135時間)	2コマ/週 (計60時間)	75時間	5 (時間)

# 教育課程表

## 生活デザイン学科 教養教育科目

科目区分	授業科目名		単位 必修 選択	各期の毎週時間数								備考	授業形態				本学の学士力身に付けるべき能力						教養教育身に付けるべき能力			
				1年		2年		3年		4年			講義	演習	実験実習	卒業研修	① ② ③ ④ ⑤ ⑥						① ② ③ ④			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④
地域・文化・社会	1	表象文化論	2	2								○			○	○						○	○			
	2	現代社会論	2	2								○			○	○							○	○		
	3	現代メディア論	2			2						○			○	○	○						○	○		
	4	環境問題とエコロジー	2			2						○			○	○	○						○	○		
	5	市民と法	2				2					○			○			○					○	○	○	
	6	暮らしと心理学	2				2					○			○		○						○	○	○	
	7	科学思想史	2				2					○			○	○	○						○	○	○	○
	8	東北文化史	2				2					○			○	○	○			○			○	○	○	
	9	市民と政治	2					2				○			○			○					○	○	○	
	10	産業社会と心理学	2					2				○			○		○	○					○	○	○	
	11	産業社会と倫理	2					2				○			○		○	○					○	○	○	
	12	情報社会の経済	2						2			○			○	○							○		○	
	13	日本国憲法	2						2			○			○			○					○	○	○	
	14	現代の哲学	2							2		○			○	○							○	○		
	15	コミュニティネットワーク論	2		2							○			○		○		○					○	○	
	16	ライフ・キャリアデザイン論Ⅰ	2			2						○				○	○	○					○		○	
	17	ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ	2				2					○				○	○	○					○		○	
	18	職業指導（工業）	2				2					○						○	○				○			
	19	数学的思考法	2	2								○			○	○			○						○	
	20	ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅰ	2		2							○			○			○					○		○	
	21	ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅱ	2			2						○			○			○					○		○	
	22	工業概論	2					2				○			○	○			○				○	○		
	23	フランスの文化と言葉	2		2							○						○		○			○			
	24	ドイツの文化と言葉	2		2							○						○		○			○			
	25	韓国の文化と言葉	2		2							○						○		○			○			
	26	中国の文化と言葉	2		2							○						○		○			○			
言葉と表現	27	スタディスキルⅠ	1		2							○			○		○					○		○		
	28	スタディスキルⅡ	1		2							○			○		○						○		○	
	29	プレゼンテーション	1			2						○			○	○	○	○					○	○	○	
	30	ビジネスマナー	1				2					○			○	○	○						○		○	
	31	英語ⅠA	1		2							○					○		○				○		○	
	32	英語ⅠB	1			2						○					○		○				○		○	
	33	英語ⅡA	1				2					○					○		○				○		○	
	34	英語ⅡB	1					2				○					○		○				○		○	
	35	英会話A		1	2							○					○		○				○		○	
	36	英会話B		1		2						○					○		○				○		○	
	37	資格英語A		1			2					○					○		○				○		○	
	38	資格英語B		1				2				○					○		○				○		○	
心と体の健康	39	健康・運動科学実習Ⅰ		1	2							○			○	○	○	○				○		○		
	40	健康・運動科学実習Ⅱ		1		2						○			○	○	○	○				○		○		
	41	スポーツ科学実習		1			2						○			○	○					○		○		
学際	42	特別課外活動Ⅰ		1	…	…	…	…	…	…																
	43	特別課外活動Ⅱ		1	…	…	…	…	…	…																
	44	特別課外活動Ⅲ		2	…	…	…	…	…	…																
	45	特別課外活動Ⅳ		2	…	…	…	…	…	…																
	46	他大学等教養科目群		4	…	…	…	…	…	…																
	小計（46科目）		12	65	18	18	14	12	14	4	2	0														

※1 合わせて4単位までを進級および卒業に要する単位として算入できる。  
 ※2 他大学等教養科目群については、4単位までを進級および卒業に要する単位に算入する。

# 教育課程表と学士力対応表

## 生活デザイン学科 専門教育科目

本学の学生が身につけるべき学士力		
①	知識と理解力	文化性、人間性、社会性を備えた科学力と専門能力
②	論理的思考と分析スキル	現象や結果に基づいて展開、解析、方向性を導く能力
③	協調性と適応力	集団の一員として状況を正しく理解して主体的に取り組む能力
④	コミュニケーションスキル	自己表現と相互理解の能力
⑤	課題発見とその解決能力	総合的能力を駆使して、新しい現象・課題を発見し、その理解・解決ができる能力
⑥	国際理解力と語学力	地球的課題、多様な文化、価値観の違いを理解し、国際的に通用するコミュニケーション能力

【生活デザイン学科専門教育】身につけるべき学士力		
①	地域生活の統合的理解力	地域生活の統合的理解力：地域生活－人、モノ、コト、場－に関する関心と幅広い基礎知識を統合的に把握する力。
②	地域生活の分析・課題発見力	地域生活の分析・課題発見力：地域生活のしくみや質的量的問題を科学的に分析し、現状の課題や可能性を見出す力。
③	住環境の観察力・改善提案力	住環境の観察力・改善提案力：住環境の構成と諸因子、造形的特徴を正確に把握し、説得力ある改善提案を表現する力。
④	目標達成への継続力・対話力国際理解力と語学力	目標達成への継続力・対話力：地域の課題解決のため明確な目標をもって継続的にとりくみ、関係者との対話を重ねる力。

### ・単位数と学習時間（授業時間数及び自習時間数）

学習時間については学則第10条に以下の記載があります。（詳細は学生便覧P.211“単位制と授業時間について”参照）  
 第10条 教育課程表に示す各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果・授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。  
 ただし、個人指導による実技の授業については、別に定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学習の成果を評価して単位を与える。単位数はこれらに必要な学修等を考慮して定める。

※ 本学では、1講時90分の授業が半期15週行われます。単位数は、1講時（＝1コマ：90分）の授業時間を2時間相当の学習時間とみなし、予習・復習の自習時間もあわせた時間で設定しています。

したがって、【教育課程表】の“各期の毎週時間数”には1コマ＝“2”とするみなしの授業時間が記載されています。

1単位の授業科目は、45時間の学習を必要とする内容をもって構成します。

### 【単位数と授業時間数・(みなしの)自習時間数】

授業形態	単位数	週授業時間数	+	自習時間数	1回(週)当り学習時間
講義	2単位 (90時間)	1コマ/週 (計30時間)	+	60時間/15週	4 (時間)
演習・実習	1単位 (45時間)	1コマ/週 (計30時間)	+	15時間/15週	1 (時間)

シラバスにおける学習時間は以下のとおりです。

授業形態	単位数	週授業時間数	自習時間	1回(週)当り学習時間
講義	2単位 (90時間)	1コマ/週 (計30時間)	60時間	4 (時間)
演習・実習	1単位 (45時間)	1コマ/週 (計30時間)	15時間	1 (時間)
演習・実習	2単位 (90時間)	2コマ/週 (計60時間)	30時間	2 (時間)
演習・実習	3単位 (135時間)	3コマ/週 (計90時間)	45時間	3 (時間)
講義及び演習	3単位 (135時間)	2コマ/週 (計60時間)	75時間	5 (時間)



# 教育課程表

## 生活デザイン学科 専門教育科目

科目区分	授業科目名	単位		各期の毎週時間数								備考	授業形態				本学の学士力身に付けるべき能力						学科の学士力身に付けるべき能力							
				1年		2年		3年		4年			講義	演習	実験実習	卒業研修	①		②		③		④		①		②		③	
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④				
1	地域計画概論	2		2									○			○	○						○							
2	地域防災論	2					2						○			○	○						○							
3	ランドスケープデザイン	2						2					○			○	○						○							
4	健康と生活支援	2					2						○			○	○						○							
5	福祉住環境		2						2				○			○	○						○							
6	ユニバーサルデザイン	2								2			○			○	○						○							
7	心の理解とケア	2			2								○			○	○						○							
8	地域産業論	2									2		○			○	○						○							
9	生活と素材		2		2								○			○	○						○							
10	福祉まちづくり論	2		2									○			○	○						○							
11	住まいの計画	2		2									○			○	○						○							
12	住まいの構造と材料	2		2									○			○	○						○							
13	住環境の基礎科学	2					2						○			○	○						○							
14	生活学演習	2			4								○			○	○						○				○			
15	地域調査演習	2				4							○			○	○						○				○			
16	デザイン基礎演習	2		4									○			○	○						○				○			
17	くらしのデザイン実習Ⅰ		3				6							○		○	○						○				○			
18	くらしのデザイン実習Ⅱ		3					6						○		○	○						○				○			
19	住まいのデザイン実習Ⅰ		3					6						○		○	○						○				○			
20	住まいのデザイン実習Ⅱ		3					6						○		○	○						○				○			
21	基礎セミナーⅠ	1		2									○			○	○						○				○			
22	基礎セミナーⅡ	1			2								○			○	○						○				○			
23	基礎セミナーⅢ	1				2							○			○	○						○				○			
24	キャリアセミナーⅠ	1					2						○			○	○						○				○			
25	キャリアセミナーⅡ	1						2					○			○	○						○				○			
26	キャリアセミナーⅢ	1							2				○			○	○						○				○			
27	研究・制作実習	3							6							○	○						○				○			
28	卒業研修Ⅰ	3								6						○	○						○				○			
29	卒業研修Ⅱ	3									6					○	○						○				○			
30	公民と自治		2						2							○	○						○				○			
31	社会福祉論		2						2				○			○	○						○				○			
32	デザイン史		2			2							○			○	○						○				○			
33	プロジェクトデザイン		2				2						○			○	○						○				○			
34	復旧復興まちづくり		2					2					○			○	○						○				○			
35	NPO論		2							2			○			○	○						○				○			
36	地域看護論		2				2						○			○	○						○				○			
37	心理・行動の社会調査		2					2					○			○	○						○				○			
38	身体生理と医科学		2		2								○			○	○						○				○			
39	公衆衛生学		2						2				○			○	○						○				○			
40	住まいの造形意匠		2		2								○			○	○						○				○			
41	インテリアデザイン		2			2							○			○	○						○				○			
42	住まいの文化史		2				2						○			○	○						○				○			
43	都市計画		2					2					○			○	○						○				○			
44	都市と住宅の法制度		2						2				○			○	○						○				○			
45	住まいの施工と積算		2							2			○			○	○						○				○			
46	住まいの環境工学		2				2						○			○	○						○				○			
47	住まいの設備計画		2					2					○			○	○						○				○			
48	地域環境の保全とエネルギー		2						2				○			○	○						○				○			
49	住まいの力学基礎		1		2								○			○	○						○				○			
50	住まいの構造力学		2				2						○			○	○						○				○			
51	住まいの材料実験Ⅰ		1						2				○			○	○						○				○			
52	住まいの材料実験Ⅱ		1							2			○			○	○						○				○			
53	設計基礎演習		2		4								○			○	○						○				○			
54	設計CAD演習Ⅰ		2				4						○			○	○						○				○			
55	設計CAD演習Ⅱ		2						4				○			○	○						○				○			
56	建築デザイン演習		2					4					○			○	○						○				○			
57	生活デザイン特別課外活動Ⅰ		1	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…						○				○			
58	生活デザイン特別課外活動Ⅱ		1	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…						○				○			
59	生活デザイン特別課外活動Ⅲ		2	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…						○				○			
60	生活デザイン特別課外活動Ⅳ		2	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…						○				○			
61	他学科開講科目群		6	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…						○				○			
62	他大学開講科目群		4	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…						○				○			
小計 (62科目)		45	81	16	18	22	26	30	26	10	6																			

※1 選択科目のうち次の2領域から同一領域の2科目6単位を必ず修得すること(選択必修)。

- (1) くらしのデザイン実習Ⅰ、Ⅱ
- (2) 住まいのデザイン実習Ⅰ、Ⅱ

◇科目ナンバリングについて

1. 科目ナンバリングの配列

1 列目	2 列目	3 列目	4 列目	5 列目	6 列目
学部区分	学科区分	分野	難易度+通し番号		
L	S	A	201		
LS-A-201					

※ライフデザイン学部生活デザイン学科「ランドスケープデザイン」（2年次開講）の例

2. 科目ナンバリングの凡例

1 列目（学部区分）	
L	ライフデザイン学部

2 列目（学科・科目区分）	
CD	産業デザイン学科・専門教育科目
S	生活デザイン学科・専門教育科目
M	経営コミュニケーション学科・専門教育科目

3 段目（分野）		
TH	産業デザイン	理論・思想
TC		技術
AP		応用・統合
SC		社会・コミュニケーション
XX		その他
A	生活デザイン	地域・福祉系
B		暮らし計画系
C		住まいデザイン系
D		演習・実習・研修系
E		設計・造形科目群
F		キャリア形成科目群
A	経営コミュニケーション	経営
B		会計
C		経済
D		ヒューマンコミュニケーション
E		メディアコミュニケーション
F		ビジネスコミュニケーション
G		ICT
H		社会情報
I		地域創生
J		セミナー・研修
K		チャレンジアブロードプログラム
X	その他	

4・5・6 列目（難易度+通し番号）	
100 番台	学科基礎レベル（入門レベル）
200 番台	学科初級専門レベル
300 番台	学科中級専門レベル
400 番台	学科応用レベル
000 番台	その他

本学では、授業科目に適切な番号を付し分類する「科目ナンバリング」を導入しています。

学部・学科ごとに授業科目の難易度に基づく学習の段階や順序を整理していますので、履修科目を選択する際などに利用してください。

3. 各科目の科目ナンバリング

科目 No.	科目名	各期の毎週時間数			
		1年	2年	3年	4年
		前期/後期	前期/後期	前期/後期	前期/後期
LS-A-101	地域計画概論	2			
LS-D-104	生活学演習		4		
LS-D-106	地域調査演習		4		
LS-D-401	くらしのデザイン実習Ⅰ			6	
LS-D-403	くらしのデザイン実習Ⅱ				6
LS-D-402	住まいのデザイン実習Ⅰ			6	
LS-D-404	住まいのデザイン実習Ⅱ				6
LS-D-405	研究・制作実習				6
LS-D-406	卒業研修Ⅰ				6
LS-D-407	卒業研修Ⅱ				6
LS-B-102	心の理解とケア	2			
LS-B-108	福祉まちづくり論	2			
LS-C-103	住まいの計画	2			
LS-C-111	住まいの構造と材料	2			
LS-E-105	デザイン基礎演習	4			
LS-B-301	身体生理と医科学		2		
LS-B-109	生活と素材		2		
LS-C-109	住まいの造形意匠		2		
LS-C-112	住まいの力学基礎		2		
LS-E-213	設計基礎演習		4		
LS-A-107	健康と生活支援		2		
LS-A-110	地域防災論		2		
LS-B-204	デザイン史		2		
LS-C-206	インテリアデザイン		2		
LS-C-207	住環境の基礎科学		2		
LS-C-208	住まいの構造力学		2		
LS-E-313	設計CAD演習Ⅰ		4		
LS-B-205	地域看護論			2	
LS-A-202	福祉住環境		2		
LS-B-302	プロジェクトデザイン		2		
LS-A-201	ランドスケープデザイン		2		
LS-C-209	住まいの文化史			2	
LS-C-302	住まいの環境工学			2	
LS-B-305	心理・行動の社会調査			2	
LS-B-303	復旧復興まちづくり			2	
LS-A-203	ユニバーサルデザイン			2	
LS-C-304	都市計画			2	
LS-C-305	住まいの設備計画			2	
LS-C-210	住まいの材料実験Ⅰ			2	
LS-E-408	建築デザイン演習			4	
LS-B-306	公衆衛生学				2
LS-A-307	社会福祉論				2
LS-A-308	公民と自治				2
LS-A-309	地域産業論				2
LS-C-310	都市と住宅の法制度				2
LS-C-409	地域環境の保全とエネルギー				2
LS-C-211	住まいの材料実験Ⅱ				2
LS-E-410	設計CAD演習Ⅱ				4
LS-A-311	NPO論				2
LS-C-312	住まいの施工と積算				2
LS-F-001	基礎セミナーⅠ	2			
LS-F-002	基礎セミナーⅡ		2		
LS-F-003	基礎セミナーⅢ			2	
LS-F-004	キャリアセミナーⅠ			2	
LS-F-005	キャリアセミナーⅡ				2
LS-F-006	キャリアセミナーⅢ				2
LS-F-007	特別課外活動Ⅰ	…	…	…	…
LS-F-008	特別課外活動Ⅱ	…	…	…	…
LS-F-009	特別課外活動Ⅲ	…	…	…	…
LS-F-010	特別課外活動Ⅳ	…	…	…	…
LS-F-011	他学科開講科目群	…	…	…	…
LS-F-012	他大学開講科目群	…	…	…	…

## 1 地域計画概論 LS-A-101

Introduction for Community Planning

必修 2単位 1年前期

**授業の概要：**生活デザイン学科の教育目標・体系を概説する。すなわち「地域計画学（通称：地域系）」「福祉まちづくり（通称：くらし系）」「住環境デザイン（通称：住まい系）」の3つの構成科目群と相互関係を考える。また、地域計画学における基盤的内容としてし、以降の同系統の科目群の導入となるキーワードをもとに、そこから広がる学術的関心を考察していく。あわせて、他の2系統の導入的内容にも触れ、それぞれの学術的関心や専門技術を紹介する。

**授業の達成目標：**本学科では「地域」について、都市と対置されるローカルな空間領域ではなく、豊かな人間生活をかたちづくる社会的・物理的基盤ととらえる。この観点にたち、当科目では「生活デザイン」の出発点かつ目標として「地域」を定義し、その計画論をとりまく基礎知識を涵養することを目標とする。具体的には、東北・宮城・仙台といった身近な事例を扱いながら、「地域／地域計画」の基本的要件を学ぶとともに、学科を構成する「福祉まちづくり」「住環境デザイン」の2系統からなる専門科目群に関する基礎用語について修得し、以降の履修に備える。個々人の将来の進路開拓について考え、そのための具体的な学習指針をたて、学習意欲を高めることも同等に重要な目標とする。

## 3 地域調査演習 LS-D-106

Basic Practice of Field Survey

必修 2単位 2年前期

**授業の概要：**調べるための手法と伝えるための手法を中心に取り扱う。具体的には「正しく読み取り、測ることができる」、「数値等を用いて客観的に表現することができる」「他者に正しく効果的に伝えることができる」ことなどに重点をおく。実践的調査ではグループワークもとり入れ、学んだ表現方法を用いてプレゼンテーションを行う。授業では、実務経験のある教員がより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**人々の生活や地域をより良くデザインするためには、モノや空間、行為や環境など様々な事象を客観的に捉えることが必要となる。基礎的な調査手法を習得するとともに、調査した結果などをわかりやすく効果的に他者に伝える基礎的な表現手法を習得する。この演習では、自宅周辺や大学周辺などの仙台市、宮城県、東北地方などを対象とする。

## 5 くらしのデザイン実習Ⅱ LS-D-403

Social Planning Practice II

選択 3単位 3年前期

**授業の概要：**目標に達するため、フィールドに実際に足を運び実践的に調査を行い、その結果を分析し、ポスターセッション等により結果を客観的に人に伝えるプレゼンテーションを行う。授業では、実務経験のある教員がより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**仙台・宮城・東北地方を対象に地域の暮らしに焦点を当て、ヒト、モノ、コト、場をキーワードに障害者、高齢者、バリアフリーなどの様々な視点から問題・課題を明らかにする知識、それに加え課題を解決するための知識を身につける。授業では、実務経験のある教員がより実践的な授業構成とする。

## 2 生活学演習 LS-D-104

Basic Practice of Life Science

必修 2単位 1年後期

**授業の概要：**豊かな生活の実現のためには、日常生活環境を適切に形づくる必要がある。本演習では、様々な生活場面において登場する各種の道具や設備を、それを形づくる素材と共に、豊かな生活環境づくりの基礎として捉える。演習は、2部構成となっている。道具編においては、道具やモノのデザインの仕方や素材との関係を理解し、道具やモノの作成の実習を通して、それらが人間の生活に与える影響やその効果を実践的に学ぶ。空間編においては、人の生活の日常的な行為の一つである「食」に着目し、食空間における動作寸法や基本の設備、拡張していくキッチンの役割について実践的に学ぶ。

**授業の達成目標：**身近な生活に関する道具や設備とその素材の背景や基礎的なデザインを学ぶとともに、実体験を通じてそれらを用いる方法を理解し、実際に作成する演習を通じて、道具づくりや環境づくりに関する基礎的な理解と技術を習得する。

## 4 くらしのデザイン実習Ⅰ LS-D-401

Social Planning Practice I

選択 3単位 2年後期

**授業の概要：**調査対象を自分や自分たちが生活する地域とし、学内や学外に出向き、実際に体験をしながら課題を発見し調査や提案を行う。自分の生活域である、宮城や仙台的地域の特徴を捉えたくらしをグループディスカッションやグループワークを通して考え、プレゼンテーションを行う。授業では、実務経験のある教員がより実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**生活者（使用者）の視点に立ったデザインを行うために、生活者の心身や生活環境に関する安全安心問題を正しく明らかに把握するための調査や分析の方法を学び、改善策を考へ提案することができる。

## 6 住まいのデザイン実習Ⅰ LS-D-402

Housing Design Practice I

選択 3単位 2年後期

**授業の概要：**我が国において木造住宅は建築物の主たる要素であり、昨今再び注目されている。本実習では、職・住、家族構成や、仙台・宮城・東北の地域性に立脚した特徴ある住宅設計課題を通して、住まいのデザインの魅力と本質的課題に触れ、これを一つの作品に統合し、プレゼンテーションを行う。

**授業の達成目標：**出題内容をもとに、職住のあり方、家族構成、地域性などに配慮した住まいを設計し、魅力的・論理的に表現伝えることができる。また、木造住宅の構法・部位・部材を理解し、設計製図をまとめることができる。各種図面に加えて模型製作などを通して表現技法を高め、魅力的なプレゼンテーション・ボードを仕上げることができる。

## 7 住まいのデザイン実習Ⅱ LS-D-404

Housing Design Practice II

選択 3単位 3年前期

**授業の概要：**全3部で構成する。まず、コミュニティや都市計画条件を考慮した地域住環境の設計を行い、人々が集い、くらす場のあり方を総合的に探求し、作品にまとめあげる（第1部・職住コミュニティハウジング）。次いで、喫緊の課題となっているエコロジカルな住宅建築のあり方を考え、環境性能と高齢者福祉に配慮した住環境設計を行う（第2部・シルバーエコハウジング）。最後に、両者のうち履修者の個性に合わせて代表作品を選び、これに工学的な内容と意匠的な内容を統合した魅力的な提案図書を作成し、プレゼンテーションを行う（第3部・住まいデザイン・ポートフォリオ）。授業では、実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**集住に関する基礎知識をもち、コミュニティや都市計画条件を考慮した住環境設計を行い、論理的に説明することができる。エコロジカルな住宅建築に関する基礎知識をもち、環境性能に配慮した住環境設計を行い、論理的に説明することができる。工学的な内容と意匠的な内容を統合し、魅力的な提案図書を作成し、説得力ある口頭プレゼンテーションを行うことができる。

## 9 卒業研修Ⅰ LS-D-406

Graduation Works and Thesis I

必修 3単位 4年前期

**授業の概要：**本科目は卒業研修の実践であり、4年間の学習の総仕上げである。具体的には、各教員の研究室に所属して、教員指導のもと、個人もしくは共同で、特定のテーマに基づいた研究または制作を行う。ここでは、研究テーマに関するガイダンスに始まり、テーマに関連する資料の収集、基礎理論の学習を通して研究テーマを決定し、研究方法または制作手段の検討、実験、調査、制作の計画立案、それらの準備と予備実験や予備調査の実施、中間報告書の作成とその口頭発表までを行う。

**授業の達成目標：**特定のテーマに基づいた「論文」または「作品」を主体的にまとめる作業を通じて、「目的設定→方法の検討とその実行→結果と考察」という論理的な研究方法を修得し、活用できるようになること。

## 11 心の理解とケア LS-B-102

Psychological Human Care

必修 2単位 1年前期

**授業の概要：**意識と無意識の世界について学び、神経症や心身症の原因や予防法を理解する。さらに様々な心理検査の実習を通して自己理解を深めていく。具体的には、ロールシャッハテストなどの性格診断テストを行いながら潜在意識についての理解を深め、心の病の原因と予防・治療法を学ぶ。いじめやニートなど、現代社会における心の病は、その原因を理解することによってはじめて解決可能となる。さまざまな心理検査の実習を通して自己理解を図り、心の安定と健康の基礎作りを学んでいく。

**授業の達成目標：**安全安心生活デザイン学科での教育目標と内容を具体的に理解し、学習の動機付けを高める。

## 8 研究・制作実習 LS-D-405

Practice of Works and Thesis

必修 3単位 3年後期

**授業の概要：**卒業研修に向けて必要な知識と技術を、研修を通して習得する。各教員の研究室に所属して、教員指導のもと、個人または共同で、特定のテーマに関する実習を行う。

**授業の達成目標：**指導教員のゼミに分かれ、教員が提示するテーマに取り組み、その専門的な手法を習得することを目的とする。

## 10 卒業研修Ⅱ LS-D-407

Graduation Works and Thesis II

必修 3単位 4年後期

**授業の概要：**本科目は卒業研修の実践であり、4年間の学習の総仕上げである。具体的には、各教員の研究室に所属して、教員指導のもと、個人もしくは共同で、特定のテーマに基づいた研究または制作を行う。ここでは、研修Ⅱで行った予備実験や予備調査または制作の中間報告結果に基づき、本実験や本調査または作品制作の計画立案からその実行までを行い、結果の分析を深めるとともに、追加実験、追加調査を経て、論文の構成や制作内容を検討し、卒業論文または卒業制作としてまとめる。さらに、内容梗概を作成して口頭発表やパネル展示発表などを行う。

**授業の達成目標：**特定のテーマに基づいた「論文」または「作品」を主体的にまとめる作業を通じて、「目的設定→方法の検討とその実行→結果と考察」という論理的な研究方法を修得し、活用できるようになること。

## 12 福祉まちづくり論 LS-B-108

Welfare Community Design

必修 2単位 1年前期

**授業の概要：**本講義は、2部構成となっている。前半では、都市計画・まちづくりに関わる基礎的な理論や方法を知るとともに成熟社会、人口減少時代のまちのあり方、そこでの人々の暮らしへの取り組み方法を考える。後半では、福祉の視点からのまちづくりを扱う。地域福祉に関する理論や施策内容を参照しつつ、地域コミュニティにおける福祉のニーズが増大し、多様化する中で、いかなる課題が表出しており、それらにどう取り組むべきかを実践例をもとに学んでいく。

**授業の達成目標：**・日本における都市計画からまちづくりへの動きを理解する

- ・現代日本社会におけるコミュニティの福祉的な課題を理解する
- ・地域福祉に関する基礎的な理論と方法を習得する



## 13 住まいの計画 LS-C-103

Housing Theory

必修 2単位 1年前期

**授業の概要：**1) 住まいづくりに関する基本的な知識とプロセスについての講義

2) 戸建て住宅のグリッドプランニング手法の解説と演習  
3) 現代日本および東北地方における住まいづくりの問題点とこれからの課題についての講義

当科目は、一級建築士として多くの建築設計実務に携わった教員が担当する。すなわち、プランニングから基本的性能まで、現実の住まいを計画するうえで必要な知見・技術を数多く含めながら、実践的・事例的に解説する。

**授業の達成目標：**住まいづくりに関する基本的な知識やプロセスを理解するとともに、戸建て住宅のプラン（空間計画）を読み解き、計画することができる。また、現代日本および東北地方における住まいづくりの問題点とこれからの課題について理解し、これをふまえた理想の家をプランニングすることができる。

## 15 デザイン基礎演習 LS-E-105

Basic Practice of Shape and Modelling

必修 2単位 1年前期

**授業の概要：**ものや空間を理解し、図面（三角法）やイラスト（アイソメトリックやパースペクティブ）を正しく測定し表現することが出来ること、また自分で創造し作成したイラストや図面に基づき、立体的に形を表現することが出来るようになる。

授業では、実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**実線・鎖線／太・中・細線と文字を描き分け、立体造形と図面の関係を製図できる。生活環境要素の形態的特徴（寸法・質量・形状・素材・色彩）と物理的特徴を捉え、定性的・定量的に記録し、スケッチ画に表わすことができる。上記の基礎的技術を修得したうえで、課題・テーマに沿った造形的創作表現とものづくりの基本を学ぶことができる。

## 17 生活と素材 LS-B-109

Products and Materials of Living Environment

選択 2単位 1年後期

**授業の概要：**仙台・宮城・東北地方を対象とした素材ごとに、物理的特性や感覚的特性をサンプル及び観察を通して知ってもらおう。またどのような生産プロセスで作られるかを知識と体験より習得し、デザイン知識の幅を広げる。さらにソーシャルデザインにおけるサステナブル（持続可能社会）の解説とその重要性にも触れる。

授業では、実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**生活の中で使われる様々な素材特性を知り「つかい方」と「つくり方」の両面からの知識を習得し、且つ、ものの上がるまでのプロセスを知りデザインの理解度を高める。

## 14 住まいの構造と材料 LS-C-111

Structure and Material for Residence

必修 2単位 1年前期

**授業の概要：**先ず伝統的な石の建築物と木の建築物などを構成する構造・工法、近代以降の鉄とコンクリートによる剛接合構造・工法について学ぶ。次に、現代の木造住宅における各部構法（地業・床組・軸組・小屋組、内装、外装）の基礎を学ぶ。そして、建築物を構成する建築構造と造作材（インテリア・エクステリア）を理解し、建築デザインの基本を学ぶ。

**授業の達成目標：**建築物の様々な構造・工法（柱・梁構造や組積構造、剛接合構造など）とその建築材料を理解すること。さらに、木造建物の各部構法（基礎、床組、軸組、小屋組）及び外部仕上げや内部仕上げ構法を学び、建築物が構築されるしくみを理解すること。

## 16 身体生理と医科学 LS-B-301

Outline of Physiology and Medical Science

選択 2単位 1年後期

**授業の概要：**超高齢化社会で見られる健康問題について学ぶとともに、運動がこれらの健康問題の予防や改善に貢献することを生理学・生化学的背景から概説する。また実際のエビデンスを基にした運動処方の効果についても学ぶ。

**授業の達成目標：**日本における健康問題を理解するとともに、エビデンスを基にした運動の効果について医学的な知識や理論の習得を目標とする。

## 18 住まいの造形意匠 LS-C-109

Residential Architectural Design

選択 2単位 1年後期

**授業の概要：**生活者や地域社会の視点にたつて空間構成やプランニングを学ぶ「住まいの計画（1年前期）」に続いて、生活を包み込むハードウェアとしての住宅建築の空間および造形意匠に関する基礎知識を概説する。住まいを観察し、その断面を理解し、部位・部材やデザインの特徴を多角的に論じる。さらに、住まいの概念を地域へと拡張し、戸外の環境、仙台・宮城・東北の特徴にも考察を広げる。

このため、住宅デザイン通史、作品研究、住まいの断面および造形意匠論と全4編で構成し、住まいを観察する広がりや深みを涵養したい。

**授業の達成目標：**国内外における住まいの造形意匠の多様な事例を知り、関心を深め、説明することができる。住まいの空間・場と構成部位における造形的特徴、全体と部分の関係について、その意味・目的を理解し、説明することができる。

## 19 住まいの力学基礎 LS-C-112

Basic Mechanics of Building Structure

選択 1 単位 1 年後期 (集中講義)

**授業の概要:**まず、基礎物理における力学の内容をふまえながら、力の合成・分解やつり合い、示力図、連力図、偶力、力のモーメントなどを理解する。次いで、建物の主要部材に働く外力・荷重と、力の釣合い、支点と支点反力、片持ち梁や単純梁の応力といった基本問題を解きながら理解する。授業においては、内容についての講義とともに、演習を積み重ね、理解度をチェックしながら進める。

**授業の達成目標:**住まいの安全を保つために必要な工学的知識技術の素養として、建築物に働く様々な外力・荷重と、これに対する反力・応力およびひずみ・変位といった力学的挙動を理解するために必要な力学の基礎的内容を修得する。その上で、住まいを含む建築の主要な構造モデルおよび構成部材に加わる外力・荷重と反力、内部に生じる応力の原則を理解し、梁の反力や応力に代表される構造力学問題の基礎を解くことができる。

## 21 健康と生活支援 LS-A-107

Human Health Care and Life Support

必修 2 単位 2 年前期

**授業の概要:**現代は、高齢者や病気を抱えた人の看護や介護に携わる人間や施設、システム、住環境などが著しく変化している。これからは、専門の医療・福祉施設に任せるだけではなく、職場や家庭・地域でも、看護や介護についての基礎的な知識を持った人が、それぞれの立場で適切に対応することが求められる。この講義では、それらの考え方と技術をグループワークや実習を通してわかりやすく実践的に学ぶ。

**授業の達成目標:**健康な方、疾患や障害をかかえる方に対して、心と身体の健康を維持するため、健康を取り戻すための安全で安心な生活を提供できるように、看護や介護について理解を深め、考えることができる。

## 23 デザイン史 LS-B-204

History of Design

選択 2 単位 2 年前期

**授業の概要:**19 世紀から現在に至るデザイン史の流れを人物とムーブメントを軸に、概ね時系列順に紹介する。題材はヨーロッパのプロダクトデザインを中心に、時にアメリカや日本の、また空間デザインやグラフィックデザインまでを含む。各時代のデザインムーブメントを当時の社会背景と対比することと、それぞれの様式が今日のデザインに影響を与えている例を確認することで、現代あるいはこれからの社会に対して行うデザインに活用できる生きた知識としての歴史の習得を目指す。

**授業の達成目標:**デザインを行う上で最低限必要な教養としてのデザインの歴史を学ぶ。すなわち歴史の延長である今現在においてデザインを行う際の指針となるような知識を各時代のデザイン思想とその成果の中から見出し学び取る。

## 20 設計基礎演習 LS-E-213

Basic Practice of Architectural Design

選択 2 単位 1 年後期

**授業の概要:**第 1 部では、住宅建築の設計製図の基礎技法を習得する。第 2 部では、住空間の自由設計に挑戦し、創意工夫を各自行う。第 3 部では、模型製作・パネル制作と講評会での口頭発表を通し、表現技法を高める。

**授業の達成目標:**国内外の住宅設計作品に関心を持ち、住空間の成立ち、構成要素を理解できる。住宅の製図表記法を理解・習得し、正確に図解することができる。魅力的な住空間を構想し、その特徴を捉えた立体模型を作成し、表現・伝達することができる。

## 22 地域防災論 LS-A-110

Studies of Local Disaster Mitigation

必修 2 単位 2 年前期

**授業の概要:**災害発生の原因、拡大の背景、応急対応のしくみなど災害発生から対応までについて東日本大震災における仙台など東北の事例、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震など主に過去の地震災害事例から解説する。またグループディスカッションなどを通して災害について自ら考えられるようにする。これらを通して災害の地域構造について理解を深めていく。

**授業の達成目標:**都市や農山漁村など地域の防災について学び、その知識をわが身の安全・安心や地域社会に活かせるようにすることをめざす。

## 24 インテリアデザイン LS-C-206

Interior Design

選択 2 単位 2 年前期

**授業の概要:**以下の 5 編で構成する。  
1) 歴史編: インテリアデザインの発生から近現代の日本/西洋の住まい・インテリアまで、その変遷過程を概説する。2) デザイン原論編: 美しく快適な環境をデザインするための造形原論の要点を概説する。3) 人間工学編: 住まいやインテリアの各種要素の規模形態を導出する人間工学と人体寸法、および安全性や空間の心理、形・色・テクスチャーについて解説する。4) エレメント編: 家具、テキスタイル、照明、材料と仕上について解説する。5) 材料構成編: インテリアの材料と構成について解説する。

**授業の達成目標:**インテリアデザインは、空間を室内側からとらえ、生活する人間の側に立って思考し造形する行為である。このため、人間の心理や行動といったソフト面から、人間的スケールでとらえた規模・形態・素材などのハード面まで、広範な知識を総動員する必要がある。当科目では、これを体系的に学び、基礎知識を身につけるとともに、室内空間計画の基礎的な技術を修得することをめざす。



## 25 住環境の基礎科学 LS-C-207

Basic Science of Building Environment

必修 2単位 2年前期

**授業の概要：**住まいは過酷な自然環境の中につくられる一種のシェルターと捉えることができ、生活空間に適切な物理的環境をデザインするための学問が「建築環境工学」である。本講では、住まいを取り巻く自然環境に対する理解を深めるとともに、自然環境の物理的環境要素である熱や空気をどのように利用または制御して快適で健康的な住まいの環境を作り出すのかを取り上げながら、建築環境工学の基礎となる事項を学ぶ。

**授業の達成目標：**建築環境工学の基礎として、住まいの環境に影響を及ぼす自然環境の特性、住まいの環境に関わる物理現象とその基本法則、快適な環境条件について理解する。また、暖かくて涼しい住まい、湿気のない住まいを実現するための手法、暖冷房と換気の計画の重要性、省エネルギー計画の必要性などを考察する。

## 27 設計CAD演習Ⅰ LS-E-313

Architectural Design and CAD Practice I

選択 2単位 2年前期

**授業の概要：**住宅レベルの建築図面の種類を学び、相互に整合する図面の重要性を演習形式で学ぶ。次にこれをCADに移し替え、その操作法を学び、製図していく。また、これらをコンテンツとしたレイアウト図面の作成法を学び、そのセンスを磨く。授業では、実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**住宅建築構法の基礎を理解し、配置・平面・断面・立面・展開の各図面や、屋根・開口・階段等が整合した設計図面をまとめることができること。

住宅設計図をCADで正確に描画し、図版レイアウトや色調、写真等に美的感性をもち、適切なアプリケーションツールを使用し、美しいプレゼンテーション・ボードを作成できること。

## 29 福祉住環境 LS-A-202

Welfare Housing Design

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**本講義では、生活環境を、住居や公共交通機関、公共施設などに代表される物理的環境のみならず、福祉制度や施策といった制度的環境、あるいは家族や介護者、専門家、当事者等、人的環境の視点からも捉え、障害者や高齢者の自立した生活が保障されるための生活環境整備・改善の支援について学習する。中間・最終回にグループワークを行う。

**授業の達成目標：**・ユニバーサルデザインの考え方を理解し、説明できる

- ・まちや建築物をユニバーサルデザインの視点から評価できる
- ・さまざまな障害の存在とそれに伴う住環境の問題点を理解する
- ・住環境の改善案を提示できる

## 26 住まいの構造力学 LS-C-208

Mechanics of Building Structure

選択 2単位 2年前期

**授業の概要：**まず、梁材やトラス、ラーメンといった構造力学モデルとその応力について、演習問題を解きながら学ぶ。的挙動について学ぶ。次いで、応力が生じている部材の断面に着目し、設計に必要な各種係数・数値等を学ぶ。さらに、外力に対する力学的挙動としてのたわみや座屈に触れ、構造設計の学びに必要な基礎知識・技術を修得していく。

**授業の達成目標：**前期「住まいの力学基礎」に続いて、住まいの安全を保つために必要な工学的知識技術を身につける。

その上で、多用な構造設計に対応でき、問題解決能力を持つ建築技術者の育成をめざし、安全で合理的な建築物をつくるのに必要な基礎的な知識と技術を習得する。

さらに、許容応力度等計算に関する知識と技術を習得させ、資格試験にも対応できる知識と能力を身につける。

## 28 地域看護論 LS-B-205

Regional Nursing and Community Support

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**多くの高齢者や療養者が、住み慣れた家庭や地域でできる限り過ごしたいと願っている。介護保健制度も在宅や地域での生活を重視した支援体制の確立を目指している。社会的背景を理解し、在宅や地域での高齢者や療養者の生活を支えるためには、病気や障害を持った方の方に注目するのではなく、一単位としての家族全体を援助の対象としたケアが求められる。この講義では、特に宮城や仙台の方策を事例に挙げ、それらの考え方と技術をわかりやすく話す。授業では、実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。総合病院で看護師の実務経験のある教員が、様々な疾病や障害のある個人や家族を支援した経験を活かし、健康寿命を延ばすための支援方法を建築や生活具のデザインにつなげられるよう教授する。

**授業の達成目標：**在宅での高齢者や療養者の生活をデザインするために、その社会的背景を理解し、治療や療養をする方とともに家族全体を援助の対象とした支援方法を理解する。

## 30 プロジェクトデザイン LS-B-302

Project Management

必修 2単位 2年後期

**授業の概要：**地域で実践されている各種プロジェクト事例を題材に、プロジェクトの計画、準備、実施、評価の各フェーズにおいて必要な手法や知識を身につける。さらに、プロジェクトを進めるうえで必要な、運営の仕組みや住民参加などのプロジェクト管理や関係者の参加のすすめかたについても学んでいく。また、計画や評価の段階で重要となる各指標の理解やデータ収集分析の方法についても適宜紹介していく。なお、とりあげるプロジェクトには東北や宮城で実施されるものを含む。

授業では、実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**プロジェクトのデザインとマネジメントについての基礎的な知識を身につける。プロジェクトの実施に伴う各種の評価手法について理解する。実践例を通して、実行的なプランニングの手法の理解を深める。

### 31 ランドスケープデザイン LS-A-201

Landscape Design

必修 2単位 2年後期

**授業の概要：**環境と生活の双方から空間造形のありようをみつけ、東北・宮城・仙台に焦点をあてながら事例的に学ぶ。全4部で構成し、第1部では水と緑の風景（環境）、第2部では地域資源と生業景（生活）、第3部では地域空間の再生、第4部では景観デザイン論といった諸課題を考え、最後にそれらの統合知についてまとめを行う。

各編においては、有形・無形の地域資源や構成要素を「見る」力を養うとともに、「創る」力の涵養にも資するよう、造園学・建築学などに関わる技術論を交えていく。

なお、必要に応じてゲストスピーカーを招くことがある。

**授業の達成目標：**公共空間などを設計するランドスケープデザインは、欧米では建築と同等に重要とされているが、我が国においては、その一部が林学や造園学等と結びつけられ、本来の統合的な学術として位置づけられて来なかった印象がある。

本学科では、これを「環境と生活の双方から統合的にアプローチする空間造形学術」と再定義する。すなわち、植生・水系・風土など「環境」がつくるランドスケープ、産業・文化をふくむ「生活」がつくるランドスケープの双方に視野を広げ、統合的に考えることが重要である。

こうした観点にたち、眼前の地域とその「景」を適切に読み解き、創出・育成・持続のためのデザインを構想することができるようになることを目標とする。

### 33 住まいの環境工学 LS-C-302

Engineering of Energy Saving House

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**住まいは過酷な自然環境の中につくられる一種のシェルターと捉えることができ、生活空間に適切な物理的環境をデザインするための学問が「建築環境工学」である。本講では、自然環境の物理的環境要素である空気、音、光をどのように利用または制御して快適で健康的な住まいの環境を作り出すのかを取り上げる。

**授業の達成目標：**音、光、色彩の物理量としての表し方とその意味、それらの物理量と人間の感覚量との関係、音環境と光環境のデザインに必要な計算方法（残響計算、照明計算など）について理解する。また、空気のきれいな住まい、静かな住まい、明るい住まいを実現するための手法、住まいの色彩計画などを考察する。

### 35 復旧復興まちづくり LS-B-303

Disaster Recovey and Reconstruction

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**災害からの復旧、復興過程について何が起きるのか、どのようなことに考慮する必要があるのかまちづくりの視点から理解する。近年発生した災害からの復旧、復興に関わるまちづくりの事例についていくつか取り上げられることを予定している。特に東日本大震災については、集落移転など現在課題となっている事象を取り上げ、宮城県内で学ぶ大学生として知識を高めるとともに、被災地で自ら貢献できることを考えていく。

**授業の達成目標：**災害からの復旧、復興過程で発生すること、留意すべきことを理解し、復旧活動や復興活動に寄与できる知識を得て、災害発生時に地域のまちづくりにおいて実践できる意欲や行動力を身につけることを目標とする。

### 32 住まいの文化史 LS-C-209

History and Culture of Dwelling Houses

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**日本における住まいを中心に、その生活様式や空間に対する感性の変遷を、古代から現代までについて概説する。更に、西欧の住まいとの比較も行う。

これらを通して、住まいにおける、より質の高いアメニティーの在り方を考える。具体的には、まず、古代から近代そして現代までの居住空間がどのように変容してきたのかを学び、現代の住まいの在り様を考える。更に、空間概念の変遷を、①主体と客体の空間構成の変化、②ハレとケの分節と「しつらい」による場の転換、③上位・下位、表・奥などの空間序列や空間概念、④モダニズム以後の空間概念、などを中心にして考える。さらに、江戸時代の多様な住まいの展開の事例として、東北地方と宮城県や仙台市近郊の住宅遺構について学ぶ。

**授業の達成目標：**居住空間を中心とした空間造形及び空間概念の変容について、そのバックグラウンドとともに理解できること。居住空間に関わる諸現象・諸概念を基礎的専門用語を用いて記述できること。

### 34 心理・行動と社会調査 LS-B-305

Social Research with Psychology and Behavioristics

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**知情意の発達過程を概説し、とくに思考力の発達を実習を通して理解を深める。また心の発達については幼児期から青年期まで発達課題の観点から解説する。個人の発達の観点から心理学を学ぶとともに集団の心理（社会心理学）の知見を解説する。最後に社会に潜在している問題を調査より明らかにし、社会心理学を用いたアプローチよりその問題の解決策を探り、より安全で安心で快適な生活を営める社会のあり方を追求します。

**授業の達成目標：**思考力の学習について具体的方法の理解と実習を通して身につけること。社会心理学の知識を学ぶこと。また社会問題の解決に対する調査方法と社会心理学の知見の適用・応用方法を身につけること。社会問題の捉え方を学ぶ。

### 36 ユニバーサルデザイン LS-A-203

Universal Design

必修 2単位 3年前期

**授業の概要：**高齢者社会の生活空間では、生活に必要な道具とそれらを取り込んでいる外部空間や内部空間が存在しているが、高齢者や障がい者にとって決して使いやすい道具や空間のデザインが十分に備わっているとは言い難い。従って、これから益々弱者に相応しい道具や空間のデザインが要求される。講義では生活の中で使用している様々な道具とそれらを取り囲んでいる空間を紹介しつつ、ものの安全とユニバーサル型のデザインに相応しいかを解説する。真に安全で安心で豊かな社会形成のためのあるべき姿の基礎をここでは学ぶ。

授業では、実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**わが国は、もののデザインや品質、さらに安全性での評価の高いことで諸外国から受け入れている。そして高齢化社会を迎えている現代社会では、高齢者と福祉、障がい者と福祉の概念のもとに、安全性やユニバーサルデザインの手法が大きく関わっている。この授業では、ものの安全の考え方とユニバーサルデザインを理解できることを目標とする。

## 37 都市計画 LS-C-304

City and Regional Planning

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**序論2回、各論10回、都市計画へのアプローチ（方法論）2回及び総集編で構成する。2回の序論では都市計画の基礎概念、歴史的経緯、代表的思潮を学び、都市計画学の全体像を把握することを目的とする。続く各論では、都市計画を構成する各分野について基礎的内容を学び、これらが身近な街の有り様いかにどのように影響を与えているか、そして直面している現代的課題について考察を深める。都市計画へのアプローチ（方法論）では、個別分野に通底する都市計画の実践として参加と協働のまちづくりの進め方、そして近年の特徴的な動きである「点」のデザインとマネジメントから都市を変えていこうという試みについて触れる。

**授業の達成目標：**人々の暮らしを包み込む様々な地域と、より高密度に集合・連動する都市。都市の複雑な事象を把握するには、世界から日本まで、その風土・産業・制度、まちづくり、コミュニティ論に至る広範な知識を必要とする。本講義では、現代の都市計画とその制度を概説しつつ、身近な地方都市・仙台のまちづくり事例を採りあげ、そのかたちとしくみを説明できるようになることを目標とする。

## 39 住まいの材料実験 I LS-C-210

Experiments in Building Materials I

選択 1単位 3年前期

**授業の概要：**コンクリート、鋼材を対象として、これらに求められている「構造安全性に係わる性質」について、所定の材料試験を実際に行いながら、経験的に学んでゆく。また、実験で得られたデータをもとにして、外力に対する性状を把握するための様々な項目について、計算演習を行いながら、実践的に学ぶ。

**授業の達成目標：**建築物の構造材料として用いられるコンクリート・鋼材の基本的な性質を経験的に理解する。また、各材料の試験方法及びデータのまとめ方を習得する。

## 41 公衆衛生学 LS-B-306

Public Health

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**少子・高齢化の進む我が国では、健康をキーワードとした社会のしくみや安全に生活するための環境について、いままで以上に重要視する状況となっている。このような社会情勢の中、人口構造や疾病構造の変化や社会経済システムの変化に伴い、保健医療の内容も生命倫理から健康づくりの方策まで幅広く理解していく必要がある。本講義では、健康の維持と増進を求めて展開される様々な計画や活動の基本となるものの見方や考え方、具体的な方法を基盤として、個々の状況や問題を理解していくための知識を習得する。そのための法律、基準値などその時々々の社会状況により変化する可能性の高い情報や統計数値を外観しながら学習を進めていく。

**授業の達成目標：**健康と社会、環境を相互に関連させながら理解できるようになる。具体的には、衣食住、労働環境、家庭、学校、職場、地域、地球全体までの広範囲な「環境」と保健、医療、福祉の「制度とサービス」が相互に関連して成り立っている社会システムが、「健康」とどのような枠組みや組織の中でつながっているのかを理解し、様々な状況変化に対応した評価方法や健康支援が必要な対象者への情報伝達の方法について考えられる基礎的能力を養う。

## 38 住まいの設備計画 LS-C-305

House Equipment Design

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**「住環境の基礎科学」「住まいの環境工学」で学んだ生活空間の環境デザインと関連づけながら、快適で健康的な住まいの環境を作り出すために必要な空気調和設備、日々の生活に必要な不可欠な給排水衛生設備、電気設備について基礎事項を学び、設備の省エネルギー計画の必要性に対する理解を深める。授業では、実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備の仕組み、設備の省エネルギー計画の必要性を理解し、住まいの設計を行う際に各設備の位置づけを考察できるようになる。

## 40 建築デザイン演習 LS-E-408

Practice of Architectural Design

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**人間にとって欠くことのできない空間として居住空間がある。本演習では単体の居住空間（住宅など）や集合的な居住空間（寮施設や集合住宅など）を課題とし、住まいの空間構成、複数の住まいが集合する際の集合原理やその空間構成について実践的に学ぶ。演習を通して基本的な設計プロセスを学ぶ。課題分析から、資料収集、構想の具体化、設計図作成、プレゼンテーションまでの一連の作業を体得する。並行して開講される「建築計画Ⅱ（講義）」、「インテリアデザイン（講義）」や「ランドスケープデザイン（演習）」とも関連させ、建築と建築内外の空間を連続的に発想できること、それらを設計図面として表現できることを目標とする。

**授業の達成目標：**2つの住宅の設計課題を通して、身近な空間のスケール感を養うとともに、設計に必要な情報の収集、発想具現化の方法を学ぶ。建物の配置計画、平面計画、立・断面計画、空間に対応する架構方法について適切に判断する方法を学ぶ。敷地環境（仙台市内）と建築および地域の関係についても学ぶ。

## 42 社会福祉論 LS-A-307

Social Welfare

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**障害をもちながら社会の構成員として、地域で暮らすことは、当然の権利である。しかしながら、歴史的背景や制度の未熟さ、支援体制の不足により、いまだその実現にほど遠いのが、社会の実状である。この現状を変えるには、多様な問題群をまずは認識し、その根本にはいかなる要因があるのかを理解しながら、障害者自身の視点に立って考える力が求められる。本講義では、障害者福祉に関して多様な角度から理解を進めると共に、地域社会での暮らし方をテーマごとに論じていく。また、社会参加のひとつの方法として、障害者スポーツに着目して、その可能性についても考えていきたい。授業では、実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

担当教員は、福祉団体において長きに渡り障害者の支援・指導に従事した実績と経験を活かして、授業に還元する。

**授業の達成目標：**日本における障害者を取り巻く社会的環境を理解し、障害者が一住民として地域社会で生活するための課題とその解決の状況や、障害者を含めた社会的包摂に向けた現代的意義を学ぶ。また講義全般を通じて、障害をもちながら生きていくことの意義や、障害者を含めた共生型の地域社会のありかたを考える力を身につける。



### 43 公民と自治 LS-A-308 Civics and Community Governance

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**日々の平和で豊かな生産と暮らしを支えるための重要な社会基盤のひとつに民主的な制度によって運営される地方自治制度がある。その制度の原理や歴史的成立の背景などを基にその具体的な運用の実態について、東日本大震災の復興の取組の成果も交えて講話する。授業では、実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**地方自治という身近な社会・政治システムの意義と目的、機能を理解し、地域社会の一員としてその社会的役割が担える力を身に着けられるようにする。

### 44 地域産業論 LS-A-309 Regional Works and Industry

必修 2単位 3年後期

**授業の概要：**現代の地域社会では、地域内外の人々がくらしや生産の場面で協働しながら、豊かなコミュニティを形成することが求められており、とりわけ、少子高齢化・人口減少が課題となっている地域においては、周囲の自然環境までを含めた持続可能性が喫緊の課題となっている。本講義では、国内外における有形無形の地域資源の活用事例を紹介し、主に農山漁村のくらしの実像、その可能性と課題について、基礎知識を養う。事例は、主に仙台・宮城・東北の各地から求め、今後の地域資源活用方法についても考察を深めていく。

授業では、実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**地域風土にねざしたくらしと、これを支える生産の意味を理解するとともに、有形無形の地域資源を評価することができる。また、その資源を活用した実践的事例についての知識を深め、とくに仙台・宮城・東北における活用展開を構想することができる。

### 45 都市と住宅の法制度 LS-C-310 Law Systems for Housing and City Planning

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**建築物の設計において不可欠である法規についての講義である。主に、建築基準法、建築士法を扱うが、関連する諸法についても触れる。自らが構想する建築を具体的に設計するにあたって、必ず守るべき最低限のルールについて理解できることを目指す。講義においては、より深い理解が得られることを目指し、諸法規の成立から変遷過程なども織り込みながら、また具体的な適用事例とも照らし合わせ、社会における実態とも関連づけながら丁寧に解説する。

**授業の達成目標：**建築関連法規を読んで理解する基本的読解力の養成。

建築に関わる主要な法令概要の理解。

簡単な具体例に対して一定の判断を下すことのできる能力の養成。

### 46 地域環境の保全とエネルギー LS-C-409 Energy and Ecology of Regional Environment

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**近年の産業経済社会の変化、とくに情報技術の飛躍的な発展は、我々の生活様式を多様化させる一方で、都市といわず農村といわず、生活水準だけは横並びの高度化を求める傾向を作り出し、その結果、エネルギー消費を増大させ、全体として地域環境の保全とは逆行する環境上の悪循環を招いている。そこで、本講では、地域環境を良好に維持しながら環境負荷を低減できるような生活デザイン手法について、環境共生の考え方を織り交ぜながら解説する。

**授業の達成目標：**地域を取り巻く環境の理解のため、地球システム（気圏・水圏・地圏）と地域との関わりを理解し、環境保全および省資源・省エネルギーのために、私達自身が地域で考え対処しなければならないことを学ぶ。

### 47 住まいの材料実験Ⅱ LS-C-211 Experiments in Finishing Materials II

選択 1単位 3年後期

**授業の概要：**主に住宅の構造材料および仕上材料に用いる木材の特質を学ぶため、曲げ試験などを通してその性状を実験にて確かめる。また、仕上材料として用いられているボード類を対象として、「曲げ強度」、「耐水性」、「難燃性」などの試験を行い、それらのデータのまとめ方や計算演習を通して、各性質のとらえ方や解釈の仕方を経験的に学ぶ。

**授業の達成目標：**建築物の構造材料および仕上材料に用いる木材の特質を学ぶ。また、仕上材料として用いられているボード類の基本的な性質を経験的に理解する。さらに、各ボードの試験方法及びデータのまとめ方を習得する。

### 48 設計CAD演習Ⅱ LS-E-410 Architectural Design and CAD Practice II

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**即日設計課題3題。コンペを想定した創作性のつよい設計課題2題。

仙台・宮城・東北の諸課題や地域性を念頭におきながら課題を構成する。

授業では、実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**都市計画的観点に配慮し、短時間に諸条件を満たした住宅設計をまとめ、各種図面を作成することができる。地域の可能性や課題に着眼し、斬新な発想をもって、その解決法を建築設計図面に表現し、説得力ある提案書としてまとめ、解説することができる。

## 49 NPO論 LS-A-311

Non-Profit Organization

選択 2単位 4年前期

**授業の概要：**仙台・宮城と東北エリアも含めた産業振興の実践的事例を紐解き概説する。

**授業の達成目標：**有形無形の地域資源を活かした産業振興の有様を学習する。

## 50 住まいの施工と積算 LS-C-312

Building Construction and Estimation

選択 2単位 4年前期

**授業の概要：**建築施工の概要、管理の実際、工種と職種、契約と見積および積算法について、具体的な資料や施工写真を見ながら学習する。

授業では、実務経験のある外部講師を招き、より実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**住宅・建築を具現化するための建築施工・建築施工管理および建築積算について、その考え方と基礎知識・技術を修得し、当該関連分野における探求力を涵養するとともに、実務遂行力の素地を形成する。

## 51 基礎セミナーⅠ LS-F-001

Home Seminar I

必修 1単位 1年前期

**授業の概要：**各教員がそれぞれ数人の学生を担当する少人数ゼミナールである。学生は、週一度のセミナーに出席して、担当教員から、大学における主体的な学習の仕方や自律的な生活の仕方を始めとするキャンパスライフ全般についてアドバイスを受けるとともに、担当教員の専門に依りて、安心して安全な生活デザインの入門的な課題について学習する。その上で、学科共通の課題および個々の教員の課題に沿った生活デザインツアーを実施するために、グループでディスカッションやプレゼンテーションを行い、企画を練り上げ、実行する。

**授業の達成目標：**資料を収集・整理し、ゼミのグループでその結果をまとめ、学年全員の前で発表するための作業を行う。その過程を通して、大学における主体的な学習の仕方、生活デザインの基本的課題について認識できるようになることを目標とする。

## 52 基礎セミナーⅡ LS-F-002

Home Seminar II

必修 1単位 1年後期

**授業の概要：**少人数ゼミナールである生活デザインセミナーⅠに引き続き、ここでは、学科共通の課題および個々の教員の課題に沿った生活デザインツアーの結果について、グループでディスカッションやプレゼンテーションを行いながら、安全で安心な生活デザインのさまざまな課題に対する眼を養う。また、学生は、検査結果の分析と学生自身の将来像に関するレポート作成を行う。これらを通して、分析力と構想力を養うことを狙いとする。そして、今後の学習の方法と内容および将来の進路や職業を展望する。

**授業の達成目標：**資料を収集・整理し、ゼミのグループでその結果をまとめ、学年全員の前で発表する。その過程を通して、大学における主体的な学習の仕方、生活デザインの基本的課題について認識できるようになることを目標とする。併せて、学生は、それぞれ自己の将来の進路を考える。

## 53 基礎セミナーⅢ LS-F-003

Home Seminar III

必修 1単位 2年前期

**授業の概要：**適性検査は1年間の学生生活を踏まえた「自己プログレスレポート」とし、自己の成長度合いや今後の適正な進路を、ある程度確認できるものである。更に、進路を考えるために、インターシップの実習やグループディスカッションを実践する。

**授業の達成目標：**適性検査による自己分析より進路を考える。インターシップに関する情報やこれらを通して、「実践するための方法と内容の把握」や「自らの専門性の適性判断」などを、自ら実践出来る様になることを目指す。

## 54 キャリアセミナーⅠ LS-F-004

Carrier Seminar I

必修 1単位 2年後期

**授業の概要：**地域福祉系・住まい系・くらし系の分野に関わって活動する実践者からの講話を通して、各自の進路の方向性を見極めることを目指す。具体的には、キャリアビジョンシートを作成し各セミナー担当教員からの指導・助言を受ける。また、適性検査としてSPI検査を実施し、その結果からキャリアビジョンシートに反映できるようにする。これらを通して、社会が求める人物像や将来の姿を思考する力を身につけることを目指す。

**授業の達成目標：**自分に相応しい業種・職種の分析を踏まえ、その上でキャリアビジョンシートが作成できること。



## 55 キャリアセミナーⅡ LS-F-005

Carrier Seminar Ⅱ

必修 1単位 3年前期

**授業の概要:**ホームルーム/インターンシップ/キャリアアップ・レクチャ/スタディ・スキルの4カテゴリーから、様々な内容の修得をする。

**授業の達成目標:**キャリア形成支援科目の最終年科目(前期)として、進路開拓に必要なスタディ・スキルとキャリアアップ・レクチャを織り交ぜながら、日常の修学の補完と人間力形成を図る。

## 56 キャリアセミナーⅢ LS-F-006

Carrier Seminar Ⅲ

必修 1単位 3年後期

**授業の概要:**ホームルーム/インターンシップ/キャリアアップ・レクチャ/スタディ・スキルの4カテゴリーから、様々な内容の修得をする。

**授業の達成目標:**前期に引き続き、進路開拓に必要なスタディ・スキル、キャリアアップ・レクチャを織り交ぜつつ、キャリア形成支援科目の最終段階として、社会人力を身につける。

## 57 生活デザイン特別課外活動Ⅰ LS-D-007

Extracurricular Activities in Design for Social System and Living Environment Ⅱ

選択 1単位 1年前期～4年後期

**授業の概要:**単位認定を希望する学生は、教務学生課又は長町キャンパス事務室に申し出て「生活デザイン特別課外活動単位認定申請書」を受け取り、必要事項を記入の上、以下に示す1から3それぞれの単位認定の方法に応じて必要となる申請書類とともに、教務学生課又は長町キャンパス事務室に提出すること。提出の締切は、学期末の7月末日と1月末日とする。

1. 資格取得による単位認定

本学科の専門に関連のある資格を取得した場合、あるいは検定に合格した場合は、専門教育科目に申請できる。どのような資格や検定が「生活デザイン特別課外活動」の対象となるか、また、それら資格や検定の評価については、下記の認定例を参考とされたい。また前期および後期のオリエンテーション等で説明する。

<申請書類>

・生活デザイン特別課外活動単位認定申請書:取得した資格または合格した検定の名称、及び取得年月日を記入すること

・資格の取得や検定の合格を証明する書類のコピー(合格証や資格証明書)

2. 学科が指定する課外活動による単位認定

学科が指定する課外活動は、以下の(1)から(4)の4項目である。

(1) 学科内の各研究室が単独または合同で実施する調査研究・各種ゼミへの参加。

(2) 企業実習などへの参加。

(3) 自主的に行う国内・国外の生活デザイン見聞旅行の計画・実施。

(4) その他、学科で認めた活動。

これらの活動を5日間以上行うこと。評価は、「活動における自主性、能動性の度合い」「活動内容の充実度」「活動の成果の大きさ」の3つの観点から行う。

<申請書類>

・生活デザイン特別課外活動単位認定申請書:課外活動を行った場所、期間、内容等について記入すること

・活動報告書:A4用紙で10枚程度。企業実習の場合は大学所定の「実習報告書」が良い。

・参加を証明する資料:企業実習の場合は大学所定のインターンシップ「評価票」が良い。

3. 各種デザインコンペ・学会発表等への応募による単位認定

各種デザインコンペ・学会発表等の応募に対する評価は、顕彰の程度を適正に考慮し行う。申請方法については、ゼミの指導教員と相談の上決定する。

4. 認定の方法

単位認定の審査は、生活デザイン学科の学科会議で行い、学科長が単位認定する。

資格取得または検定等の主な認定例

資格等名称	単位
福祉住環境コーディネーター検定2級	2
商業施設士補	2
PL検定3級	2
インテリアコーディネーター	
福祉住環境コーディネーター検定2級	2
カラーコーディネーター検定3級	
商業施設士補	2
色彩検定3級	
PL検定3級	2

\*認定希望者は事前に教務学生課又は長町キャンパス事務室に問合せのこと。

**授業の達成目標:**正規授業内では得られない経験や知識を課外で修得し、本学科の理念や目的をより広く、より深く達成させる。

本学科の専門に関連深い資格取得、検定等の合格、及び学科が指定する課外活動(教育的な意味、効果が得られるもの)、各種デザインコンペ等への応募に対して本人が単位申請を行った場合、学科で審査の上、上限4単位で専門科目としての単位認定を行う。

## 58 生活デザイン特別課外活動Ⅱ LS-D-008

Extracurricular Activities in Design for Social System and Living Environment Ⅱ

選択 1単位 1年前期～4年後期

**授業の概要:**単位認定を希望する学生は、教務学生課又は長町キャンパス事務室に申し出て「生活デザイン特別課外活動単位認定申請書」を受け取り、必要事項を記入の上、以下に示す1から3それぞれの単位認定の方法に応じて必要となる申請書類とともに、教務学生課又は長町キャンパス事務室に提出すること。提出の締切は、学期末の7月末日と1月末日とする。

1. 資格取得による単位認定

本学科の専門に関連のある資格を取得した場合、あるいは検定に合格した場合は、専門教育科目に申請できる。どのような資格や検定が「生活デザイン特別課外活動」の対象となるか、また、それら資格や検定の評価については、下記の認定例を参考とされたい。また前期および後期のオリエンテーション等で説明する。

<申請書類>

・生活デザイン特別課外活動単位認定申請書:取得した資格または合格した検定の名称、及び取得年月日を記入すること

・資格の取得や検定の合格を証明する書類のコピー(合格証や資格証明書)

2. 学科が指定する課外活動による単位認定

学科が指定する課外活動は、以下の(1)から(4)の4項目である。

(1) 学科内の各研究室が単独または合同で実施する調査研究・各種ゼミへの参加。

(2) 企業実習などへの参加。

(3) 自主的に行う国内・国外の生活デザイン見聞旅行の計画・実施。

(4) その他、学科で認めた活動。

これらの活動を5日間以上行うこと。評価は、「活動における自主性、能動性の度合い」「活動内容の充実度」「活動の成果の大きさ」の3つの観点から行う。

<申請書類>

・生活デザイン特別課外活動単位認定申請書:課外活動を行った場所、期間、内容等について記入すること

・活動報告書:A4用紙で10枚程度。企業実習の場合は大学所定の「実習報告書」が良い。

・参加を証明する資料:企業実習の場合は大学所定のインターンシップ「評価票」が良い。

3. 各種デザインコンペ・学会発表等への応募による単位認定

各種デザインコンペ・学会発表等の応募に対する評価は、顕彰の程度を適正に考慮し行う。申請方法については、ゼミの指導教員と相談の上決定する。

4. 認定の方法

単位認定の審査は、生活デザイン学科の学科会議で行い、学科長が単位認定する。

資格取得または検定等の主な認定例

資格等名称	単位
福祉住環境コーディネーター検定2級	2
商業施設士補	2
PL検定3級	2
インテリアコーディネーター	
福祉住環境コーディネーター検定2級	2
カラーコーディネーター検定3級	
商業施設士補	2
色彩検定3級	
PL検定3級	2

\*認定希望者は事前に教務学生課又は長町キャンパス事務室に問合せのこと。

**授業の達成目標:**正規授業内では得られない経験や知識を課外で修得し、本学科の理念や目的をより広く、より深く達成させる。

本学科の専門に関連深い資格取得、検定等の合格、及び学科が指定する課外活動(教育的な意味、効果が得られるもの)、各種デザインコンペ等への応募に対して本人が単位申請を行った場合、学科で審査の上、上限4単位で専門科目としての単位認定を行う。

## 59 生活デザイン特別課外活動Ⅲ LS-D-009

Extracurricular Activities in Design for Social System and Living Environment Ⅲ

選択 2単位 1年前期～4年後期

**授業の概要：**単位認定を希望する学生は、教務学生課又は長町キャンパス事務室に申し出て「生活デザイン特別課外活動単位認定申請書」を受け取り、必要事項を記入の上、以下に示す1から3それぞれの単位認定の方法に応じて必要となる申請書類とともに、教務学生課又は長町キャンパス事務室に提出すること。提出の締切は、学期末の7月末日と1月末日とする。

1. 資格取得による単位認定  
本学科の専門に関連のある資格を取得した場合、あるいは検定に合格した場合は、専門教育科目に申請できる。どのような資格や検定が「生活デザイン特別課外活動」の対象となるか、また、それら資格や検定の評価については、下記の認定例を参考とされたい。また前期および後期のオリエンテーション等で説明する。

### <申請書類>

・生活デザイン特別課外活動単位認定申請書：取得した資格または合格した検定の名称、及び取得年月日を記入すること  
・資格の取得や検定の合格を証明する書類のコピー（合格証や資格証明書）  
2. 学科が指定する課外活動による単位認定

学科が指定する課外活動は、以下の(1)から(4)の4項目である。  
(1) 学科内の各研究室が単独または合同で実施する調査研究・各種ゼミへの参加。  
(2) 企業実習などへの参加。  
(3) 自主的に行う国内・国外の生活デザイン見聞旅行の計画・実施。  
(4) その他、学科で認めた活動。

これらの活動を10日間以上行うこと。評価は、「活動における自主性、能動性の度合い」「活動内容の充実度」「活動の成果の大きさ」の3つの観点から行う。

### <申請書類>

・生活デザイン特別課外活動単位認定申請書：課外活動を行った場所、期間、内容等について記入すること  
・活動報告書：A4用紙で10枚程度。企業実習の場合は大学所定の「実習報告書」が良い。

・参加を証明する資料：企業実習の場合は大学所定のインターンシップ「評価票」が良い。

3. 各種デザインコンペ・学会発表等への応募による単位認定  
各種デザインコンペ・学会発表等の応募に対する評価は、顕彰の程度を適正に考慮し行う。申請方法については、ゼミの指導教員と相談の上決定する。

4. 認定の方法  
単位認定の審査は、生活デザイン学科の学科会議で行い、学科長が単位認定する。

資格取得または検定等の主な認定例

資格等名称	単位
福祉住環境コーディネーター検定2級	2
商業施設士補	2
PL検定3級	2
インテリアコーディネーター	
福祉住環境コーディネーター検定2級	2
カラーコーディネーター検定3級	
商業施設士補	2
色彩検定3級	
PL検定3級	2

\*認定希望者は事前に教務学生課又は長町キャンパス事務室に問合せること。

**授業の達成目標：**正規授業内では得られない経験や知識を課外で修得し、本学科の理念や目的をより広く、より深く達成させる。  
本学科の専門に関連深い資格取得、検定等の合格、及び学科が指定する課外活動（教育的な意味、効果が得られるもの）、各種デザインコンペ等への応募に対して本人が単位申請を行った場合、学科で審査の上、上限4単位で専門科目としての単位認定を行う。

## 61 他学科開講科目群 LS-D-011

Subjects offered by other departments

選択 6単位 1年後期～4年後期

**授業の概要：**学生が本学科における専門知識をより深く理解するため、他学科の開講科目を履修する機会を設けている。他学科の専門科目として開講されている講義等を履修することにより、単位が認定される。受講に際しては、長町キャンパス事務室（八木山キャンパス・学生サポートオフィス）から、専用の申込用紙を受け取る。まず、科目担当教員の了解を得て、本学科教務委員に提出すること。詳細は、当該科目のシラバスを参照のこと。

**授業の達成目標：**選択する科目により異なる。

## 60 生活デザイン特別課外活動Ⅳ LS-D-010

Extracurricular Activities in Design for Social System and Living Environment Ⅳ

選択 2単位 1年前期～4年後期

**授業の概要：**単位認定を希望する学生は、教務学生課又は長町キャンパス事務室に申し出て「生活デザイン特別課外活動単位認定申請書」を受け取り、必要事項を記入の上、以下に示す1から3それぞれの単位認定の方法に応じて必要となる申請書類とともに、教務学生課又は長町キャンパス事務室に提出すること。提出の締切は、学期末の7月末日と1月末日とする。

1. 資格取得による単位認定  
本学科の専門に関連のある資格を取得した場合、あるいは検定に合格した場合は、専門教育科目に申請できる。どのような資格や検定が「生活デザイン特別課外活動」の対象となるか、また、それら資格や検定の評価については、下記の認定例を参考とされたい。また前期および後期のオリエンテーション等で説明する。

### <申請書類>

・生活デザイン特別課外活動単位認定申請書：取得した資格または合格した検定の名称、及び取得年月日を記入すること  
・資格の取得や検定の合格を証明する書類のコピー（合格証や資格証明書）  
2. 学科が指定する課外活動による単位認定

学科が指定する課外活動は、以下の(1)から(4)の4項目である。  
(1) 学科内の各研究室が単独または合同で実施する調査研究・各種ゼミへの参加。  
(2) 企業実習などへの参加。  
(3) 自主的に行う国内・国外の生活デザイン見聞旅行の計画・実施。  
(4) その他、学科で認めた活動。

これらの活動を10日間以上行うこと。評価は、「活動における自主性、能動性の度合い」「活動内容の充実度」「活動の成果の大きさ」の3つの観点から行う。

### <申請書類>

・生活デザイン特別課外活動単位認定申請書：課外活動を行った場所、期間、内容等について記入すること  
・活動報告書：A4用紙で10枚程度。企業実習の場合は大学所定の「実習報告書」が良い。

・参加を証明する資料：企業実習の場合は大学所定のインターンシップ「評価票」が良い。

3. 各種デザインコンペ・学会発表等への応募による単位認定  
各種デザインコンペ・学会発表等の応募に対する評価は、顕彰の程度を適正に考慮し行う。申請方法については、ゼミの指導教員と相談の上決定する。

4. 認定の方法  
単位認定の審査は、生活デザイン学科の学科会議で行い、学科長が単位認定する。

資格取得または検定等の主な認定例

資格等名称	単位
福祉住環境コーディネーター検定2級	2
商業施設士補	2
PL検定3級	2
インテリアコーディネーター	
福祉住環境コーディネーター検定2級	2
カラーコーディネーター検定3級	
商業施設士補	2
色彩検定3級	
PL検定3級	2

\*認定希望者は事前に教務学生課又は長町キャンパス事務室に問合せること。

**授業の達成目標：**正規授業内では得られない経験や知識を課外で修得し、本学科の理念や目的をより広く、より深く達成させる。  
本学科の専門に関連深い資格取得、検定等の合格、及び学科が指定する課外活動（教育的な意味、効果が得られるもの）、各種デザインコンペ等への応募に対して本人が単位申請を行った場合、学科で審査の上、上限4単位で専門科目としての単位認定を行う。

## 62 他大学開講科目群 LS-D-012

Subjects offered by other universities

選択 4単位 1年後期～4年前期

**授業の概要：**詳細については学生便覧の「他大学開講科目」、キャンパスライフの「学都仙台単位互換ネットワーク協定および国内外の大学等との単位互換に関する協定に基づく東北工業大学特別聴講学生取扱要項」などを参照のこと。

**授業の達成目標：**履修する科目により異なる。



# 《履修ガイダンス・教育課程表》

## 経営コミュニケーション学科

### ・前文

企業や社会で活躍するためには、経営の知識は一つの武器になりますが、それだけでは不十分です。多くの人と関わりながら社会生活やビジネスを進めていくためにも周りの人と円滑なコミュニケーションを取れる能力が必要になります。

経営コミュニケーション学科では、経営に必要な知識（経済学・会計学などの周辺領域を含む）を学びながら、コミュニケーション能力（ヒューマンコミュニケーション・メディアコミュニケーション・ビジネスコミュニケーション）を養い、地域社会に貢献できる人材を育成することを目指しています。

### 1. カリキュラムの特徴

情報に関する基本的な素養を身につけた上で、経営学およびコミュニケーションの知識とスキルを学びます。本学科は、経営学についての学びを深める経営コースと、コミュニケーションについての学びを深めるコミュニケーションコースの2コースを設けています。1年次には、両コース共通の基盤となる情報、経営、コミュニケーションの入門科目を学習し、2年次に各コースに分かれます。

経営コース	コミュニケーションコース
事業に対する経営力と構想力に加え、経営目標達成のための判断力と情報調査・処理能力を養成します。	経営目標達成のための判断力と情報調査・処理能力に加え、組織と環境をマネジメントできるコミュニケーション能力を養成します。

### 2. キャリアガイダンス

本学科では、生きるための力を涵養する目的で、職業教育や就職支援を中心としたキャリアガイダンスを行います。具体的には、全体セミナー及び少人数セミナーで、しっかりした職業観、豊かな人間性、コミュニケーション能力を養います。

キャリアガイダンスの体系は以下の通りです。

- ・経営コミュニケーションセミナーⅠ・Ⅱ：大学生活の基礎力、学習スキル
- ・経営コミュニケーションセミナーⅢ・Ⅳ：自己理解、将来のイメージ
- ・経営コミュニケーションキャリアセミナーⅠ・Ⅱ：具体的な進路指導、就職試験対策
- ・経営コミュニケーション卒業研修Ⅰ・Ⅱ：大学で学んできたことの集大成、卒業後のキャリアの準備

### 3. 卒業研修について

本学科は卒業研修として、4年次前期に「経営コミュニケーション研修Ⅰ」、後期に「経営コミュニケーション研修Ⅱ」を設けています。「経営コミュニケーション研修Ⅰ」ではそれぞれの問題意識に従い、卒業研修の題目、目的、方法等の構想をまとめる段階まで実施します。「経営コミュニケーション研修Ⅱ」では、「経営コミュニケーション研修Ⅰ」でまとめた構想に基づき、それぞれの分野で研究を進め、その成果をまとめます。

## 4. 履修のためのガイド

3年次から4年次へ進級するときに進級条件があり、これを充足しないと進級できません。しかし、この進級条件は進級するための必要最小限の条件で、実際に修得できる単位数より低めに設定されているので、少し余裕を持った単位修得をするよう心がける必要があります。単位修得に関しては、以下の「学年毎の目標単位数」を参考にして履修計画を立ててください。なお、2年次で経営コースかコミュニケーションコースかいずれかのコースを選択し、3年次からは各コースの必修科目・選択科目を履修することになります。

### 学年ごとの目標単位数

	教養教育科目		専門教育科目		各学年の合計	1年次からの累計
	必修	選択	必修	選択		
1年次	10	4	24	2以上	40	40
2年次	3	6	10	22以上	41	81
3年次	1	8	4	26以上	39	120
4年次	—	—	6	4以上	10	130
卒業までの 総合計	14	18以上	44	54以上	130以上	
	32以上		98以上			

## 5. 環境教育について

1年次前期の「経営コミュニケーションセミナーⅠ」の中で、ISOに関する説明他、学科におけるISO14001に関する取り組みや専門分野との関わり等を講義します。

## 6. 教職課程について

経営コミュニケーション学科では、高等学校の「商業」の教育職員免許状を修得するための科目を履修することができます。

## 7. 地域志向科目

本学科では、地域社会で即戦力として活躍できる人材になるための能力を身に付けるために、2年次から3年次にかけて地域志向科目を開講します。この科目では、地域を活性化するための知識を学ぶだけでなく、プロジェクトを通して学んだことを実践することが可能になっています。



# 経営コミュニケーション学科 専門科目の履修の流れ (経営コース・コミュニケーションコース共通)

経営コミュニケーション学科 学習・教育目標
新しい経営スタイルを身につけた経営者や起業家等を目指すように、経営、ICT（情報コミュニケーション技術）、社会情報、コミュニケーションの各側面から実践的な知識とスキルを身に付けさせる。

経営コース 学習・教育目標
事業に対する経営力と構想力に加え、経営目標達成のための判断力と情報調査・処理能力を養成する。

コミュニケーションコース 学習・教育目標
経営目標達成のための判断力と情報調査・処理能力に加え、組織と環境をマネジメントできるコミュニケーション能力を養成する。

必修科目 選択科目

科目群の学習・教育目標		
-------------	--	--

経営・経済科目群	経営	経営についての基本的な知識に始まり、組織を動かす人間の心理や組織をマネジメントするための体系的な知識を学ぶ。さらにこれらを踏まえて、組織論やマーケティング、戦略論といった、より専門的な科目について理解を深め、実践的な経験を積む。
	会計	組織をマネジメントする上で不可欠な会計学の概念について学ぶ。基本的な知識に続き、帳簿を作成するための技術を学んだ上で、それらを実際の企業経営に生かすための方法を体系的に習得し、同時に日商簿記の資格取得も視野に入れる。
	経済	経済学の理論面と実証分析面をバランスよく学ぶ。必要な数学的知識は「数学基礎」によりカバーするとともに、導入科目として経済学入門を開講し、各専門分野の学習に入りやすくした。社会現象を論理的に分析できるようになることを目指す。

コミュニケーション・心理科目群	ヒューマンコミュニケーション	人間の心理状況やその際の様々な行動特性との関係やコミュニケーション特性の知識をより深く学ぶことで、日常コミュニケーション領域でスキルを身に付ける。
	メディアコミュニケーション	メディアを通して伝わりやすいメッセージの作成と的確に伝える方法を学ぶだけでなく、実際に映像を作成することでメディアを通じて発信できるノウハウを身に付ける。
	ビジネスコミュニケーション	ビジネスでのコミュニケーションには、仕事が円滑化し成果を得るための「伝える（話す）能力」と「受け取る（聴く）能力」の2つが必要となる。それらを英語および日本語によって学び、国際人としてビジネス社会で活躍できる人材を目指す。

ICT・社会情報科目群	ICT	ビジネスに必要な情報処理についての知識とスキルを学習し、ICTを用いたコミュニケーション能力を身に付け、社会で即戦力として活躍できる人材を目指す。
	社会情報	経営コースとコミュニケーションコースに共通する課題発見とその解決能力、経営目標達成のための情報調査・情報処理能力を習得する。

地域志向・グローバル科目	地域志向	現況を理解した上で問題点を見出し自らその解決法を考え出す能力を身に付け、地域社会で即戦力として活躍できる人材を目指す。
	グローバル	「チャレンジ・アプロード・プログラム」による事前研修と現地研修を通し、異文化理解を深め、コミュニケーション能力の向上をはかり、国際人としての自覚を持つ。

セミナー・研修科目群	セミナー・研修	個別の研修室でのセミナーおよび全体セミナーを通して、大学での生活を充実したものにする支援を受けるだけでなく、その学習を通して必要な社会人基礎力を身に付ける。さらに、卒業研修を通して4年間の学びを集大成する。
------------	---------	---

キャリア科目群	キャリアデザイン	一人一人の社会的・職業的自立に向け、基盤となる能力や態度を身に付けることを通して、キャリア発達を目指す。
---------	----------	--

1年次	
前期	後期

経営学入門 組織心理学  
クリティカルシンキング

会計学入門 簿記論

数学基礎 経済学入門

コミュニケーション入門 対人コミュニケーション  
心理学入門

メディアコミュニケーション入門

ドキュメントコミュニケーション

英文法基礎

統計学入門

2年次	
前期	後期

経営管理論 経営組織論  
マーケティング論

財務会計論 財務管理論

ミクロ経済学 環境経済学  
マクロ経済学

映像・イメージ学

パブリックスピーチ

イングリッシュコミュニケーション

ICT入門 ネットワークとビジネス

データ分析 社会調査Ⅰ  
社会調査Ⅱ

地域創生論 経営コミュニケーション学  
総合演習Ⅰ(地域連携科目)

チャレンジアプロードプログラム

経営コミュニケーションセミナーⅠ 経営コミュニケーションセミナーⅡ  
経営コミュニケーションセミナーⅢ 経営コミュニケーションセミナーⅣ

キャリアプランニング

3年次	
前期	後期

経営戦略論 人的資源管理論

中小企業会計論

日本経済論 組織の経済学  
国際経済論

異文化コミュニケーション 映像心理学  
メンタルヘルスケア

映像制作実習Ⅰ 映像制作実習Ⅱ

交渉学

ビジネスイングリッシュ

データベースと経営 情報システム学

経営コミュニケーション学  
総合演習Ⅱ(地域連携科目)

経営コミュニケーション概論Ⅰ 経営コミュニケーション概論Ⅱ  
経営コミュニケーション研修Ⅰ 経営コミュニケーション研修Ⅱ

経営コミュニケーションキャリアセミナーⅠ 経営コミュニケーションキャリアセミナーⅡ

4年次	
前期	後期

ビジネスロールプレイング

法と経済学

身体表現研究

コーチング

ICTビジネススキル

# 教育課程表における進級・卒業条件

## 経営コミュニケーション学科

◎4年次への進級条件

区 分	内 容	備 考
教養教育科目	22 単位以上 必修 10 単位以上を含むこと	
専門教育科目	76 単位以上 必修 32 単位以上を含むこと	
計	全体として 98 単位以上	

◎卒業に要する最低修得単位数

区 分	内 容	備 考
教養教育科目	26 単位以上 必修 14 単位を含むこと	
専門教育科目	98 単位以上 必修 44 単位を含むこと	
計	124 単位	

# 教育課程表と学士力対応表

## 経営コミュニケーション学科 教養教育科目

本学の学生が身につけるべき学士力		
①	知識と理解力	文化性, 人間性, 社会性を備えた科学力と専門能力
②	論理的思考と分析スキル	現象や結果に基づいて展開, 解析, 方向性を導く能力
③	協調性と適応力	集団の一員として状況を正しく理解して主体的に取り組む能力
④	コミュニケーションスキル	自己表現と相互理解の能力
⑤	課題発見とその解決能力	総合的な能力を駆使して, 新しい現象・課題を発見し, その理解・解決ができる能力
⑥	国際理解力と語学力	地球的課題, 多様な文化, 価値観の違いを理解し, 国際的に通用するコミュニケーション能力

【教養教育】身につけるべき学士力		
①	コミュニケーション能力	言語の読解力, 言語による自己表現と相互理解の能力
②	批判的思考力	現代世界の諸問題を考えるための基礎的な視点や知識
③	社会生活への適応力	精神的・身体的に健全であるための実践能力と知識
④	工学・建築学およびライフデザイン学を学ぶための基礎学力	数学, 自然科学, 経済学等の基礎知識

### ・単位数と学習時間（授業時間数及び自習時間数）

学習時間については学則第10条に以下の記載があります。（詳細は学生便覧P.211“単位制と授業時間について”参照）  
 第10条 教育課程表に示す各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果・授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。  
 ただし、個人指導による実技の授業については、別に定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学習の成果を評価して単位を与える。単位数はこれらに必要な学修等を考慮して定める。

※ 本学では、1講時90分の授業が半期15週行われます。単位数は、1講時（＝1コマ：90分）の授業時間を2時間相当の学習時間とみなし、予習・復習の自習時間もあわせた時間で設定しています。

したがって、【教育課程表】の“各期の毎週時間数”には1コマ＝“2”とするみなしの授業時間が記載されています。

1単位の授業科目は、45時間の学習を必要とする内容をもって構成します。

### 【単位数と授業時間数・(みなしの)自習時間数】

授業形態	単位数	週授業時間数	+	自習時間数	1回(週)当り学習時間
講義	2単位 (90時間)	1コマ/週 (計30時間)	+	60時間/15週	4 (時間)
演習・実習	1単位 (45時間)	1コマ/週 (計30時間)	+	15時間/15週	1 (時間)

シラバスにおける学習時間は以下のとおりです。

授業形態	単位数	週授業時間数	自習時間	1回(週)当り学習時間
講義	2単位 (90時間)	1コマ/週 (計30時間)	60時間	4 (時間)
演習・実習	1単位 (45時間)	1コマ/週 (計30時間)	15時間	1 (時間)
演習・実習	2単位 (90時間)	2コマ/週 (計60時間)	30時間	2 (時間)
演習・実習	3単位 (135時間)	3コマ/週 (計90時間)	45時間	3 (時間)
講義及び演習	3単位 (135時間)	2コマ/週 (計60時間)	75時間	5 (時間)

# 教育課程表

## 経営コミュニケーション学科 教養教育科目

科目区分	授業科目名	単位		各期の毎週時間数								備考	授業形態				本学の学士力身に付けるべき能力						教養教育身に付けるべき能力									
		必修	選択	1年		2年		3年		4年			講義	演習	実験実習	卒業研修	①		②		③		④		①		②		③		④	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						①	②	③	④	①	②	③	④								
地域・文化・社会	1 表象文化論		2	2											○	○							○	○								
	2 現代社会論		2	2											○	○							○	○								
	3 現代メディア論		2		2										○	○	○						○	○								
	4 環境問題とエコロジー		2		2										○	○	○						○	○								
	5 市民と法		2			2									○			○					○	○	○							
	6 暮らしと心理学		2			2									○		○						○	○	○							
	7 科学思想史		2			2									○	○	○						○	○	○	○						
	8 東北文化史		2			2									○	○	○		○				○	○	○							
	9 市民と政治		2				2								○			○					○	○	○							
	10 産業社会と心理学		2				2								○		○	○					○	○	○							
	11 産業社会と倫理		2				2								○		○		○				○	○	○							
	12 情報社会の経済		2					2							○	○							○		○							
	13 日本国憲法		2						2						○			○					○	○	○							
	14 現代の哲学		2							2					○	○							○	○								
	15 コミュニティネットワーク論	2		2											○		○		○						○	○						
	16 ライフ・キャリアデザイン論Ⅰ	2			2										○		○	○	○				○		○							
	17 ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ	2				2									○		○	○	○				○		○							
	18 職業指導（商業）	2				2									○				○	○			○									
	19 数学的思考法	2	2												○	○			○						○							
	20 ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅰ	2		2											○			○					○		○							
	21 ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅱ	2		2											○			○					○		○							
	22 工業概論	2				2									○	○			○				○	○								
	23 フランスの文化と言葉	2	2												○				○	○			○		○							
	24 ドイツの文化と言葉	2	2												○				○	○			○		○							
	25 韓国の文化と言葉	2	2												○				○	○			○		○							
	26 中国の文化と言葉	2	2												○				○	○			○		○							
言葉と表現	27 スタディスキルⅠ	1		2										○			○		○			○		○								
	28 スタディスキルⅡ	1		2										○			○		○			○		○								
	29 プレゼンテーション	1			2									○			○	○	○	○		○	○	○								
	30 ビジネスマナー	1				2								○			○	○	○			○		○								
	31 英語ⅠA	1	2											○				○		○		○		○								
	32 英語ⅠB	1		2										○				○		○		○		○								
	33 英語ⅡA	1			2									○				○		○		○		○								
	34 英語ⅡB	1			2									○				○		○		○		○								
	35 英会話A	1	2											○				○		○		○		○								
	36 英会話B	1		2										○				○		○		○		○								
	37 資格英語A	1			2									○				○		○		○		○								
	38 資格英語B	1			2									○				○		○		○		○								
心と体の健康	39 健康・運動科学実習Ⅰ		1	2										○			○	○	○	○		○		○								
	40 健康・運動科学実習Ⅱ		1	2										○			○	○	○	○		○		○								
	41 スポーツ科学実習		1		2								○				○	○				○		○								
学際	42 特別課外活動Ⅰ		1	…	…	…	…	…	…	…				※1																		
	43 特別課外活動Ⅱ		1	…	…	…	…	…	…	…				※1																		
	44 特別課外活動Ⅲ		2	…	…	…	…	…	…	…				※1																		
	45 特別課外活動Ⅳ		2	…	…	…	…	…	…	…				※1																		
	46 他大学等教養科目群		4	…	…	…	…	…	…	…				※2																		
小計（46科目）			14	63	18	18	14	12	14	4	2	0																				

※1 合わせて4単位までを進級および卒業に要する単位として算入できる。  
 ※2 他大学等教養科目群については、4単位までを進級および卒業に要する単位に算入する。

# 教育課程表と学士力対応表

## 経営コミュニケーション学科 専門教育科目

本学の学生が身につけるべき学士力		
①	知識と理解力	文化性, 人間性, 社会性を備えた科学力と専門能力
②	論理的思考と分析スキル	現象や結果に基づいて展開, 解析, 方向性を導く能力
③	協調性と適応力	集団の一員として状況を正しく理解して主体的に取り組む能力
④	コミュニケーションスキル	自己表現と相互理解の能力
⑤	課題発見とその解決能力	総合的能力を駆使して, 新しい現象・課題を発見し, その理解・解決ができる能力
⑥	国際理解力と語学力	地球的課題, 多様な文化, 価値観の違いを理解し, 国際的に通用するコミュニケーション能力

【経営コミュニケーション学科専門教育】身につけるべき学士力		
①	事業に対する経営力と構想力	
②	経営目標達成のための判断力と情報調査・処理能力	
③	組織と環境をマネジメントできるコミュニケーション能力	

### ・単位数と学習時間（授業時間数及び自習時間数）

学習時間については学則第10条に以下の記載があります。（詳細は学生便覧P.211“単位制と授業時間について”参照）

第10条 教育課程表に示す各授業科目の単位数は, 1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することとし, 授業の方法に応じ, 当該授業による教育効果・授業時間外に必要な学修等を考慮して, 次の基準により計算する。

(1) 講義及び演習については, 15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。

(2) 実験, 実習及び実技については, 30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。

ただし, 個人指導による実技の授業については, 別に定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず, 卒業論文, 卒業研究, 卒業制作等の授業科目については, これらの学習の成果を評価して単位を与える。単位数はこれらに必要な学修等を考慮して定める。

※ 本学では, 1講時90分の授業が半期15週行われます。単位数は, 1講時 (= 1コマ: 90分) の授業時間を2時間相当の学習時間とみなし, 予習・復習の自習時間もあわせた時間で設定しています。

したがって, 【教育課程表】の“各期の毎週時間数”には1コマ = “2”とするみなしの授業時間が記載されています。

1単位の授業科目は, 45時間の学習を必要とする内容をもって構成します。

### 【単位数と授業時間数・(みなしの)自習時間数】

授業形態	単位数	週授業時間数	+	自習時間数	1回(週)当り学習時間
講義	2単位 (90時間)	1コマ/週 (計30時間)	+	60時間/15週	4 (時間)
演習・実習	1単位 (45時間)	1コマ/週 (計30時間)	+	15時間/15週	1 (時間)

シラバスにおける学習時間は以下のとおりです。

授業形態	単位数	週授業時間数	自習時間	1回(週)当り学習時間
講義	2単位 (90時間)	1コマ/週 (計30時間)	60時間	4 (時間)
演習・実習	1単位 (45時間)	1コマ/週 (計30時間)	15時間	1 (時間)
演習・実習	2単位 (90時間)	2コマ/週 (計60時間)	30時間	2 (時間)
演習・実習	3単位 (135時間)	3コマ/週 (計90時間)	45時間	3 (時間)
講義及び演習	3単位 (135時間)	2コマ/週 (計60時間)	75時間	5 (時間)



# 教育課程表

## 経営コミュニケーション学科 専門教育科目

科目区分	授業科目名	単位(※1)		各期の毎週時間数								備考	授業形態				本学の学士力身に付けるべき能力						学科の学士力身に付けるべき能力		
		Mコース	Cコース	1年		2年		3年		4年			講義	演習	実験実習	卒業研修	① ② ③ ④ ⑤ ⑥						① ② ③		
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③
1	経営学入門	2	2	2								○			○						○				
2	会計学入門	2	2	2								○			○							○			
3	数学基礎		2	2								○			○								○		
4	心理学入門	2	2	2								○			○	○							○		
5	コミュニケーション入門	2	2	2								○			○	○							○		
6	英文法基礎	2	2	2								○			○	○							○		
7	経営コミュニケーションセミナーⅠ	1	1	2								○			○	○	○	○					○		
8	組織心理学	2	2	2								○			○	○							○		
9	経済学入門	2	2	2								○			○	○							○		
10	対人コミュニケーション	2	2	2								○			○	○							○		
11	メディアコミュニケーション入門	2	2	2								○			○	○							○		
12	ドキュメントコミュニケーション		2	2								○			○	○							○		
13	クリティカルシンキング		2	2								○			○	○							○		
14	統計学入門	2	2	2								○			○	○							○		
15	経営コミュニケーションセミナーⅡ	1	1	2								○			○	○	○	○					○		
16	簿記論	2	2	2								○			○	○							○		
17	経営管理論	2	2			2						○			○	○							○		
18	マーケティング論	2	2			2						○			○	○							○		
19	キャリアプランニング		2	2								○			○	○							○		
20	イングリッシュコミュニケーション		2	2								○			○	○							○		
21	I C T入門	2	2			2						○			○	○							○		
22	地域創生論	2	2			2						○			○	○							○		
23	経営コミュニケーションセミナーⅢ	1	1									○			○	○	○	○					○		
24	財務会計論		2	2								○			○	○							○		
25	ミクロ経済学		2	2								○			○	○							○		
26	データ分析		2	2								○			○	○							○		
27	社会調査Ⅰ		2	2			2					○			○	○							○		
28	イノベーション政策論		2	2			2					○			○	○							○		
29	経営コミュニケーション学総合演習Ⅰ		1	1			2					○			○	○	○	○					○		
30	経営コミュニケーションセミナーⅣ	1	1									○			○	○	○	○					○		
31	経営組織論		2	2			2					○			○	○							○		
32	財務管理論		2	2			2					○			○	○							○		
33	マクロ経済学		2	2			2					○			○	○							○		
34	環境経済学		2	2			2					○			○	○							○		
35	映像・イメージ学		2	2			2					○			○	○							○		
36	パブリックスピーチ		2	2			2					○			○	○							○		
37	社会調査Ⅱ		2	2			2					○			○	○							○		
38	ネットワークとビジネス		2	2			2					○			○	○							○		
39	経営コミュニケーション学総合演習Ⅱ		1	1					2			○			○	○	○	○					○		
40	経営コミュニケーション概論Ⅰ	1	1					2				○			○	○	○	○					○		
41	経営コミュニケーションキャリアセミナーⅠ	1	1					2				○			○	○							○		
42	経営戦略論		2	2			2					○			○	○							○		
43	日本経済論		2	2			2					○			○	○							○		
44	中小企業会計論		2	2			2					○			○	○							○		
45	異文化コミュニケーション		2	2			2					○			○	○							○		
46	ビジネスイングリッシュ		2	2			2					○			○	○							○		
47	映像心理学		2	2			2					○			○	○							○		
48	データベースと経営		2	2			2					○			○	○							○		
49	映像制作実習Ⅰ		3	3			6					○			○	○							○		
50	経営コミュニケーション概論Ⅱ	1	1					2				○			○	○	○	○					○		
51	経営コミュニケーションキャリアセミナーⅡ	1	1					2				○			○	○							○		
52	人的資源管理論		2	2			2					○			○	○							○		
53	国際経済論		2	2			2					○			○	○							○		
54	組織の経済学		2	2			2					○			○	○							○		
55	メンタルヘルスケア		2	2			2					○			○	○							○		
56	交渉学		2	2			2					○			○	○							○		
57	映像制作実習Ⅱ		3	3			6					○			○	○							○		
58	情報システム学		2	2			2					○			○	○							○		
59	経営コミュニケーション研修Ⅰ	2	2					4				○			○	○							○		
60	ビジネスロールプレイング		2	2			2					○			○	○							○		
61	法と経済学		2	2			2					○			○	○							○		
62	身体表現研究		2	2			2					○			○	○							○		
63	コーチング		2	2			2					○			○	○							○		
64	経営コミュニケーション研修Ⅱ	4	4					8				○			○	○							○		
65	I C Tビジネススキル		2	2			2					○			○	○							○		
66	チャレンジアブロードプログラム	4	4	…	…	…	…	…	…	…					○	○							○		
67	経営コミュニケーション特論		2	2	…	…	…	…	…	…		○			○	○							○		
68	経営コミュニケーション特別課外活動Ⅰ		1	1	…	…	…	…	…	…		○			○	○							○		
69	経営コミュニケーション特別課外活動Ⅱ		1	1	…	…	…	…	…	…		○			○	○							○		
70	経営コミュニケーション特別課外活動Ⅲ		2	2	…	…	…	…	…	…		○			○	○							○		
71	他学科開講科目群		8	8	…	…	…	…	…	…		○			○	○							○		
72	他大学開講科目群		4	4	…	…	…	…	…	…		○			○	○							○		
小計(72科目)		44:102	44:102	14:18	22:22	26:22	12:10																		

※1 ・Mコース=経営コース、・Cコース=コミュニケーションコース

◇科目ナンバリングについて

1. 科目ナンバリングの配列

1 列目	2 列目	3 段目	4 列目	5 列目	6 列目
学部区分	学科区分	分野	難易度+通し番号		
L	M	D	102		
LM-D-102					

※ライフデザイン学部経営コミュニケーション学科「コミュニケーション入門」(1年次開講)の例

2. 科目ナンバリングの凡例

1 列目 (学部区分)	
L	ライフデザイン学部

2 列目 (学科・科目区分)	
CD	産業デザイン学科・専門教育科目
S	生活デザイン学科・専門教育科目
M	経営コミュニケーション学科・専門教育科目

3 段目 (分野)		
TH	産業デザイン	理論・思想
TC		技術
AP		応用・統合
SC		社会・コミュニケーション
XX		その他
A	生活デザイン	地域・福祉系
B		くらし計画系
C		住まいデザイン系
D		演習・実習・研修系
E		設計・造形科目群
F		キャリア形成科目群
A	経営コミュニケーション	経営
B		会計
C		経済
D		ヒューマンコミュニケーション
E		メディアコミュニケーション
F		ビジネスコミュニケーション
G		ICT
H		社会情報
I		地域創生
J		セミナー・研修
K		チャレンジアブロードプログラム
X		その他

4・5・6 列目 (難易度+通し番号)	
100 番台	入門レベル
200 番台	中級レベル
300 番台	上級レベル
400 番台	専門レベル
000 番台	その他 (レベル分けができない科目、例:特別課外活動)

本学では、授業科目に適切な番号を付し分類する「科目ナンバリング」を導入しています。

学部・学科ごとに授業科目の難易度に基づく学習の段階や順序を整理していますので、履修科目を選択する際などに利用してください。

3. 各科目の科目ナンバリング

科目 No.	科目名	各期の毎週時間数							
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
LM-A-101	経営学入門	2							
LM-B-101	会計学入門	2							
LM-C-101	数学基礎	2							
LM-D-101	心理学入門	2							
LM-D-102	コミュニケーション入門	2							
LM-F-101	英文法基礎	2							
LM-J-101	経営コミュニケーションセミナー I	2							
LM-A-102	組織心理学		2						
LM-C-102	経済学入門		2						
LM-D-203	対人コミュニケーション		2						
LM-E-101	メディアコミュニケーション入門		2						
LM-F-204	ドキュメントコミュニケーション		2						
LM-F-103	クリティカルシンキング		2						
LM-H-101	統計学入門		2						
LM-I-102	経営コミュニケーションセミナー II		2						
LM-B-202	簿記論		2						
LM-A-203	経営管理論			2					
LM-A-204	マーケティング論			2					
LM-D-204	キャリアプランニング			2					
LM-F-102	イングリッシュコミュニケーション			2					
LM-G-101	ICT入門			2					
LM-I-101	地域創生論			2					
LM-J-203	経営コミュニケーションセミナー III			2					
LM-B-303	財務会計論			2					
LM-C-203	ミクロ経済学			2					
LM-H-202	データ分析			2					
LM-H-203	社会調査 I			2					
LM-A-206	イノベーション政策論				2				
LM-I-202	経営コミュニケーション学総合演習 I				2				
LM-J-204	経営コミュニケーションセミナー IV				2				
LM-A-205	経営組織論				2				
LM-B-304	財務管理論				2				
LM-C-204	マクロ経済学				2				
LM-C-305	環境経済学				2				
LM-E-202	映像・イメージ学				2				
LM-F-205	パブリックスピーチ				2				
LM-H-304	社会調査 II				2				
LM-G-202	ネットワークとビジネス				2				
LM-I-203	経営コミュニケーション学総合演習 II					2			
LM-J-305	経営コミュニケーション概論 I					2			
LM-D-309	経営コミュニケーションキャリアセミナー I					2			
LM-A-307	経営戦略論					2			
LM-C-306	日本経済論					2			
LM-B-405	中小企業会計論					2			
LM-D-306	異文化コミュニケーション					2			
LM-F-306	ビジネスイングリッシュ					2			
LM-D-305	映像心理学					2			
LM-G-203	データベースと経営					2			
LM-E-303	映像制作実習 I					6			
LM-J-306	経営コミュニケーション概論 II						2		
LM-D-310	経営コミュニケーションキャリアセミナー II						2		
LM-A-308	人的資源管理論						2		
LM-C-307	国際経済論						2		
LM-C-308	組織の経済学						2		
LM-D-307	メンタルヘルスケア						2		
LM-D-308	交渉学						2		
LM-E-304	映像制作実習 II						6		
LM-G-304	情報システム学						2		
LM-J-407	経営コミュニケーション卒業研修 I							4	
LM-A-409	ビジネスロールプレイング							2	
LM-C-309	法と経済学							2	
LM-D-409	身体表現研究							2	
LM-D-410	コーチング							2	
LM-J-408	経営コミュニケーション卒業研修 II								8
LM-G-405	ICTビジネススキル								2
LM-K-001	チャレンジアブロードプログラム	...	...	...	...	...	...	...	...
LM-X-001	経営コミュニケーション特論	...	...	...	...	...	...	...	...
LM-X-002	経営コミュニケーション特別課外活動	...	...	...	...	...	...	...	...
LM-X-003	経営コミュニケーション特別課外活動	...	...	...	...	...	...	...	...
LM-X-004	経営コミュニケーション特別課外活動	...	...	...	...	...	...	...	...
LM-X-005	他学科開講科目群	...	...	...	...	...	...	...	...
LM-X-006	他大学開講科目群	...	...	...	...	...	...	...	...

## 1 経営学入門 LM-A-101

Introduction to Management

必修 2単位 1年前期

**授業の概要:**本講義では主として企業という組織に焦点を当てる。現代の社会に与える企業の影響力が非常に大きいことはもちろん、我々は様々な形で企業と関係を持っており、企業の仕組みと働きを学ぶことは重要な意味を持つと思われるからである。具体的には、企業の仕組みや働きに加えて、企業と環境の関わりの問題や、企業の社会的責任（CSR）の問題など、企業の抱える現代的課題にも着目し、企業の全体像を幅広い視点から把握できる能力の獲得を目指す。

**授業の達成目標:**企業の仕組みと働きを理解し、企業が直面する問題について自分なりに考えられるようになること。

## 3 数学基礎 LM-C-101

Basic Mathematics

選択 2単位 1年前期

**授業の概要:**基本的な関数および、微分の基本と応用を学ぶ演習も取り入れていく。

**授業の達成目標:**経営学・経済学を学ぶ上で必要な、関数と微分についての知識と計算力を身につける。

## 5 コミュニケーション入門 LM-D-102

Introduction to Communication

必修 2単位 1年前期

**授業の概要:**最初に自分のコミュニケーションについて振り返り、コミュニケーションとは何か、何故行うのかを考えてみる。続いてコミュニケーションの定義とレベル、特徴および複数のコミュニケーションモデルを学ぶ。さらに、言語および非言語メッセージについて学び、それぞれの特徴と重要性を理解する。

**授業の達成目標:**コミュニケーションについての諸理論および特徴について学び、効果的にコミュニケーションを行う方法を学習する。

## 2 会計学入門 LM-B-101

Introduction to Accounting

必修 2単位 1年前期

**授業の概要:**会計情報を読むことを重点とする。実際の企業活動が、会計情報にどのように反映されているのかを学習していく。

**授業の達成目標:**会計情報の良き利用者となるのが目標となる。そのために、会計とは大まかにどのようなもので、どのように役立つ、またどのような限界があるのかを理解していくことになる。

## 4 心理学入門 LM-D-101

Introduction to Psychology

必修 2単位 1年前期

**授業の概要:**本講義では、心理学のさまざまな分野の研究を概説する。特に、“人間の情報処理的側面の理解”、“自己理解”、“他者理解と対人認知”、“心理測定”という4つの項目に焦点を当て、講義を進める。

**授業の達成目標:**以下の4点を理解することを目標とする。

- ①人間がどのようにして外界を理解しているのか
- ②自分をよりよく理解するためにはどうすればいいのか
- ③他人を理解し、良い関係を保つためにはどうすればいいのか
- ④多くの人々の行動や嗜好を調べるためにはどうすればいいのか

## 6 英文法基礎 LM-F-101

Basic English Grammar

必修 2単位 1年前期

**授業の概要:**高校卒業までに必要な文法項目で重要な部分について解説し、問題演習を行う。小テストを数回ごと実施する。

**授業の達成目標:**高校卒業程度の英文法を修得する。

## 7 経営コミュニケーションセミナーI LM-J-101

Management and Communication Seminar I

必修 1単位 1年前期

**授業の概要：**大学での学習、生活一般についての概説と指導から始まり、さまざまな課題を通して、これから4年間経営コミュニケーション学科で学ぶために必要な学習スキル・知識・態度を獲得する。

**授業の達成目標：**①本学科での学習に必要なスキルと心構えを学ぶ。

②4年間の目標を明確にし、就職に対する意識や必要な知識・スキルを涵養する。

## 8 組織心理学 LM-A-102

Organization Psychology

必修 2単位 1年後期

**授業の概要：**本講義では、我々が様々な組織の一員としてよりよく生きるために必要な心理学的知識について解説を行う。具体的には、個人のモチベーション、リーダーシップ、集団力学等を取り上げ、多くの実例を交えながらそれらの概念について学ぶこととする。これによって、自分が所属する組織内での様々な問題に対し、心理学的見地から自分の言葉で考えられるようになることを目指す。

**授業の達成目標：**様々な組織に関わる個人の心理を理解し、それを日常生活や組織経営に役立てられるようになること。

## 9 経済学入門 LM-C-102

Introduction to Economics

必修 2単位 1年後期

**授業の概要：**ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎部分を扱う。上級学年で開講される「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」が本科目の続編となっており、本科目に加えて両科目を履修することにより、学部レベルのミクロ・マクロ経済学の標準的内容が網羅される。

**授業の達成目標：**ミクロ経済学、マクロ経済学の基礎部分を理解する。

## 10 対人コミュニケーション LM-D-203

Interpersonal Communication

必修 2単位 1年後期

**授業の概要：**対人コミュニケーションについての基本的理論の他、自他を尊重するコミュニケーションの方法についての理論的学習と演習を行なう。そして聴き方、話し方についても学ぶ。さらに、異文化、職場を想定したコミュニケーションについて理解を深める。

**授業の達成目標：**対人コミュニケーションに関する理論的知識を実生活に応用できるコミュニケーション能力を養う。

## 11 メディアコミュニケーション入門 LM-E-101

Introduction to Media Communication

必修 2単位 1年後期

**授業の概要：**「メディア論」についての研究史を概観し、古今東西の「広告」について資料などを提示しながら歴史的学習を進めた後に、実際のTVCFなどを紹介しながら映像が持つ時代性について考える。特に「音声」「画像」「動画」についてはその技術的な側面も踏まえる（「映像音響処理技術者資格認定」の取得のための基礎学習）。

**授業の達成目標：**「メディアコミュニケーション」とは何かを学習し、情報伝達のためのシステムとしてのコミュニケーションに関する幅広い知識を活かしながら、古今東西のメディアについて分析を行うことを目標とする。特に「広告」についての学習を通して「音声」「画像」「動画」に代表される表現メディアに触れ、TVCFやプロモーション映像などを広告の観点から考察できる。また技術面での理解を深めるために「映像音響処理技術者資格認定」の取得のための基礎学習を習得する。

## 12 ドキュメントコミュニケーション LM-F-204

Writing and Document Communication

選択 2単位 1年後期

**授業の概要：**ビジネスの場で求められるレトリックコミュニケーション能力を身につけるために、日本語および英語による文書の作成方法を学ぶ。まず、ロジカルな表現方法の基礎を修得し、続いてビジネス現場で日常的に作成する文書の表現トレーニングを協調学習により実践する。

**授業の達成目標：**効果的なレトリックコミュニケーションを行う上での文章の特徴と表現方法について理解を深め、ビジネス現場で活用できる技術を身につける。



### 13 クリティカルシンキング LM-F-103

Critical Thinking

選択 2単位 1年後期

**授業の概要:**ビジネスパーソンに必要な不可欠な論理的思考法、コミュニケーション方法、仮説構築法、問題解決法のベースを学ぶ。前半ではMECEなどの論理的思考法や批判的思考法を教授し、後半ではグループワークでビジネス上直面する架空の課題を取り上げ、取得した情報から仮説を立て、検証し、成果につながる自分自身の主張を相手に納得してもらえるように伝えるために効果的な方法を学ぶ。理論を抑えた上で実践的なワークを通じてトレーニングし、考え方と伝え方のベースを身につける授業である。

**授業の達成目標:**論理的な思考法(ロジカルシンキング)をもとに、批判的な思考(クリティカルシンキング)をすることにより、客観的に相手の意見や情報を捉えてより正しい結論を導き、決断するための力を養う。違和感を感じたり、信憑性が不確かな事柄に対して疑問を持ち、単純に「批判」して終わらせることのないよう、その結論が導き出された前提、目的、根拠を効率的に知った上で正しさを判断し、最善の答えを導き出せるようにする。その際、相手を説得したり、win-win関係に持ち込んだりして人間関係やビジネスに活かすことができる実践的な力をつけることが最終目標である。

### 15 経営コミュニケーションセミナーⅡ LM-I-102

Management and Communication Seminar II

必修 1単位 1年後期

**授業の概要:**経営コミュニケーションセミナーⅠに引き続き、大学での学習、生活一般についての概説を行い、さまざまな課題を通して、経営コミュニケーション学科で学ぶために必要な学習スキル・知識・能力・態度を身につける。

**授業の達成目標:**①将来のキャリアを意識し、自己の目標を設定できるようにすること。  
②能動的に学習を進められる方法、態度を身につけること。

### 17 経営管理論 LM-A-203

Management Policy

必修 2単位 2年前期

**授業の概要:**本講義では、企業の存続と発展の鍵を握る経営者の役割に焦点を当てる。このことを学ぶに当たり、テイラーに始まり、バーナード、サイモン等を経て今日に至る一連の学説を取り上げ、経営管理の捉え方を考察する。さらに、経営者が組織を発展させるために不可欠である変化する環境への適応の問題や、人々から貢献を得るための仕組みとしてのリーダーシップやオーソリティ等の問題についても取り上げ、経営管理の主要部分について理解することを目指す。

**授業の達成目標:**組織を運営する経営者の役割とその重要性を正しく理解できるようにすること。

### 14 統計学入門 LM-H-101

Introduction to Statistics

必修 2単位 1年後期

**授業の概要:**本講義では、統計的資料の見方、記述統計値の意味と算出方法、確率の基礎概念、データのビジュアル化の方法、データ収集の手法、統計的仮説検定の考え方など統計調査の基盤となる考え方を学ぶ。

**授業の達成目標:**現代社会は、さまざまな情報であふれている。このような多くの情報の中から、有用な見解を得るためには、統計的な知識や技術が必要とされる。本講義では、統計学の基礎を習得し、基本的な概念と方法について理解することを全般的な目標とする。さらに、その能力を身に付けた上で様々なデータから、自分の身の回りの問題点や地域社会の問題点を見出し、解決する糸口を考案する能力を身につけることを期待する。

### 16 簿記論 LM-B-202

Bookkeeping

必修 2単位 1年後期

**授業の概要:**簿記特有の専門用語の学習を基礎に、簿記一巡の流れを理解していくことになる。その上で、簿記により作成された会計情報の意味、ならびに限界を学んでいく。

**授業の達成目標:**企業活動の記録が会計情報であるが、会計情報を作成する技法が(複式)簿記である。本講義では複式簿記の基本的構造を理解することが目標となる。具体的には、簿記一巡の処理ができることを目標とする。

### 18 マーケティング論 LM-A-204

Marketing

必修 2単位 2年前期

**授業の概要:**今日、マーケティングは、ビジネス活動を行う企業はもちろんのこと、自治体やNPOにおいても欠くことの出来ない存在となっている。経営関連の科目の中で唯一、市場・消費者を分析対象としているのが「マーケティング論」である。誰もが消費者という立場で毎日、「何をいくらで買うか」という意志決定を行っているため、当事者として製品やサービスを考えることが出来るだろう。一方、企業や組織は、市場や社会に受け入れられ存続していくためにマーケティング戦略を用いている。企業や組織がどんな工夫(=マーケティング)をしているかを学習する。

**授業の達成目標:**本講義ではビジネスの現場で必要とされるマーケティングの考え方を身につけることを目標とする。マーケティングの概要、マーケティングの要素といったマーケティングの基礎を理解した上で、講義で紹介する概念やフレームワークを実際のビジネス・シーンに応用する力をつける。



## 19 キャリアプランニング LM-D-204

Career Planning

選択 2単位 2年前期

**授業の概要：**本講義では、以下の3点を中心に学習する。  
①職業選択やキャリア発達などのキャリアに関する理論  
②キャリアプランニングを実施する上で必要な能力及び知識の修得  
③職場でのメンタルヘルス将来的に、ここで学んだ知識を、自らのキャリア選択や、就職後のよりよい職場環境の構築などに生かせるようになることが目標である。

**授業の達成目標：**キャリア（カウンセリング）に関する理論を学ぶと共に、将来の進路選択および、日常生活の中で応用できるようになること。

## 21 ICT入門 LM-G-101

Introduction to ICT

必修 2単位 2年前期

**授業の概要：**コンピュータや情報システムが社会においてどのように活用されているかを概観した後に、その基本的な構造を学ぶ。その上で、組織において情報システムを計画・導入・運用するうえでの基本的な事項についても学ぶ。講義形式で行う。プログラミングは行わない。

**授業の達成目標：**コンピュータ、情報システムの基本的な仕組み・機能、情報システムの計画・導入・運用の基本的な事項を学ぶことにより、社会においてコンピュータ、情報システムを活用できるための基礎力を身につける。

## 23 経営コミュニケーションセミナーⅢ LM-J-203

Management and Communication Seminar Ⅲ

必修 1単位 2年前期

**授業の概要：**少人数学習を中心とし、その他キャリアプランニングを支援するための講義なども行う。

**授業の達成目標：**本講義の達成目標は以下の4項目である。  
①論理的文章を理解する能力を身につける。  
②要約して人に伝える力を身につける。  
③人の話を聞く力を身につける。  
④人の話に対して自分の意見を述べる力を身につける。

## 20 イングリッシュコミュニケーション LM-F-102

English Communication

選択 2単位 2年前期

**授業の概要：**共通のテキストを使用し、基本的コミュニケーション場面でのコミュニケーションの練習を行う。基本表現の学習と表現を使った会話の練習を行う。さらに、オリジナルの会話を作成して対人コミュニケーションの演習を行う。

**授業の達成目標：**グローバル社会で共生するために必要とされる英語コミュニケーションの基本的能力を習得する。特に、リスニング、スピーキングといったオーラル・コミュニケーションスキルに重点をおき、主なコミュニケーション場面でのやりとりができるようになる。

## 22 地域創生論 LM-I-101

Regional revitalization

必修 2単位 2年前期

**授業の概要：**社会の様々な分野で市民が主役となり社会的な役割を担って現代社会の問題を解決しつつある。そこで本講義では、市民活動が活発になってきた背景とその活動をみながら持続可能な社会のあり方を考える。また、地域創生には、地域の企業や行政の役割も大きいことは言うまでもない。それらとの協働のあり方を考察し、さらに地域の文化と経済のかかわりとの関係から地域創生のあり方を理解できるようにする。

**授業の達成目標：**地域創生の現状を知り、地域社会を積極的に改善するための基礎知識を得る。そのために、地域と宮城や、地域と仙台において、仙台・宮城・東北地方の地域や社会における課題に直接関わっている方々をお招きし、市民・行政・企業それぞれの立場から地域創生と自身が担ってきた役割についてお話いただき、その内容についてグループディスカッションを通じて理解を深める。

## 24 財務会計論 LM-B-303

Financial Accounting

選択 2単位 2年前期

**授業の概要：**財務会計に関する知識（財務諸表の体系や内容）を取り扱う。具体的には、財務諸表がいかに作成され、どのように公開されていくのかを理解する。その上で、財務諸表を利用した経営分析指標についてその利用と限界について理解を深めていく。

**授業の達成目標：**財務会計の体系や内容について理解することを目標とする。この知識を活かして財務情報（会計情報）の良き理解者、利用者となれる能力を養う。

## 25 ミクロ経済学 LM-C-203

Microeconomics

選択 2単位 2年前期

**授業の概要：**「経済学入門」の続編として、ミクロ経済学の初級部分の概説を行う。途中2回の問題演習の回を設け、知識の定着をはかる。

**授業の達成目標：**初級のミクロ経済学の概要を理解する。前年度に学んだ「経済学入門」の内容と合わせて、消費者行動理論と生産者行動理論の全体像を捉える。

## 26 データ分析 LM-H-202

Analysis of Data

選択 2単位 2年前期

**授業の概要：**確率変数の基礎、正規分布の基礎を学んだ後、平均値の検定、推定、差の検定を学ぶ。平均値の検定、推定、差の検定を学ぶにあたっては、現実の問題に正しく適用できることを重視し、基本的考え方を学ぶとともに、Excelの関数やデータ分析を活用して実際の問題を解くことも重視する。Excelの関数やデータ分析の使用法に関しても本科目において学ぶ。

**授業の達成目標：**推測統計学の基本的考え方を学ぶとともに、推測統計学の最も基本的な応用である平均値の検定、推定、差の検定に関し、Excelを利用して現実の問題を解決できる力を身につける。

## 27 社会調査 I LM-H-203

Social Research I

選択 2単位 2年前期

**授業の概要：**社会調査の初歩的な分析と資料作成ができるレベルを目指す。

**授業の達成目標：**社会調査の意義と諸類型に関する基本的知識を習得することを目的とする。社会調査史、社会調査の目的、調査方法論、調査倫理、調査の種類と実例、観察法（参与観察・非参与観察・ビジュアル分析）などについて解説し、資料やデータの収集から分析までの過程に関する基礎的な事項に重点をおく。

## 28 イノベーション政策論 LM-A-206

Innovation policy

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**知的財産に関する各種の法律論を理解するための講義を実施し、その後、主な法律については、事例研究として判例等を取り上げて、法律の解釈の仕方も含めて学ぶと共に、企業における知的財産への関わりについても随時触れて行きます。また、適宜に復習を兼ねた小テストを実施した後に、解答例を基にしてさらに深掘りした解説をすることにより、知的財産に関する知識をより深く理解して身に付けて行きます。その後、国が進める科学技術イノベーション政策の概要を解説し、それを受けて企業が経営をどのようにデザインするのかを知的財産の役割との関係で紐解きます。実務経験のある講師により実践的な授業構成とする。

**授業の達成目標：**国が進めている「イノベーション政策」によって、わが国産業が再び競争力を取り戻すためには、知的財産に関する法律や知識をより深く理解して、経営戦略・事業戦略と知的財産戦略をしっかりと紐付けて事に当たることが肝要と考えられています。そのために、本授業では①知的財産とは何かについて理解すること、②知的財産の創造・保護・活用の管理ができる知識を有すること、③国が進める科学技術イノベーション政策とは何かについて理解すること、を達成目標に掲げています。そして、知的財産に関する理解や知識を身に付け、これからの実務（技術開発力、デザイン力、経営管理力 etc.）に活かし、産業技術力や経営デザインの強化を担える人材になって欲しいと思います。

## 29 経営コミュニケーション学総合演習 I LM-I-202

Management and Communication Integrated Study I

選択 1単位 2年後期

**授業の概要：**地域創生のために活動している団体と連携しながら、地域創生のための課題および何ができるかを考え、現地調査、グループワークを通じて、提案としてまとめる。

**授業の達成目標：**経営コミュニケーション学総合演習Ⅱと一体となって、地域創生論での学習内容をもとに、地域創生のために活動している団体と連携し、実際に地域創生のための提案をまとめることにより、地域創生策の立案力を養成する。経営コミュニケーション学総合演習Ⅰでは、課題設定までを行う。

## 30 経営コミュニケーションセミナーⅣ LM-J-204

Management and Communication SeminarⅣ

必修 1単位 2年後期

**授業の概要：**少人数学習とキャリアプランニングを支援するための講義等を行う。

**授業の達成目標：**①論理的文書を理解する力を身につける。  
②要約して人に伝える力を身につける。  
③人の話を聞く力を身につける。  
④人の話に対して自分の意見を述べる力を身につける。

### 31 経営組織論 LM-A-205

Business Organization

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**本講義では、企業、学校、病院、NPO等様々な組織を取り上げ、それについて考察していく。企業をはじめとする様々な組織は、営利の追求や理念の達成等の目標に向かって日々活動している。しかしそれらは社会と関わりながら活動している以上、人間性や社会性、公共性を無視して繁栄することはできない。こうした問題意識のもと、組織の構造と機能を正しく理解し、将来社会人として自らが組織で担うべき役割を学ぶことを目指す。

**授業の達成目標：**様々な組織の構造と機能を正しく理解し、それを自らが所属している組織に応用できるようになること。

### 33 マクロ経済学 LM-C-204

Macroeconomics

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**「経済学入門」で履修した内容の続編として、マクロ経済学の初級部分の概説を行う。途中2回の問題演習の回を設け、知識の定着をはかる。

**授業の達成目標：**財市場・貨幣市場・労働市場の同時均衡の仕組みを理解でき、財政政策や金融政策の影響を論ずることが出来るようにする。

### 35 映像・イメージ学 LM-E-202

Film Study and Theory of image

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**映像やイメージについての概略を解説する。映像制作のワークフローに従ってプリプロダクションからポストプロダクションまでの一連の流れをシミュレーションする。実際に企画立案と実現を目指して、グループワークをおこなう。講義形式のセクションとグループワークのセクションにわかれており5分程度のショートムービーの作成を試みる。なおこの講義は実践をとまなうもので、講義以外の作業時間が必須であることを確認の上、履修すること。

**授業の達成目標：**この講義は、1年次必修科目「メディアコミュニケーション入門」の講義内容をより実践的に展開する。「映像(動画)」と「写真」がメディアであることへの理解を前提として、具体的な映像制作をおこなうための企画立案と、制作のための知識と技術を習得することを目標とする。その過程において、企画実現に向けて必要な手続きの仕方やドキュメントの作成など、映像制作に関わる周辺領域についての知識と経験を蓄積する。

### 32 財務管理論 LM-B-304

Financial Management

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**財務会計情報と管理会計情報を基礎として、原価管理、資金管理、利益管理を学習し、資本調達管理及び資本運用管理まで学習していく。

**授業の達成目標：**財務管理の基礎理論を理解し、体系的な理解の上に、複式簿記や会計と融合した経営管理手法を修得する事が目標である。

### 34 環境経済学 LM-C-305

Environmental Economics

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**現代の環境問題は複雑で、我々が環境汚染の被害者にも加害者にもなりうる可能性がある。このような環境問題への対処として、これまでは法規制によってその対策が行われてきた。しかし、それだけでは我々の社会経済を持続可能な社会へと変化させていくことは難しい。そこで、本講義は、まず、環境問題への対応として経済学の理論的展開について講義する。次に、具体的な問題への政策について講義する。これらを踏まえ、持続可能な社会の構築のため、環境経済学の果たす役割について考えていく。

**授業の達成目標：**我々の生活を取り巻く様々な環境問題(例えば、大気汚染、土壌汚染、廃棄物リサイクル、地球環境)の発生背景を理解し、持続可能な社会作りのための多様な政策手法について、理論・実際両面からの理解を深める。

### 36 パブリックスピーチ LM-F-205

Public Speech

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**本講義では、聴衆に対してスピーチをする際の、発声、発音法、姿勢、伝え方、非言語コミュニケーションの効果的な使用法、聴衆を前にした際の心理面のコントロールについて学ぶ。

クラスを2つに分け、1クラスはこのシラバス通りに進み、もう1クラスは第1回目の後、第9回～第15回目の内容を先に学習し、続いて第2回～第8回の内容を学習する。

**授業の達成目標：**聴衆に対する効果的なスピーチ(日本語・英語)の仕方と準備法を身につける。

### 37 社会調査Ⅱ LM-H-304

Social Research II

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**量的調査において、調査票調査を中心に、関連する統計学的知識について講義する。質的調査において、既存文献の検討・インタビュー調査についての基礎的事項を講義する。量的調査・質的調査それぞれの知識を習得するため、小テストを実施する。地域研究フィールドワークにより社会調査のプロセスを体験する。

**授業の達成目標：**前半は、社会調査の類型論（量的・質的、直接的・間接的）について解説する。後半は、調査の進行プロセスに沿って体験しながら、「調べ」「読み」、「分析」したものを「書く」という社会調査の方法を身につける。技術的な意味でさまざまな分析アプローチを使えるようになるだけでなく、調査行為そのものについての再帰的な思考に習熟することが最終的な目標である。

### 39 経営コミュニケーション学総合演習Ⅱ LM-I-203

Management and Communication Integrated Study II

選択 1単位 3年前期

**授業の概要：**宮城県や仙台市などのフィールドで地域創生のために活動している団体と連携しながら、実際に地域創生策を検討して提案を作成する。

**授業の達成目標：**経営コミュニケーション学総合演習Ⅰと一体となって、地域創生論での学習内容をもとに、地域創生のために活動している団体と連携し、実際に地域創生のための提案をまとめることにより、地域創生策の立案力を養成する。  
経営コミュニケーション学総合演習Ⅱでは、経営コミュニケーション学総合演習Ⅰでの課題設定に基づき、提案作成（含む、プレゼン）までを行う。

### 41 経営コミュニケーションキャリアセミナーⅠ LM-D-309

Management and Communication Carrier Seminar I

必修 1単位 3年前期

**授業の概要：**ホームルーム／キャリアアップ・レクチャ／スタディ・スキル／インターンシップの4カテゴリーから進路開拓に必要な内容を修得する。

**授業の達成目標：**キャリアアップ・レクチャ／スタディ・スキル／インターンシップを通じ、自らの進路開拓ができるようになる。

### 38 ネットワークとビジネス LM-G-202

Network and Business

選択 2単位 2年後期

**授業の概要：**インターネットが生まれた背景を学ぶと共に、インターネットの各プロトコル階層の役割を学んだ後、インターネットを活用したビジネスについて学ぶ。また、情報セキュリティマネジメントについても学ぶ。

**授業の達成目標：**インターネットの普及により、時間と場所の制約を超え、膨大な情報の活用が可能となり、インターネットを活用したビジネスも生まれている。本授業では、社会において情報通信ネットワークを活用するための基礎を学ぶ。

### 40 経営コミュニケーション概論Ⅰ LM-J-305

Management and Communication Studies I

必修 1単位 3年前期

**授業の概要：**各学生が所属する研究室の目標、研究領域に親しむ。進路開拓に必要なスタディスキルや知識を学ぶ。毎回の授業では、文献講読をもとに、発表や議論を行い、卒業研究に対応できる知力を高めていく。

**授業の達成目標：**①自らの研究領域に関わる専門知識を深め、問いを立てる力、分析する力、考える力、判断する力、創造する力、発表する力を養う。  
②自己の行動に対するマネジメント、教員・学友とのコミュニケーション、ならびに文献・データ等の整理といった社会に出てから必要なスキルの基本を身につける。

### 42 経営戦略論 LM-A-307

Business Strategy

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**今後、企業の競争の激化が予想される。そのような状況下では、これまで以上に企業にとって経営戦略を意識し、活用していく必要がある。そこで、この授業では経営戦略論に関する代表的なテキストを基に主要な理論・フレームワークを学習し、実際の事例に応用することができるようになることを目指す。

**授業の達成目標：**経営戦略の理論を身につける  
①経営戦略の理論について、自ら説明することができるようになる。  
②経営戦略論理論について、実際の事例に応用することができるようになる。



### 43 日本経済論 LM-C-306

Japanese Economy

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**授業の前半は戦前・戦中から戦後の日本経済史を扱い、中盤以降は現代日本の抱える種々の問題をフォーカスする。

**授業の達成目標：**第二次世界大戦敗戦後の焼け野原から今日の経済大国まで発展した日本経済の成長の理由と、バブル崩壊以後の低成長経済から抜け出せずにいる日本経済の現状を理解し、次の時代における日本経済の可能性と戦略を展望する。

### 44 中小企業会計論 LM-B-405

Small and Medium-sized Accounting

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**講義では、中小企業会計制度の歴史的な経緯を解説した上で、中小企業会計要領の具体的中身について理解を深める。さらに中小企業会計の制度的・実践的課題を検討し、国際的な動向も解説する。

**授業の達成目標：**本講義の目標は、国内外の中小企業会計をめぐる動向を踏まえ、わが国の最新の中小企業会計基準（中小会計要領）を理解することにある。合わせて、中小企業にとって会計情報が有用であることを理解することにある。

### 45 異文化コミュニケーション LM-D-306

Intercultural Communication

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**前半の授業は、「異文化コミュニケーション」の定義の共通認識から始め、そのコミュニケーションを学ぶことにより、人間が社会でどう豊かに生きられるかを学ぶ。自己の文化についての理解と考えを深めると同時に、他者がもつ多様な価値観をどのように認識するかを演習を通じて実践的に学ぶ。他者の異なる価値観を認めながら、どのように自分を表現するかについてはロールプレイを活用して学習者相互から学んでいく。後半の授業では、これまでに学んだ異文化コミュニケーションのスキルを「経営」に活かして成果を得ていく演習を行う。毎回異なるメンバーと学習グループになってファシリテーション会議を行うことにより、異文化コミュニケーションの力をいっそう高められる。

**授業の達成目標：**「異文化」とは外国文化だけを指すのではなく、自分以外の人はすべて異文化だと定義される。今日のグローバル社会で、日本人を含む多様な価値観をもつ人々と協調・協働して生きていくために必要な「異文化コミュニケーション」の知識を身につけ、必要なコミュニケーションの技術を学び、「多文化共生社会を実現できる人」になることを目指す。

### 47 映像心理学 LM-D-305

Psychology of Visual Image

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**この講義では、映像を認知する際の人間の心の仕組みを認知心理学の研究を中心に学んでいく。具体的には、映像を見るのに必要な人間の基礎的な情報処理能力から始まり、映像が人間の心理側面に与える影響まで、人間と映像に関わる複数のテーマについて学習する。

**授業の達成目標：**情報技術の発達により、情報伝達や表現のために文書や音声だけでなく、映像が用いられることが多くなった。この講義では、映像の認知に関与する人間の情報処理過程を学ぶことで、マルチメディアを情報伝達手段に用いる効果的な方法を考える力を身につける。

### 46 ビジネスイングリッシュ LM-F-306

Business English

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**ビジネス通信（手紙、FAX、電子メール）の基本を学び、社交関係、雇用関係、取引関係のビジネス文書を実際に作成する。ビジネス英語検定3級の問題にも取り組む。

**授業の達成目標：**ビジネス通信（手紙、電子メール）の基本、社交関係の英語（面会の申し入れ、ホテルの予約、慶弔など）、雇用関係の英語（履歴書、応募の手紙など）引き合い、オファー、クレームの調整のビジネス文書を作成できるようになる。また電話での会話に習熟する。ビジネス英語検定3級合格程度の実力をつけることを目標とする。

### 48 データベースと経営 LM-G-203

Database and Management

選択 2単位 3年前期

**授業の概要：**データベースの基本的な役割、活用事例を概観した後、データベース設計の基礎となるデータの正規化について学び、それを発展させ、組織活動を管理できるデータベースの設計に不可欠な概念データモデルを学ぶ。

**授業の達成目標：**現代社会では、データベースは組織活動の実践の上でも、また、管理のためにも不可欠である。本科目では、そのためのデータベースの基礎を学ぶ。



## 49 映像制作実習Ⅰ LM-E-303

The Practice of Film Making I

選択 3単位 3年前期

**授業の概要：**映像で表現するためのコミュニケーションの構造や映像の原理（映像の文法）などを確認する。制作プロセスにおいては、役割分担を明確にすることで、一つの成果に対して自分がどのように貢献すべきか、あるいは作業工程の管理をどのようにおこなうかなど、ワークフロー全体に目を配りながら制作をおこなう。

**授業の達成目標：**グループワークにより、5分から10分程度の映像を制作することを目標とする。写真を含む映像の歴史を確認しつつ、その特徴を把握した上で実際に映像を制作する。2年次選択科目「映像・イメージ学」でシミュレーションしたことを実践すること、知識だけではなく積極的な姿勢で制作することを念頭に、コミュニケーションの一つである映像の可能性を探る。

## 51 経営コミュニケーションキャリアセミナーⅡ LM-D-310

Management and Communication Carrier Seminar II

必修 1単位 3年後期

**授業の概要：**ホームルーム／キャリアアップ・レクチャ／スタディ・スキル／インターンシップの4カテゴリーから進路決定に必要な内容を修得する。

**授業の達成目標：**キャリアアップ・レクチャ／スタディ・スキル／インターンシップを通じ、自らの進路決定ができるようになる。

## 53 国際経済論 LM-C-307

International Economy

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**現代世界は1980年代以降、とりわけ1990年代以降に進行したグローバル化下にある。これは国際資本移動と国際貿易の動向にもっともよく現れている。本講義では、この動向を理解するための基礎的な知識を修得するとともに、現代世界経済のアウトラインを把握し、現代世界が抱える問題について理解することを目指す。

**授業の達成目標：**現代世界経済における国際貿易・国際資本移動の基本的特徴を把握する。現代世界経済のアウトラインを理解する。

## 50 経営コミュニケーション概論Ⅱ LM-J-306

Management and Communication Studies II

必修 1単位 3年後期

**授業の概要：**各研究室の特徴を活かした学習活動を行う。関連文献の輪講、実験、実習、ディスカッションなどを通じて、自らが行き届く卒業研究のテーマを明確にし、それについてのプレゼンテーションを行う。また、研究の遂行に必要な、研究の現状把握、課題の抽出、社会のニーズに基づいた問題の解決の方法など体得する。さらに、進路開拓に必要なスタディスキルや知識を学ぶ。

**授業の達成目標：**卒業研究テーマを決定する。自己の研究領域における専門知識や技能の基本を総合的に修得する。4年次に、1年間という長い期間をかけて一つの事を最後までやり遂げるために惜みない努力ができる意欲や知力を高める。一連の活動を通じ、プレ社会人として自ら考え、行動する能力を養う。

## 52 人的資源管理論 LM-A-308

Human Resource Management

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**本講義は経営者側の視点から従業員の能力を引き出すマネジメント手法を学習するが、学生諸君は働く者の視点を大切に、現実社会の多様な職場環境、つまり自分自身がこれから置かれる状況と置き換えて社会に出る覚悟をして欲しい。毎回、講義形式で理論を教授した後、受講者を経営者と労働者の立場で2グループに分け、ディスカッションを行う。今後どのように自分の人生、キャリアを切り開いていくのかを考え、社会に柔軟に対応できる考え方を身につけること。

**授業の達成目標：**自治体、地域、企業等の組織が有する課題を認識し、その構成員である人がよりよく生きるためには、さまざまな働き方と働く環境を十分に知る必要がある。一方で、経営者はひとりひとりの従業員が能力を最大限に発揮できる職場環境を整え、業績を向上させるマネジメントをしなければならない。企業の持つ経営資源の中で最も大切な「人」を、コストではなく「人的資源」と捉え、モチベーションや能力を高める方法を学習する。これにより、地域を支えるヒト・モノ・カネ・場・情報を最適に配置し、地域の課題を解決して発展につなげることを意図した人的資源管理を行えるようにする。

## 54 組織の経済学 LM-C-308

Organization Economics

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**本講義の目標は、経済学の「効率性」、「衡平性」などの基本的な理論を学び、企業組織や人事労務制度について経済学的分析方法を涵養することにある。これら基本的な、「ものの方」、「考え方」を養うことは、将来、職業人として重要な論理的思考力となりうる。本講義はいわゆる「就業力」の育成にもきわめて有用である。

**授業の達成目標：**ミクロ経済学では、企業は市場取引の重要なファクターとして役割を担い、企業行動として分析の対象となっている。一方、企業内取引などの非市場取引や系列などの企業間関係、あるいは企業の人事労務などはこれまで分析の対象となることはほとんどなかった。そうした中、1980年代以降、「取引費用理論」、「不完全情報」、「契約理論」や「所有権理論」といった分析ツールが普及するにつれ、企業組織、雇用や労務といった分野も経済学的な分析対象とされるようになった。本講義では、これらの理論の基礎と分析方法の基礎を学ぶ。

## 55 メンタルヘルスケア LM-D-307

Mental Health Care

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**現代、日常生活を送る中で、様々なストレスが存在する。このようなストレス社会を生きていくためには、自分にかかるストレスを十分に理解し、さらにはその対処法を知っておく必要がある。本講義では、身近な精神的ストレスおよびそれが原因として生じる症状に焦点を当て、その対策やケアの方法を学習する。さらに、ストレス軽減のための心身のストレスマネジメントやストレスに強くなるためのコーピングスキルを心理学的立場から学習する。

**授業の達成目標：**本講義の目標は以下の3点である。

- ①日常生活の中での心の病に関する理解を深めること。
- ②この講義で学んだ知識と対処法を実生活に活かせるようになること。
- ③組織におけるストレスマネジメントやメンタルヘルスに関する取り組みについて学ぶこと。

## 57 映像制作実習Ⅱ LM-E-304

The Practice of Film Making II

選択 3単位 3年後期

**授業の概要：**40分程度の映画を制作するために、映像制作のワークフローに従ってプリプロダクションからポストプロダクションまでを実習する。作品については以下の点を踏まえたものとする。

- ①ロケ地を学内に限定しないこと。
  - ②キャストを幅広い年齢層などで構成する。
  - ③綿密な計画書を実現するためのプリプロダクションをおこなう。
  - ④撮影前に撮影スケジュールを確定させ、工程表を作成する。
- \*実習時間以外に多くの時間を必要とすることを理解しておくこと。

**授業の達成目標：**この講義は3年次選択科目「映像制作実習Ⅰ」を前提として、40分程度の映画を製作することを目標とする。テーマを設定し、内容が伝えられることを念頭に「コミュニケーションとしての映像であること」を実習の主目的とする。

## 59 経営コミュニケーション研修Ⅰ LM-J-407

Management and Communication (Graduation) Thesis Writing I

必修 2単位 4年前期

**授業の概要：**卒業研究に取り上げるテーマに関する専門性を高め、新規性、有効性のある研究テーマを明確にするための研究活動を行う。

**授業の達成目標：**各人の問題意識に沿った卒業研究の構想をまとめる。一連の研究活動を通じて専門分野に関する知識を深め、研究の具体的な方法と発表の技術を修得する。

## 56 交渉学 LM-D-308

Negotiation Studies

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**アサーティブ・ネゴシエーションの根底には、臨床心理学の理論があり、交渉ができる自分になるには、どう自分の感情を扱っていくかを学ぶ。さらにそれらの理論をもとにコミュニケーションの取り方の技術を学び、毎回の授業で学習者相互の交渉トレーニングを行う。ロールプレイによる交渉練習がメインであり、学習者からのフィードバックを受けることでさらにスキルの向上を目指していく。また潜在的な問題解決力を引き出すコーチングの技術を活用する。教室で学んだアサーティブ・ネゴシエーションスキルを、身近な日常の場面で活かし、それを授業で共有することにより、活用の仕方の幅を広げる。最終レポートには日常の対人関係で活用した内容と得られた成果を記述する。

**授業の達成目標：**交渉相手を言い負かすネゴシエーションではなく、良好な関係構築・情報交換・相互理解により、問題解決に導いていく交渉技術を知識として修得する。その知識をもとに、交渉相手と自分の双方を尊重しながら、協力して問題解決していく話し合いが無理なくできるようになる。身近な日常の場面での交渉から、ビジネスの現場で役立つ交渉まで、あらゆるシチュエーションにおいて、自尊心と相手への敬意を持ち続けられる良好な交渉スタイルを、自ら構築できるようになる。

## 58 情報システム学 LM-G-304

Theory and Practice of Information Systems

選択 2単位 3年後期

**授業の概要：**現代社会における情報システムの役割を事例を中心に学んだ後、テーマ別にグループに別れ、グループワークにより情報システムの活用計画を策定する。少なくとも、「ネットワークとビジネス」「データベースと経営」のいずれかを履修していることが望ましい。

**授業の達成目標：**現代社会は情報システムなしでは成り立たない。組織運営の合理化のために情報システムが欠かせないだけでなく、情報システムを活用した様々なビジネスが生まれている。本科目では、組織において情報システムの活用を立案できるための基礎を学ぶ。

## 60 ビジネスロールプレイング LM-A-409

Business Role Playing

選択 2単位 4年前期

**授業の概要：**営利企業に限らず、あらゆる組織が組織のミッションを達成するために活動を行っている。また、それらの活動においては必ず他組織との関わりが発生し、取引を進めたり連携を図るために普段からの良好な関係構築と適切なコミュニケーション、さらにネットワークの拡大が必要となる。自組織内で自らの役割を果たすだけでなく、他組織との関わりの中でどのようにコミュニケーションを取り、交渉し、関係を築き上げていったらよいかを学ぶ。その方法として講義で適宜理論を紹介する。学生諸君はそれらを活用する形でグループワークに参加する。各自はこの講義を通して演じる1役を選び、それぞれが自組織内の役割に基づき他組織と交渉や連携をすすめるバーチャルな産官学連携を体験する。

**授業の達成目標：**地域資源（ヒト・モノ・カネ・情報）を総合し、地域・産業・技術のイノベーション展開を実現するための組織・協働システムとして産官学連携を想定したrole-playing（グループワーク）を通し、組織のミッションを遂行する上での個人の役割、組織内での情報共有、外部組織との円滑なコミュニケーション及び取引を体験し、組織内外で起こる諸問題に対応するための適応力を養う。本講義は地域や宮城県をフィールドに学生諸君がさまざまな組織の一員を演じ、これまで学んできた経営関連講義とコミュニケーション関連講義の両方の知識を総動員して「どう動いたら自組織や相手組織にとって望ましい結果につながるか」を実践的に学ぶ。

## 61 法と経済学 LM-C-309

Law and Economics

選択 2単位 4年前期

**授業の概要:**本講義では、まず、法の経済学の考え方を紹介する。それぞれ各回のテーマについて経済学の理論との関係を解説していく。必要に応じて、各回のテーマについてその意義を検討するため、当該テーマの基礎となる設問を提示し、検討していきたい。公務員試験を受験する学生にとっては、ミクロ経済学の入門部分が重なっている所があるので試験対策の一助となる。

**授業の達成目標:**法と経済学は、法制度や法現象を、経済学の視点から分析する学際的分野である。本講義では、ミクロ経済学の基礎理論を用いて、法と経済学の基本的な考え方を習得することを目標とする。さらに、法制度や判例がもつ経済学的意味を習得しつつ、経済学の法学への導入がもつ可能性と限界を把握することも併せて目標とする。

## 63 コーチング LM-D-410

Coaching

選択 2単位 4年前期

**授業の概要:**コーチングは、人間の能力を引き出すことに優れた人のコミュニケーションの特徴—自分のやり方を押し付けない、指示命令を最小限に、話をよく聴く、相手の存在を尊重する—などを体系的にまとめ、科学理論に裏付けられたコミュニケーション・スキルである。それらを知識として覚えるだけでは活用できない。実際に活用できるようになるために実践的トレーニングをほぼ毎回行う。相手を尊重するとはどのようにすることなのか、指示命令によらず人を動かすにはどのようにすることなのか等を、コーチングのコアとなる傾聴・質問・承認のスキルを中心に学ぶことによって体得していく。授業で得たことを、すぐに日常生活で活用することによりスキルを向上させる。半年継続することにより、国際的にも通用するコミュニケーション力、リーダーシップなどの人間力を高めていくことができる。

**授業の達成目標:**近年の企業で必要とされるのは、自らのモチベーションによって行動を起こし、自らを評価し、成果を継続的に出していける人材である。経営の質はそのような人材の育成により高まる。いま経営の職務遂行能力の一つとみなれさせているコーチングは、一人ひとりの人間の可能性を信じ尊重することにより、主体的な人材育成を可能にするコミュニケーション・スキルである。この授業では、個々の人間に合ったコーチング・コミュニケーションを学ぶことにより、相手の可能性、能力、やる気、自発的行動などを引き出すスキルを修得する。

## 65 ICTビジネススキル LM-G-405

ICT Business Skills

選択 2単位 4年後期

**授業の概要:**ビジネスの現場における文書の目的は「文書という手段を用いて相手に納得してもらおう」ことである。単に文章力や専門知識があれば達成されるものではなく、「自分自身が組織の一員であることへの理解」、「相手を不快にさせないマナーの理解」など、その前段階にある「社会人としての心構え」が求められる。本講義では、社会人としての文書の基本を理解・実践するために必要な、社会人としての考え方・文書マナー・簡潔に伝える文章力について講義する。項目毎に事例を用いて解説する。学生は文書作成に取り組み、ビジネス文書の種類と書式について実践的に学ぶ。ビジネスの現場で用いられるソフトウェアを活用し、文書・資料作成技能（ビジネス文書検定2級程度）の修得を目指す。

**授業の達成目標:**ICTをビジネス・コミュニケーションの手段として活用し、ビジネススキル（ビジネス文書）の基本的知識と技能（表記・表現・実践）を修得することを目的とする。

## 62 身体表現研究 LM-D-409

Studies of Performance and Arts

選択 2単位 4年前期

**授業の概要:**身体を用いるコミュニケーションを中心に、対人関係における発話法や複数の対処法等を、理論を通して実践的に学ぶ。

**授業の達成目標:**コミュニケーションについての実践的な講義である。身体の使い方や発声、呼吸法等を行いつつ、エチュードなどを通して、コミュニケーションと身体表現との関係を理解する。

## 64 経営コミュニケーション研修Ⅱ LM-J-408

Management and Communication (Graduation) Thesis Writing II

必修 4単位 4年後期

**授業の概要:**卒業論文完成に必要な文献調査、資料収集、研究テーマの具体化、実験などを発展させる。論証あるいは実験に裏付けられた卒業論文を完成させ、研究成果を学内で発表する。

**授業の達成目標:**経営コミュニケーション研修Ⅰで得られた構想に基づいて研究を発展させ卒業論文を完成させる。研究計画立案・遂行を通じて自己管理能力を修得する。また研究室での共同作業を行う能力やコミュニケーションの能力を高める。

## 66 チャレンジアブロードプログラム LM-K-001

Challenge Abroad Program

選択 4単位 1年前期～4年後期

**授業の概要:**1. 事前研修—海外での生活、ホームステイ、英会話、プロジェクト・ワークについての事前指導と準備。  
2. 海外研修—海外の語学学校での語学研修に参加し、英語レッスンに加えて、プロジェクトワークをする。帰国後は報告書の提出が必須。

**授業の達成目標:**1. 事前研修において海外で研修をするために必要な基本的知識とスキルを身につける。  
2. 海外研修で異文化理解を深め、コミュニケーション能力の向上を図る。



## 67 経営コミュニケーション特論「NPO経営論」 LM-X-001

選択 2単位 1年前期～4年後期

**授業の概要：**NPOとは、非営利で社会貢献活動や慈善活動を行う市民団体のことです。今回はNPOの中でも事業活動によって地域社会が抱える問題の解決をめざす団体を題材に、彼らの発想力、問題解決能力、事業構想力から、受講生各自の今後のキャリア形成や生き方のヒントを探っていきます。講義&事例紹介と、ゲスト講義、そして、グループワークを組み合わせ、ソーシャゲスト各団体に対して、社会問題解決のための独自の事業プランを共同で立案してもらいます。

**授業の達成目標：**NPO（非営利活動）の経営者（代表者や事務局長等）の課題意識や理想とする社会像、経営手法にふれることで、地域社会の問題への関心を深めるとともに、その問題解決に主体的に関わろうとする意欲を高め、また自分なりの実践的な哲学や世界観を形成することを目標とします。さらに、他の受講生とのグループワークを通じたコミュニケーション力の向上、事業計画の共同作成を通じた企画力、調査力、チームワーク力などの養成をめざします。

## 68 経営コミュニケーション特別課外活動Ⅰ LM-X-002

Extracurricular Activities in Management and Communication

選択 1単位 1年前期～4年後期

本学科の専門に関連の深い資格取得、検定等の合格、および学科が指定する課外活動に対して本人が単位申請を行った場合、学科で審査の上、専門科目（経営コミュニケーション特別課外活動）もしくは教養教育科目（特別課外活動Ⅰ・Ⅱ）として専門科目、教養科目それぞれ最大4単位の範囲内で単位認定を行う。

### 1. 資格の取得による単位認定

本学科の専門に関連のある資格を取得した場合、あるいは検定に合格した場合は「経営コミュニケーション特別課外活動」か、教養教育科目の「特別課外活動」のいずれかに申請できる。どちらの科目に申請するかは本人が選択することとする。どのような資格や検定が「経営コミュニケーション特別課外活動」の対象となるかは学科が個別に判断するが、代表的なものとして下表を参考とすること。

### 2. 集中講義や学外講演会などへの参加による単位認定

認定対象となる集中講義や講演会、オープンカレッジなどがある場合は、開催日時および申請方法を事前にガイダンスするので、申請希望者は随時申し込むこと。

### 3. 単位認定の申請および認定単位

認定を希望する学生は、学科事務室に申し出て「経営コミュニケーション特別課外活動単位認定申請書」を受け取り、必要事項を記入して、申請する場合は教務学生課又は長町キャンパス事務室へ提出すること。申請は毎学期末（7月末、1月末）とする。

資格取得または検定等の主な認定例

資格等名称	単位
日商簿記 3級	1
TOEIC 500点以上	1
ビジネス英検3級	1
映像音響処理技術者	1
ITパスポート	1
日商簿記 2級	2
TOEIC 600点以上	2
ビジネス英検2級	2
経済学検定 ERE	2

※認定希望者は事前に教務学生課又は長町キャンパス事務室に問合せること。

## 69 経営コミュニケーション特別課外活動Ⅱ LM-X-003

Extracurricular Activities in Management and Communication

選択 1単位 1年前期～4年後期

本学科の専門に関連の深い資格取得、検定等の合格、および学科が指定する課外活動に対して本人が単位申請を行った場合、学科で審査の上、専門科目（経営コミュニケーション特別課外活動）もしくは教養教育科目（特別課外活動Ⅰ・Ⅱ）として専門科目、教養科目それぞれ最大4単位の範囲内で単位認定を行う。

### 1. 資格の取得による単位認定

本学科の専門に関連のある資格を取得した場合、あるいは検定に合格した場合は「経営コミュニケーション特別課外活動」か、教養教育科目の「特別課外活動」のいずれかに申請できる。どちらの科目に申請するかは本人が選択することとする。どのような資格や検定が「経営コミュニケーション特別課外活動」の対象となるかは学科が個別に判断するが、代表的なものとして下表を参考とすること。

### 2. 集中講義や学外講演会などへの参加による単位認定

認定対象となる集中講義や講演会、オープンカレッジなどがある場合は、開催日時および申請方法を事前にガイダンスするので、申請希望者は随時申し込むこと。

### 3. 単位認定の申請および認定単位

認定を希望する学生は、学科事務室に申し出て「経営コミュニケーション特別課外活動単位認定申請書」を受け取り、必要事項を記入して、申請する場合は教務学生課又は長町キャンパス事務室へ提出すること。申請は毎学期末（7月末、1月末）とする。

資格取得または検定等の主な認定例

資格等名称	単位
日商簿記 3級	1
TOEIC 500点以上	1
ビジネス英検3級	1
映像音響処理技術者	1
ITパスポート	1
日商簿記 2級	2
TOEIC 600点以上	2
ビジネス英検2級	2
経済学検定 ERE	2

※認定希望者は事前に教務学生課又は長町キャンパス事務室に問合せること。

## 70 経営コミュニケーション特別課外活動Ⅲ LM-X-004

Extracurricular Activities in Management and Communication

選択 2単位 1年前期～4年後期

本学科の専門に関連の深い資格取得、検定等の合格、および学科が指定する課外活動に対して本人が単位申請を行った場合、学科で審査の上、専門科目（経営コミュニケーション特別課外活動）もしくは教養教育科目（特別課外活動Ⅰ・Ⅱ）として専門科目、教養科目それぞれ最大4単位の範囲内で単位認定を行う。

### 1. 資格の取得による単位認定

本学科の専門に関連のある資格を取得した場合、あるいは検定に合格した場合は「経営コミュニケーション特別課外活動」か、教養教育科目の「特別課外活動」のいずれかに申請できる。どちらの科目に申請するかは本人が選択することとする。どのような資格や検定が「経営コミュニケーション特別課外活動」の対象となるかは学科が個別に判断するが、代表的なものとして下表を参考とすること。

### 2. 集中講義や学外講演会などへの参加による単位認定

認定対象となる集中講義や講演会、オープンカレッジなどがある場合は、開催日時および申請方法を事前にガイダンスするので、申請希望者は随時申し込むこと。

### 3. 単位認定の申請および認定単位

認定を希望する学生は、学科事務室に申し出て「経営コミュニケーション特別課外活動単位認定申請書」を受け取り、必要事項を記入して、申請する場合は教務学生課又は長町キャンパス事務室へ提出すること。申請は毎学期末（7月末、1月末）とする。

資格取得または検定等の主な認定例

資格等名称	単位
日商簿記 3級	1
TOEIC 500点以上	1
ビジネス英検3級	1
映像音響処理技術者	1
ITパスポート	1
日商簿記 2級	2
TOEIC 600点以上	2
ビジネス英検2級	2
経済学検定 ERE	2

※認定希望者は事前に教務学生課又は長町キャンパス事務室に問合せること。

## 71 他学科開講科目群 LM-X-005

Subjects offered by other departments

**選択 8単位 1年後期～4年後期**

本学科の専門知識をより良く理解するため他学科の開講科目を履修する機会を設けている。他学科の開講科目を履修した場合、教務学生課で所定の手続きを取ることによって「他学科開講科目」として卒業、進級に必要な専門選択科目の単位に算入することが出来る。受講条件の詳細については各科目のシラバスを参照すること。

他学科開講科目の受講を希望する学生は、学科が定める申請プロセスに従って、履修申請手続きをすること。

注意事項：学科が定める「他学科開講科目履修申請理由書」は各学期の提出期間内に学科教務委員へ提出すること。

期日を過ぎての申請は認めない。

## 72 他大学開講科目群 LM-X-006

Subjects offered by other universities

**選択 4単位 1年後期～4年前期**

詳細についてはシラバスの「他大学開講科目」（平成 24（2012）年度以降の入学生は p.25）、キャンパスライフの「学都仙台単位互換ネットワーク協定および国内外の大学等との単位互換に関する協定に基づく東北工業大学特別聴講学生取扱要項」を参照のこと。なお、学都仙台単位互換ネットワークに基づく特別聴講による履修登録は本学の CAP 制による履修登録上限の算定には含まれない。





**ライフデザイン学部**

**教育職員課程**

# 東北工業大学教育職員免許状の取得に関する履修規程

第1条 学則第42条の規定に基づく教育職員免許状の取得に要する授業科目の履修に関しては、この規程の定めるところによる。

第2条 本学で取得できる免許状の種類及び免許教科は学則第42条に定めるとおりであるが、その修得に関する授業科目及び単位については次のとおりである。

令和2年度入学生から適用

ライフデザイン学部 教育の基礎的理解に関する科目等及びその他の関連科目

「工業」・「商業」の免許状取得に必要な科目

区 分	授 業 科 目	単 位		各期の毎週授業時間数									
				1 年		2 年		3 年		4 年			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教育の基礎的理解に関する科目	教職概論	2		2									
	教育心理学	2		2									
	教育制度論	2			2								
	特別支援教育	1			1								
	教育課程論	2				2							
	教育原理	2				2							
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	生徒・進路指導論	2				2							
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2					2						
	教育相談	2					2						
	教育方法学	2					2						
教育実践に関する科目	教育実習	2									6		
	教育実習事前・事後指導 * 1	1									2		
	教職実践演習（高）	2										2	
その他の関連科目	日本国憲法	2						2					
	健康・運動科学実習Ⅰ	1		2									
	健康・運動科学実習Ⅱ	1			2								
	英語ⅠA	1		2									
	英語ⅠB	1			2								
	ネットワークコンピュータ基礎Ⅰ	2		2									

\* 1 教育実習事前・事後指導は、3年後期から4年にかけて実施する。

教科及び教科の指導法に関する科目のうち、各教科の指導法

「工業」・「商業」の免許状取得に必要な科目

区 分	授 業 科 目	単 位		各期の毎週授業時間数									
				1 年		2 年		3 年		4 年			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	工業科教育法A（「工業」免許必修）	2						2					
	工業科教育法B（「工業」免許必修）	2							2				
	商業科教育法A（「商業」免許必修）	2						2					
	商業科教育法B（「商業」免許必修）	2								2			

産業デザイン学科

教科及び教科の指導法に関する科目

「工業」の免許状取得に必要な科目及び教職課程履修者の単位数

※下線科目：一般的包括的科目

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択		科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	工業の 関係科目	工業概論 *	2	教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	工業科教育法A	2	「職業指導」「工業科教育法A・B」を含め、36単位以上修得のこと
			ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅱ	2			工業科教育法B	2	
			デザイン論Ⅰ	2					
			デザイン史	2					
			デザイン論Ⅱ	2					
			色彩論	2					
			デザイン論Ⅲ	2					
			エディトリアルデザイン論	2					
			情報デザイン論	2					
			材料学・生産技術	2					
			インタラクションデザイン論	2					
			エルゴノミクス	2					
			ユニバーサルデザイン	2					
			音と動きのデザイン	2					
			デザインマーケティング論	2					
			工芸学	2					
職業指導		職業指導 (工業) *	2						

注意：\*の科目は学科では選択科目ですが、「工業」の免許状取得希望者は必修科目です。

生活デザイン学科

教科及び教科の指導法に関する科目

「工業」の免許状取得に必要な科目及び教職課程履修者の単位数

※下線科目：一般的包括的科目

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択		科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	工業の 関係科目	工業概論 *	2		各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	工業科教育法A	2	教科及び教科の指導法に関する科目	
		地域計画概論	2			工業科教育法B	2		
		地域防災論	2						
		福祉住環境	2						
		ユニバーサルデザイン	2						
		地域産業論	2						
		住まいの計画	2						
		住まいの構造と材料	2						
		住環境の基礎科学	2						
		生活学演習	2						
		地域調査演習	2						
		デザイン基礎演習	2						
		復旧復興まちづくり	2						
		NPO論	2						
		住まいの造形意匠	2						
		インテリアデザイン	2						
		住まいの文化史	2						
		住まいの施工と積算	2						
		住まいの環境工学	2						
		地域環境の保全とエネルギー	2						
設計CAD演習I	2								
設計CDA演習II	2								
職業指導	職業指導(工業) *	2		「職業指導」「工業科教育法A・B」を含め、36単位以上修得のこと					

注意：\*の科目は学科では選択科目ですが、「工業」の免許状取得希望者は必修科目です。



経営コミュニケーション学科

教科及び教科の指導法に関する科目

「商業」の免許状取得に必要な科目及び教職課程履修者の単位数

※下線科目：一般的包括的科目

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択		科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	商業の関係科目	経営学入門	2	選択科目のうちいずれか4単位 選択必修	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	商業科教育法A	2	「職業指導」「商業科教育法A・B」を含め、36単位以上修得のこと
			会計学入門	2			商業科教育法B	2	
			経済学入門	2					
			統計学入門	2					
			簿記論	2					
			経営管理論	2					
			マーケティング論	2					
			ドキュメントコミュニケーション	2					
			財務会計論	2					
			ミクロ経済学	2					
			データ分析	2					
			社会調査I	2					
			イノベーション政策論	2					
			財務管理論	2					
			マクロ経済学	2					
			ネットワークとビジネス	2					
			ビジネスイングリッシュ	2					
			データベースと経営	2					
ビジネスロールプレイング	2								
職業指導		職業指導(商業) *	2						

注意：\*の科目は学科では選択科目ですが、「商業」の免許状取得希望者は必修科目です。

## ◇科目ナンバリングについて

### 1. 科目ナンバリングの配列

1 段目		2 段目		3 段目	
部科区分	科目区分	-	分野	-	学習進度+通し番号
F	Z	-	Z	-	201
FZ-Z-201					

※全学部「教育制度論」(1年次後期開講)の例

### 2. 科目ナンバリングの凡例

1 段目 (部科区分)	
F	工学部/建築学部/ライフデザイン学部
EACS	工学部全学科/建築学部 産業デザイン学科/生活デザイン学科
ET	電気電子工学科/情報通信工学科
MC	経営コミュニケーション学科
(科目区分)	
Z	教職科目

2 段目 (分野)	
Z	教職科目

3 段目 (学習進度+通し番号)	
100番台	開講セメスター 1 クラスレベル
200番台	開講セメスター 2 クラスレベル
300番台	開講セメスター 3 クラスレベル
400番台	開講セメスター 4 クラスレベル
500番台	開講セメスター 5 クラスレベル
600番台	開講セメスター 6 クラスレベル
700番台	開講セメスター 7 クラスレベル
800番台	開講セメスター 8 クラスレベル
000番台	その他 (レベル分けができない科目、例:特別課外活動)

本学では、授業科目に適切な番号を付し分類する「科目ナンバリング」を導入しています。

学部・学科ごとに授業科目の難易度に基づく学習の段階や順序を整理していますので、履修科目を選択する際などに利用してください。

### 3. 各科目の科目ナンバリング

科目 No.	科 目 名	各期の毎週時間数																
		1 年		2 年		3 年		4 年										
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
FZ-Z-101	教職概論	2																
FZ-Z-102	教育心理学	2																
FZ-Z-201	教育制度論		2															
FZ-Z-202	特別支援教育		1															
FZ-Z-301	教育課程論			2														
FZ-Z-302	教育原理			2														
FZ-Z-303	生徒・進路指導論			2														
FZ-Z-401	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法				2													
FZ-Z-402	教育相談				2													
FZ-Z-403	教育方法学				2													
EACSZ-Z-501	工業科教育法 A					2												
MCZ-Z-501	商業科教育法 A					2												
EACSZ-Z-601	工業科教育法 B						2											
MCZ-Z-601	商業科教育法 B							2										
FZ-Z-701	教育実習																	6
FZ-Z-702	教育実習事前・事後指導																	2
FZ-Z-801	教職実践演習 (高)																	2

## 1 教職概論 FZ-Z-101

Introduction of Teaching Profession

必修 2単位 1年前期

**授業の概要：**教職課程の意義や教員としての資質・心構えを導入とし、先輩教員の実践例などを通して、教員としての生き方を考える。次いで、現在の学校・学校教育及び教職に関する基礎的な事項について解説し、その定着を図るために数回の確認テストを行う。また、自らを振り返り、進路意識を明確にするために小レポートを課し、優れたものは共有化することによって意識の深化を図る。

**授業の達成目標：**1. 今日の学校教育や教職の社会的意義を理解するとともに教職への意欲を高める。  
2. 教員に求められる役割や資質能力を理解する。  
3. 教員の職務内容や教員に課せられる義務を理解する。  
4. チーム学校への対応の必要性について理解する。

## 3 教育制度論 FZ-Z-201

Educational Systems

必修 2単位 1年後期

**授業の概要：**本講義は、教育に関する社会的／制度的事項とその課題について解説する。各授業では、教育制度に関する基礎的な知識や教育政策の動向について、関連資料の読解やグループワークを通して、理解を深める。その中には、現代の学校において必要不可欠な地域との連携及び学校安全への対応も含まれる。最後には、教育の動向に関するテーマを各自が設定し、それについてのレポートの作成と、授業内での発表を行う。

**授業の達成目標：**1. 教育に関する社会的／制度的事項についての基礎知識を修得する。  
2. 教育に関する社会的／制度的事項に関する事例を、基礎知識を基に客観的に理解する。  
3. 教育に関する社会的／制度的事項の課題を見つけ、必要な対応について考える。

## 5 教育課程論 FZ-Z-301

Curriculum Theory

必修 2単位 2年前期

**授業の概要：**本講義は教育課程とその編成方法について学ぶことを目的とする。各授業では、学習指導要領の位置づけやその内容、教育課程の編成の原理、カリキュラム・マネジメント等の教育課程の基礎的な知識を、関連資料の読解やグループワーク等を通して理解する。また、指導計画を立てることを通して、指導計画と教育課程の編成の仕方を修得する。

**授業の達成目標：**1. 学校教育において教育課程が有する意義を理解する。  
2. 教育課程編成の原理及び方法を理解する。  
3. カリキュラム・マネジメントの意義を理解する。

## 2 教育心理学 FZ-Z-102

Educational Psychology

必修 2単位 1年前期・集中

**授業の概要：**発達と学習の領域を中心に、子どもたちの教育を考える上で必要となる心理学の知見を解説する。また、教育現場への応用を念頭に置きながら、具体的な教育場面と関連づけて問題を提示していく。

**授業の達成目標：**1. 発達と学習に関する概念及び基礎理論を理解し、教育実践の場で応用できる力を養う。  
2. 生涯発達の観点から、各段階での特徴、発達課題、発達過程に及ぼす要因、認知発達等の具体的内容について理解する。  
3. 主体的学習、学習意欲、学習評価のあり方について、発達を踏まえた学習を支える指導の基礎となる考え方を理解する。

## 4 特別支援教育 FZ-Z-202

Special Needs Education

必修 1単位 1年後期・集中

**授業の概要：**我が国におけるインクルーシブ教育システムと様々な教育的ニーズのある生徒を支援する方法について、できる限り具体的な事例に即して講述する。

**授業の達成目標：**1. 共生社会の実現に向けた基盤をなすという特別支援教育の大きな目標を理解する。  
2. 特別の支援を必要とする生徒の特性及び心身の発達を理解し、そのための教育課程や支援の方法を理解する。  
3. 特別の教育的ニーズのある生徒への対応を理解する。

## 6 教育原理 FZ-Z-302

Principles of Education

必修 2単位 2年前期・集中

**授業の概要：**教育の理念とその歴史的な成り立ちについて講ずる。人間にとっての教育の不可欠性、人間形成全体における学校教育の位置、学校教育の歴史的成り立ち、日本の学校教育の歴史的な特質やその今日的課題について講ずる。

**授業の達成目標：**1. 人間がなぜ教育を必要としているのか、人間形成全体における教育の位置、教育の目的や目標に関する考え方等の教育の基本的概念や思想を理解する。  
2. 学校教育の成り立ちと国家や社会との関係等の教育の歴史を理解する。

## 7 生徒・進路指導論 FZ-Z-303

Student and Career Guidance

必修 2単位 2年前期

**授業の概要：**学校における生徒指導及び進路指導の意義や課題を正しく、切実なものとしてとらえるためには、現実的な視点が大切である。授業では多くの具体的な課題を取り上げ、考えることや実感する場面を設定し、小レポートを課す。また、青年期にある自らの内面を過去から現在にわたって振り返りながら学ぶ。

**授業の達成目標：**1. 生徒指導及び進路指導の意義や原理を理解する。  
2. 生徒指導及び進路指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身につける。  
3. 個別課題を抱える生徒への生徒指導及び進路指導のあり方を理解する。

## 9 教育相談 FZ-Z-402

School Counseling

必修 2単位 2年後期・集中

**授業の概要：**教育相談に必要な態度・姿勢・技法を習得するため、カウンセリングに関する理論、基礎知識、具体的な対応方法を、不適応の事例を紹介しながら概観していく。スクールカウンセラー等の専門家の職務の実際や、関係者との連携のあり方など、学校現場の実際場面を想定した内容を提示していく。

**授業の達成目標：**1. 学校教育における教育相談の概要について理解する。  
2. 児童生徒の問題行動や不適応行動の概要とそれらの行動に気づくための視点を習得する。  
3. 教育相談の具体的な進め方を学び、校内外の関係者との連携のあり方を理解する。

## 11 教育実習 FZ-Z-701

Teaching Practice

必修 2単位 4年前期・集中

**授業の概要：**実習校の教員による講話を受講し、学校の課題と生徒の実態、学校運営の在り方などについて理解する。授業参観と教材研究を通して、授業の在り方を学び、実践のための指導案を作成し、授業の準備をする。授業実践を行い、学習指導の実際について学ぶ。授業後の反省を担当教員の指導助言のもとに行い、授業力の向上に生かす。

**授業の達成目標：**1. 教育実習生としての基本的な態度や教職員等との適切な関わり方ができること。  
2. 指導案を作成し、生徒への教科・科目・単元のねらいを踏まえた適切な学習指導ができること。  
3. 生徒の発達段階に応じた適切な生徒指導ができること。  
4. 授業観察や教材研究、授業実施後の反省を適切に行うことができること。

## 8 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 FZ-Z-401

Methods of Extra-Curricular Activities and Periods of Integrated Studies

必修 2単位 2年後期

**授業の概要：**特別活動の意義と目標・内容及び課題について解説するとともに、学生が自己の経験を振り返りながら考察する機会を確保する。また、総合的な学習の時間の意義や指導計画の作成、具体的な指導の仕方、評価等について解説する。いずれもグループワーク等の集団活動の場を設定し、実践的に学ぶことができるようにする。

**授業の達成目標：**1. 特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導の在り方を理解する。  
2. 総合的な学習の時間の意義と原理を理解する。  
3. 総合的な学習の時間の指導計画の作成、指導及び評価の仕方を理解する。

## 10 教育方法学 FZ-Z-403

Method of Education

必修 2単位 2年後期・集中

**授業の概要：**授業の組み立て方や指導方法について、学習や指導の理論を中心に学ぶ。そして、その理論を踏まえた学習指導案の作成と授業の中での教員の指導の方法について、実践の視点から学ぶ。また、情報機器を活用した授業やその研究の仕方について体験的に学んでいく。

**授業の達成目標：**1. これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。  
2. 教育の指導技術を理解し、身に付ける。  
3. 情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。

## 12 教育実習事前・事後指導 FZ-Z-702

Pre and Post Guidance for Teaching Practice

必修 1単位 4年前期・集中

**授業の概要：**3年前期から4年前・後期にかけて実施する。3年次後期には教育実習の意義と目的の理解と授業実践に向けた指導案の作成と模擬授業を行う。また、学校現場での一日体験実習では、授業観察や授業実践、現職教員の講話を通して、教育実習に向けた意識と技術の向上を目指す。4年次には、教育実習直前の指導と直後の振り返りのための指導を行う。

**授業の達成目標：**事前指導では、教育実習に臨む上で必要となる事柄の理解（教育実習の目的と内容等）、実習生にふさわしい心構えと態度の育成、学習指導と生活指導に関する指導技術の基礎的能力の向上を目指す。事後指導では、教育実習での経験を振り返り、成果と課題を確認する。

### 13 教職実践演習（高） FZ-Z-801

Practical Seminar for Teaching Profession

必修 2単位 4年後期・集中

**授業の概要：**教科及び教職に関する科目の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認する。「教職のための学習ポートフォリオ」に基づいた学修の振り返りによって、4つの事項（①使命感等②社会性等③生徒理解等④教科指導力等に関する事項）に関して、個別の課題を明確にし、その克服を目指す。その方法として、講義の他にグループ討論や模擬授業、学校現場の見学・調査などを行う。実施に当たっては、高校や教育委員会との連携を密にするとともに、専門教科担当者を含めた指導体制の下で指導し、評価を行う。

**授業の達成目標：**学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、教育現場において必要とされる実践的能力となっていることを確認し定着させる。以下の諸点にとくに留意する。

1. 自らの専門的課題を自覚した上で、教科に関する知識と技能を充実させる。
2. 教職に関する知識と指導技術を向上させる。
3. 社会性や人間性を豊かにし、使命感と教育愛・教育的情熱をもって教育に取り組もうとする態度を身に着ける。

### 15 工業科教育法B EACSZ-Z-601

Teaching Method of Engineering B

必修 2単位 3年後期

**授業の概要：**高等学校における職業教育は多様であり、工業分野も産業構造の変化に伴い多様化している。講義では、工業分野に従事する工業人を育成するに相応しい教員の育成を目指し、授業法や評価について講義する。更には学習指導案の作成と模擬授業を通して教員としての実践的態度を育成するとともに、工業教育の動向についてふれ、課題を確認するとともに、工業教育の未来を展望する講義内容とする。

**授業の達成目標：**1. 工業教育に係る教育方法の知識や指導法を理解する。

2. 実際の教育の場において知識や指導法を適切に適用できるようにする。
3. 学習指導案作成と付随する知識・指導技術が修得できるようにする。

### 17 商業科教育法B MCZ-Z-601

Teaching Method of Business Education B

必修 2単位 3年後期

**授業の概要：**商業教育の教材研究・授業設計、評価、商業教育の現状等について学ぶ。また、学習指導案の作成、模擬授業の実施（情報機器の活用も含む）を通して、商業科教員に必要とされる知識・技術の習得を目指した講義内容とする。

**授業の達成目標：**1. 商業教育にかかわる教育理念・教育方法の知識や指導法を理解する。

2. 実際の教育の場において適用できるように、授業への実践的態度の育成をはかる。
3. 具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。

### 14 工業科教育法A EACSZ-Z-501

Teaching Method of Engineering A

必修 2単位 3年前期

**授業の概要：**高等学校における職業教育は多様であり、工業分野も産業構造の変化に伴い多様化している。工業分野に従事する技術者を育成する指導者としての使命感を自覚させ、学習指導要領に基づき、工業教育の役割・概要、教育機器の活用等を授業の中心にして、実践的態度の育成を目指す講義内容とする。

**授業の達成目標：**1. 工業教育に係る教育方法の知識や指導法を理解する。

2. 実際の教育の場において知識や指導法を適切に適用できるようにする。
3. 学習指導案作成と付随する知識・指導技術が修得できるようにする。

### 16 商業科教育法A MCZ-Z-501

Teaching Method of Business Education A

必修 2単位 3年前期

**授業の概要：**高等学校学習指導要領に基づく商業教育のねらいと指導内容について学習し、産業経済の社会的背景と商業教育との歴史的なかかわりを学ぶ。また、商業教育の役割、指導内容、指導方法、教育課程等を講義の核とし、実践的態度の育成を目指す講義内容とする。

**授業の達成目標：**1. 学習指導要領「商業」の目標や内容を理解する。

2. 商業教育にかかわる教育理念・教育方法の知識や指導法を理解する。
3. 実際の教育の場において適用できるように、授業への実践的態度の育成をはかる。



## 教職課程の履修要項

教育職員免許状を取得するためには、教育職員免許法および教育職員免許法施行規則に基づき、東北工業大学学則第42条、並びに教育職員免許状取得に関する履修規程によって設置された教職課程について、所定の単位を修得しなければならない。

教職を希望する学生は、以下に示す教職課程の履修要項を熟読の上、間違いのないよう十分に注意することが必要である。

I. 本学において取得できる普通免許状の種類および免許教科は次のとおりである。

免許状の種類	免許教科の種類	学 科
高等学校教諭一種免許状	工 業	産 業 デ ザ イ ン 学 科 生 活 デ ザ イ ン 学 科
高等学校教諭一種免許状	商 業	経 営 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科

II. 上記の免許状を取得するには、東北工業大学教育職員免許状の取得に関する履修規程に定める授業科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

III. 「教育実習」について

教育実習は、教職に携わることを望む学生が、大学の授業を通しては容易に得ることのできない教職の専門性に関する能力、とりわけ教科授業に関する指導法を、直接教育の現場において、生徒に対する具体的な指導を通して理解し、集中的に身につけ、教師になるための素地と自覚を養うことを目的として実施される科目である。教育実習は4年生に課せられており、これまで所定の教職課程の学習を生かして行うものである。

① 教育実習は、次の要件を充足し、履修適格者と認定された者だけが対象となる。

(i) 3年生終了時まで、教育の基礎的理解に関する科目等及びその他の関連科目（4年次開講科目「教育実習事前・事後指導」「教育実習」および「教職実践演習」を除く）をすべて修得しなければならない。

(ii) 次の成績要件を充足しなければならない。

3年生前期終了時の全履修科目の累積GPA値※がおおむね2.50以上であること。（ただし、この値は見直される場合がある）

※GPAについて…

『GPA (Grade Point Average)』とは、成績を5段階で評価した値の平均値であり、以下の式により計算する。なお、詳細については、本学生便覧の222ページを参照すること。

【成績5段階評価の区分】

成績	Grade	Grade Point
90～100点	A	4.00
80～89点	B	3.00
70～79点	C	2.00
60～69点	D	1.00
不可・不適	F	0.00

【GPAの計算式】

$$GPA = \frac{(4 \times A \text{の修得単位数}) + (3 \times B \text{の修得単位数}) + (2 \times C \text{の修得単位数}) + (1 \times D \text{の修得単位数})}{\text{履修登録科目の単位数 (Fの科目も含む)}}$$

- ② 上記の履修条件を満たすことのできる見込みの者で、教育実習の履修を希望する者は、3年生の6月までに、教育実習予備登録（実習希望校調査）の手続きをすること。
- ③ 教育実習の実習内諾を得るまでの交渉は本人が行なう。指導教員もしくは総合教育センター（教職担当）に相談すること。  
なお、実習内諾を得るための高校訪問は、高校に連絡のうえ、できるだけ3年生の早い時期とする。詳細は次頁教職課程年間スケジュールで確認すること。
- ④ 教育実習は、都道府県教育委員会、当該高等学校の協力を得て行わなければならない。当初の予定を変更すると、これら関係機関に多大の迷惑をかけることになるので、実習申込み後の自己の都合や履修状況による実習辞退は極力回避するよう努めること。万が一、予定を変更せざるをえない事態が発生した際には、総合教育センター（教職担当）に直ちに相談すること。

#### IV. 教育職員免許状の申請手続きと授与

教育実習を修了し、取得しようとする免許種の必要単位を充足し、免許状の出願をすることによって、卒業時に免許状が授与される。

教育職員免許状の申請手続きについては、別途、教務学生課より案内をする。

## 《教職課程年間スケジュール》

実施時期	説明会および手続き	対象学年
4月上旬	オリエンテーション (教職課程の説明…所属学科・総合教育センター(教職担当))	1学年
	履修登録	全学年
4月中旬	教育実習ガイダンス, 事前指導	4学年
4月中旬 ～5月	次年度実習希望者は, 実習希望校を訪問し, 内諾を得る	3学年
5月上旬 ～10月下旬	教育実習(2週間または3週間)	4学年
5月上旬 ～6月上旬	次年度教育実習履修希望者および教育実習希望高校調査	3学年
6月中旬 ～7月下旬	次年度教育実習希望者に対し, 実習希望校への本学からの依頼状交付	3学年
9月下旬～ 10月上旬	履修登録	全学年
11月～	教職課程のための学習ポートフォリオの作成	1～4学年
12月上旬	教育職員免許状申請書類を教務学生課に提出	4学年
3月初旬	免許状申請書類を教務学生課にてとりまとめの上, 一括して, 宮城県教育委員会に提出	4学年
3月中旬	教育職員免許状交付	4学年
3月下旬	教育実習履修者決定	3学年

\* 諸行事への欠席, あるいは提出書類が遅れる場合は, 必ず事前に教務学生課あるいは総合教育センター(教職担当)に申し出て指示を受けること。

V. 教職に関する相談について

教職に関する事務的事項については教務学生課および総合教育センター（教職担当）が行い、学生に対する諸連絡は学内掲示板及びポータルサイトにおいて指示するので常時注意すること。

教育職員免許状の取得、教育実習、その他教職に関する相談については、教職科目担当教員が、随時対応する。

VI. 教育職員免許法・同法施行規則改正に伴う注意事項

教育職員免許法・同法施行規則の改正に伴い、2019年度入学生より改正後の新法が適用されています。

2018年度以前入学生については旧法（平成10年改正法）が適用されますが、経過措置として、下記の通り読み替えをおこないます。

旧法に基づく科目名	開講期	単位数		新法に基づく科目名	開講期	単位数
教職概論	1年前期	2	→	教職概論	1年前期	2
教育原理	2年前期	2	→	教育原理	2年前期	2
教育心理学	1年後期	2	→	教育心理学	1年前期	2
教育制度論	1年後期	2	→	教育制度論	1年後期	2
教育課程論	2年前期	2	→	教育課程論	2年前期	2
工業科教育法A（「工業」免許必修）	3年前期	2	→	工業科教育法A（「工業」免許必修）	3年前期	2
工業科教育法B（「工業」免許必修）	3年後期	2	→	工業科教育法B（「工業」免許必修）	3年後期	2
情報科教育法A（「情報」免許必修）	3年前期	2	→	情報科教育法A（「情報」免許必修）	3年前期	2
情報科教育法B（「情報」免許必修）	3年後期	2	→	情報科教育法B（「情報」免許必修）	3年後期	2
商業科教育法A（「商業」免許必修）	3年前期	2	→	商業科教育法A（「商業」免許必修）	3年前期	2
商業科教育法B（「商業」免許必修）	3年後期	2	→	商業科教育法B（「商業」免許必修）	3年後期	2
特別活動の指導	2年後期	1	→	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2年後期	2
教育方法学	2年後期	2	→	教育方法学	2年後期	2
生徒・進路指導論	2年前期	2	→	生徒・進路指導論	2年前期	2
教育相談	2年後期	2	→	教育相談	2年後期	2
教職実践演習（高）	4年後期	2	→	教職実践演習（高）	4年後期	2
教育実習	4年前期	2	→	教育実習	4年前期	2
教育実習事前・事後指導	4年前期	1	→	教育実習事前・事後指導	4年前期	1
			新設	特別支援教育	1年後期	1

※科目等履修生についても、新法が適用されます。詳細については、教務学生課へご相談ください。

**ライフデザイン学部**

**卒業後の取得資格**



## ○ 卒業後の取得資格

※令和2年度以降の入学生については、以下の各資格免除等の申請手続き中ですので、決定次第ポータルサイトにて周知いたします。

### 大学卒業後（実務経験等を含む）で受験資格が得られる資格

#### ○二級建築士，木造建築士

平成29年度以降に入学した安全安心生活デザイン学科学生で、別表1-1の指定科目を修得した者は、実務経験なしで受験資格が得られます。

但し、「指定科目修得単位証明書・卒業証明書」の発行を大学に申し込まなければなりません。

平成24年度以降平成28年度までに入学した安全安心生活デザイン学科学生で、別表1-2の指定科目を修得した者は、実務経験なしで受験資格が得られます。

但し、「指定科目修得単位証明書・卒業証明書」の発行を大学に申し込まなければなりません。

平成21年度以降、平成23年度までに入学した安全安心生活デザイン学科学生における指定科目は、教務学生課に問い合わせして下さい。

上記同様、「指定科目修得単位証明書・卒業証明書」の発行を大学に申し込まなければなりません。

それ以前の入学者については、教務学生課に問い合わせして下さい。

#### ○1・2級建築施工管理技士

平成29年度以降入学した安全安心生活デザイン学科学生で、下記のA群とB群の指定科目からそれぞれ必要単位数以上を修得し、当該学科の課程を修めたものは、建築施工の実務経験（1級3年以上、2級1年以上）により受験資格が得られます。

A群から1単位数以上

【A群】2科目：数学的思考法，工業概論

B群から9単位数以上

【B群】16科目：くらしのデザイン実習Ⅰ，くらしのデザイン実習Ⅱ，住まいのデザイン実習Ⅰ，住まいのデザイン実習Ⅱ，デザイン史，住まいの造形意匠，インテリアデザイン，都市と住宅の法制度，住まいの施工と積算，住まいの力学基礎，住まいの構造力学，住まいの材料実験Ⅰ，住まいの材料実験Ⅱ，設計基礎演習，設計CAD演習Ⅰ，設計CAD演習Ⅱ

※上記A群とB群の指定科目からそれぞれ必要単位数以上を修得しない場合は、必要となる実務経験が長くなります。

1級は、実務4年6ヶ月以上、2級は1年6ヶ月以上の実務経験が必要になります。

平成24年度以降平成28年度までに入学した安全安心生活デザイン学科学生で、下記の指定科目を修得し、当該学科の課程を修めたものは、建築施工の実務経験（1級3年以上、2級1年以上）により受験資格が得られます。

指定科目9科目：生活デザインCADⅠ，生活デザインCADⅡ，住まいの構造と材料，住まいのための力学，住まいの材料実験，住環境の制御と設備，都市と地域の計画，住まいのための法規，住まいの施工と積算。

※指定9科目を修得しない場合は、必要となる実務経験が長くなります。

1級は、実務4年6ヶ月以上、2級は1年6ヶ月以上の実務経験が必要になります。

平成23年度までに入学した安全安心生活デザイン学科学生における指定科目については、教務学生課に問い合わせ下さい。

1級は、実務4年6ヶ月以上、2級は1年6ヶ月以上の実務経験が必要になります。

### ○ 1・2級管工事施工管理技士

平成29年度以降入学した安全安心生活デザイン学科学生で、下記のA群とB群の指定科目からそれぞれ必要単位数以上を修得し、当該学科の課程を修めたものは、建築施工の実務経験（1級3年以上、2級1年以上）により受験資格が得られます。

A群から1単位数以上

【A群】2科目：数学的思考法、工業概論

B群から9単位数以上

【B群】16科目：くらしのデザイン実習Ⅰ、くらしのデザイン実習Ⅱ、住まいのデザイン実習Ⅰ、住まいのデザイン実習Ⅱ、デザイン史、住まいの造形意匠、インテリアデザイン、都市と住宅の法制度、住まいの施工と積算、住まいの力学基礎、住まいの構造力学、住まいの材料実験Ⅰ、住まいの材料実験Ⅱ、設計基礎演習、設計CAD演習Ⅰ、設計CAD演習Ⅱ

※上記A群とB群の指定科目からそれぞれ必要単位数以上を修得しない場合は、必要となる実務経験が長くなります。

1級は、実務4年6ヶ月以上、2級は1年6ヶ月以上の実務経験が必要になります。

なお、実務経験の内容によっては、建設機械、土木、電気工事、造園の各施工管理技士の受験資格を得ることが可能です。

平成24年度以降平成28年度までに入学した安全安心生活デザイン学科学生で、下記の指定科目を修得し、当該学科の課程を修めたものは、建築管工事の実務経験（1級3年以上、2級1年以上）により受験資格が得られます。

指定科目9科目：生活デザインCADⅠ、生活デザインCADⅡ、住まいの構造と材料、住環境の制御と設備、都市と地域の計画、住まいのための力学、住まいの材料実験、住まいのための法規、住まいの施工と積算。

※指定9科目を修得しない場合は、必要となる実務経験が長くなります。

1級は、実務4年6ヶ月以上、2級は1年6ヶ月以上の実務経験が必要になります。

平成23年度までに入学した安全安心生活デザイン学科学生における指定科目については、教務学生課に問い合わせて下さい。

### ○ 商業施設士（補）

安全安心生活デザイン学科は、（社団法人）商業施設技術者・団体連合会から本資格の認定校に平成20年に指定され、学科の3年次前期までの専門科目を修得した時点において、指定された講習を受講し、本資格を取得できます。

### ○ 商業施設士

本資格は、3年次に商業施設士（補）の資格所得したものが、4年次に受験資格が得られます。

※商業施設士及び商業施設士（補）の資格取得者は教養教育科目の「特別課外活動Ⅰ・Ⅱ（各2単位）」と専門教育科目の「生活デザイン特別課外活動（4単位）」の単位取得申請の上、取得が可能です。但し、各資格により、取得単位数が異なることから、学科教務委員に相談すること。

別表1-1 二級建築士・木造建築士の受験に必要な安全安心生活デザイン学科の授業科目

指定科目の分類 (指定単位数)	対応する安全安心生活デザイン学科の授業科目			
二級・木造	科目名	履修学年	必修・選択	単位数
①建築設計製図 実務0～2年：5単位数以上 実務3～5年：3単位数以上	設計基礎演習	1後	選択	2
	設計CAD演習Ⅰ	2前	選択	2
	住まいのデザイン実習Ⅰ	2後	選択必修	3
	住まいのデザイン実習Ⅱ	3前	選択必修	3
	設計CADⅡ	3後	選択	2
単位数小計 12				
②建築計画 ③建築環境工学 ④建築設備 実務0～2年：7単位数以上 実務3～5年：2単位数以上	住まいの計画	1前	必修	2
	住まいの造形意匠	1後	選択	2
	インテリアデザイン	2前	選択	2
	ユニバーサルデザイン	2後	必修	2
	住まいの文化史	2後	選択	2
	住環境の基礎科学	2後	必修	2
	住まいの環境工学	3前	選択	2
	住まいの設備工学	3後	選択	2
単位数小計 16				
⑤構造力学 ⑥建築一般構造 ⑦建築材料 実務0～2年：6単位数以上 実務3～5年：3単位数以上	住まいの構造と材料	2前	必修	2
	住まいの力学基礎	2前	選択	1
	住まいの構造力学	2後	選択	2
	住まいの材料実験Ⅰ	3前	選択	1
	住まいの材料実験Ⅱ	3後	選択	1
単位数小計 7				
⑧建築生産（1単位数以上）	住まいの施工と積算	4前	選択	2
単位数小計 2				
⑨建築法規（1単位数以上）	都市と住宅の法制度	3後	選択	2
単位数小計 2				
⑩その他（適宜）	安全安心生活デザイン概論	1前	必修	2
	生活学演習	1前	必修	2
	造形基礎演習	1前	必修	2
	地域防災論	2前	必修	2
	福祉住環境	2前	必修	2
	ランドスケープ論	2後	必修	2
	都市計画	3前	選択	2
単位数小計 14				
39	①～⑨の単位数合計			
53	総単位数（①～⑩の単位数合計）			

1. 分類ごとの指定単位を下回らないように修得すること。
2. 必修科目および①から⑨までの指定科目を20単位数以上修得し、卒業要件単位を修めたものは、実務経験なしで受験することができる。
3. 必修科目および①から⑨までの指定科目を10単位数以上修得し、卒業要件単位を修めたものは、実務経験3年で受験することができる。

別表1-2 平成24年度以降平成28年度までの入学生 二級建築士試験及び木造建築士試験指定科目

指定科目の分類 (指定単位数)	対応する安全安心生活デザイン学科の授業科目			
二級・木造	科目名	履修学年	必修・選択	単位数
①建築設計製図 (5単位以上)	設計計画基礎演習	1	選択	2
	生活デザインCAD I	2	選択	2
	設計計画演習 I	3	選択	2
	設計計画演習 II	3	選択	2
単位数小計 8				
②～④ (7単位以上) 建築計画, 建築環境工学 又は建築設備	住まいの文化史	1	必修	2
	住まいの計画	1	必修	2
	インテリアデザイン論 II	1	選択	2
	高齢者の生活と住まい	2	選択	2
	都市と地域の計画	3	選択	2
	バリアフリーとユニバーサルデザイン	3	選択	2
	住まいの環境工学 I	1	必修	2
	住まいの環境工学 II	2	選択	2
住環境の制御と設備	3	選択	2	
単位数小計 18				
⑤～⑦ (6単位以上) 構造力学, 建築一般構造 又は建築材料	住まいのための力学	3	選択	2
	住まいの構造と材料	2	選択	2
	住まいの材料実験	3	選択	2
単位数小計 6				
⑧建築生産 (1単位以上)	住まいの施工と積算	4	選択	2
単位数小計 2				
⑨建築法規 (1単位以上)	住まいのための法規	4	選択	2
単位数小計 2				
⑩その他 (適宜)	安全安心生活デザイン概論	1	必修	2
	都市防災論	1	必修	2
	表現技法演習	1	必修	2
	インテリアデザイン論 I	1	必修	2
	生活デザイン演習 I	2	必修	4
	生活デザインCAD II	2	選択	2
単位数小計 14				
36	①～⑨の単位数合計			
50	総単位数 (①～⑩の単位数合計)			

1. 分類ごとの指定単位を下回らないように修得すること。且つ、①から⑨までの指定科目を20単位以上修得すること。
2. ①から⑨までの科目と⑩の科目の合計が40単位以上であること。
3. 以上の要件を満たせば、実務0年、即ち、卒業と同時に受験資格が得られる。
4. ①から⑨までの科目と⑩の科目の合計が30単位以上40単位未満の場合は、実務1年となる。
5. ①から⑨までの科目と⑩の科目の合計が20単位以上30単位未満の場合は、実務2年となる。